

平成29年度 生涯学習関連事業評価

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定					⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)	
						⑥ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施 形態	⑩ 評価指 標項目									⑪ 目標
1		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	青少年講座	学校教育では体験できない 学習機会を提供する。	30講座を実施。延べ879名 の参加。 【参考】28年度 31講座を実施。延べ869名 の参加。	不特定	子ども	900	市単独	応募者・ 参加者 の人数	前年度と 同程度。	B	生涯学習センターで活動す るサークル、地域人財、市内 大学等と連携したうえで事業 を実施し、計画通り実施でき た。	全市域	488	継続		547	学習支 援課
2		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	親子料理教 室・食育教室	料理を作る体験や食に関す る学びの体験を通じて、生涯 をととして健全な食生活を送 る力を身に付ける。	実施校55校/69校(実施率 80%) 参加者数1,834名	市内	親子・保 護者	1,000人 ~1,500 人	市単独	応募者・ 参加者 の人数	全小学 校での実 施	B	実施校は28年度対比で28校 増となったものの、目標の全 校実施はできなかった。一 方、参加者数は目標を上 回った。30年度は、三期休 業中以外の機会も活用した 取組に拡大し、実施率を上 げる。	全市域	なし	継続	なし	各小学 校(保 健給食 課)	
3		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	ボルダリング 入門	オリンピックの新種目である ボルダリングの基本を習得し てもらうために、戸吹スポー ツ公園クライムロックを利用 して体験の場を提供する。	著名なインストラクターによ る楽しみながらボルダリン グの基礎を体験。50名参 加。	不特定	小学2年 生以上	3回/日 15名/回	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	60名	C	目標の参加人数は未達のため。	元八王 子	96	継続		45	公園課 (スポー ツコミュ ニティ 戸吹)
4		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	・アウトドア フィットネス	戸吹スポーツ公園の施設を 利用してより家族と共にス ポーツに親んでもらう機会 を提供する。 ・キッズボルダリング ・親子ボルダリング	インストラクターによる親子 で楽しむボルダリング教室 10回開催84名参加。小学 生を対象にしたキッズボル ダリング13回開催133名参 加。	不特定	小学生 以上	10名 5組	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	5回開催	A	回数、参加人数ともに目標 以上を達成した。	元八王 子	403	継続		100	公園課 (スポー ツコミュ ニティ 戸吹)
5		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	・スケート ボード教室	オリンピックの新種目である スケートボードの基本を習得 してもらうために、戸吹ス ポーツ公園スケートパークを 利用して体験の場を提供す る。	ムラサキスポーツ八王子店 との共催事業。インストラ クターが初心者から指導。15 回開催、5回雨天中止(計 20回)173名参加。	不特定	小学生 以上	12名	共催	応募者・ 参加者 の人数	120人/ 年	A	毎回定員以上の申し込みが あり計画以上の回数を実施 し参加人数の目標を達成し た。	元八王 子	257	継続		72	公園課 (スポー ツコミュ ニティ 戸吹)
6		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	自然観察、 自然素材クラ フト教室	自然観察(植物、昆虫、野鳥 等)とクラフトを組み合わせた イベントを実施し、自然環境 に親んでもらう機会を提供 する。	たたき染め、バードペイン ティング、アロマポット、昆 虫図鑑、木の実のブロー チ、苔のテラリウム、リー ス、蜜蝋キャンドル、鷹凧 等130名参加。	不特定	小学生 以上(保 護者同 伴なら4 歳可)	2回/日 15名/回	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	100人/ 年	A	回数、参加人数共に目標達 成。	元八王 子	1,060	継続		80	公園課 (スポー ツコミュ ニティ 戸吹)
7		1-① 生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	こども科学教 室	株式会社アジレントテクノロ ジーによる実験、ものづくりイ ベントとして、小学生の科学 教育を推進する。	・ニュートンのロケットカー ・ソーラーカー ・ナイト&デイ ・カリンバ指ピアノ 以上のキットを使用し、年4 回の実験教室を開催した。 参加者計92名	不特定	親子・保 護者	128	共催	応募者・ 参加者 の人数	予定定 員を満た すこと	B	参加人数は92人であり、キャン セルがあったため実際の 参加者は予定数を下回った が、参加申し込みは定員を 上回った。	由木	10	継続		10	公園課 (ひとま ちみど り由 木)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定					⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑩ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目								
8	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	ネイチャーイ ベント	長池公園のアウトドアプログラムの骨格的なイベントとして、親子を中心に自然を観察・体験してもらう。	・わくわくナイトハイク ～鳴く虫夜の虫～ ・季節の自然観察会 ～紅葉とバードウォッチング～ ・体験しよう！昔懐かし里山あそび ・ひみつの野生動物たんけん	不特定	親子・保護者	85	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答が8割以上	A	実施後にアンケートを取った結果、40人の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	17	継続	20	公園課 (ひとまちみどり由木)
9	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	青竹でご飯 炊き	竹の有効活用の方法を学ぶとともに、災害時にも役立つ野外調理の方法を体験する。	公園の青竹を使ってご飯炊きを体験。食器やお箸づくりも行いました。 参加者計19名	不特定	親子・保護者	20	共催	協働事業の推進	市民の防災の意識向上と環境教育の推進	A	実施後にアンケートを取った結果、18人の参加者の方より、満足度の高い評価を得られ環境意識の向上がみられた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	9	休止	10	公園課 (ひとまちみどり由木)
10	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	竹のイベント	公園の竹を使って工作を体験し、自然に親しんでもらい、環境教育にも繋げる。	公園の竹でおもちゃを作って遊びましょうというテーマで、公園の竹を切って、竹水鉄砲と竹けん玉を作り、蓮生寺オリンピックを開催した。 参加計19名	不特定	子ども	20	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答が8割以上	A	実施後にアンケートを取った結果、17人の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	3	継続	5	公園課 (ひとまちみどり由木)
11	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	科学実験 ショー	身近な科学的事象の体験を通じ、科学への興味を深める場を提供する。	身のまわりで見られる様々な科学的事象について実験。 平成29年度は、12日開催し、大人486名、子ども554名、計1040名が参加。	不特定	どなたでも	700	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	A	アンケートより、満足度が95%であった。加えて、参加者数についても昨年度を上回り、こどもから大人まで、多くの方々が科学的事象の実験を体験することができ、科学への興味を深める場が提供できた。	本庁		継続		こども 科学館
12	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	フリー工作 広場	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料でリサイクル工作。 平成29年度は、15日開催し、大人349名、子ども403名、計752名が参加。	不特定	どなたでも	420	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	参加者数は昨年度を上回った。加えて、事業目的についても、多くの参加者に、身近な材料を使って物づくりを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることができ、達成できた。	本庁		継続		こども 科学館
13	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	かんたん工 作室	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料で自由に工作 平成29年度は、23日開催し、大人436名、子ども545名、計981名が参加。	不特定	どなたでも	420	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	参加予定者数を上回った。加えて事業目標についても、多くの参加者に、簡単な工作により物づくりを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることができ、達成できた。	本庁		継続		こども 科学館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
14		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ジュニアランニング教室	小中高生を対象に陸上競技界の元トップアスリートで現在大学チームの指導者から直接指導を受ける機会の提供をする。	不特定	子ども	70	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者70人	A	参加者目標を達成し、法政大学苅部監督と学生アスリートからの指導とデモンストレーションは参加者より大好評を得た。	由木	80	継続		80	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
15		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	ジュニアジョギングスクール	子ども達の走る体力や筋力アップ、健全な精神育成を目標に年間でスクールを開催する	不特定	子ども	35	指定管理者	参加者の満足度	個々の参加者や保護者へのサポートに努め向上する意欲を持続させること	A	年間24回の目標を越え29回実施し延べ714人の参加があり年間を通じて子どもたちの体力の向上と走る楽しさを教えることができた。	由木	20	継続		36	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
16		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	はちおうじダッシュ! (第6回)	小学生の体力増進と陸上競技の普及ならびに強化を目的とし各学年ごとに競い合い、走る楽しさを味わう。	市内	子ども	500 (30,000部)	指定管理者	参加者の満足度	よりスムーズな企画運営を構築し参加者の充実感を高める。	A	570名の参加者(595名の申込)と多くの協賛を得て盛大に実施することができた。	由木	765	継続		562	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
17		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	体験しよう、エンジョイラグビー!	体験教室を開催しラグビー人口の拡大を図る。	不特定	子ども	80	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者80人以上	B	ラグビーにふれる機会を提供し関心を高めることができた一方で、参加者数が伸び悩んだ。	由木	20	継続		40	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
18		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	プラネタリウム番組の投影	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(年4回番組入替有)	不特定	どなたでも	30,000	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	参加予定者数を上回った。昨年度は10月～3月は大規模改修で休館しましたが、平成29年7月にリニューアルオープンし、目標人数を大幅に上回る方が来場しました。加えて事業目標についても、こどもから大人まで、多くの方々に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができ、達成できた。	本庁	8,274	継続		9,504	こども科学館
19		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み科学体験	参加者は、物を作る事を通じ科学の楽しさを知り、スタッフ(中・高生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	不特定	どなたでも	100	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	参加予定者数を上回った。加えて、事業目標についても、多くの参加者に、葉脈標本作りを通じて、科学の楽しさを伝えられたこと、また学生スタッフも参加者に対する指導方法を学ぶことができ、達成できた。	本庁		継続			こども科学館
20		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子化学実験教室・理科教室	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	不特定	どなたでも	100	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	参加予定者数を上回った。加えて、多くの参加者に、実験の楽しさを伝えられたこと、また白衣を着て本格的な化学実験を体験する機会を提供することができた。	本庁	23	継続		23	こども科学館
21	◎	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	宇宙飛行士講演会	宇宙への関心を持つことや夢の実現に向けて努力することの大切さなどを伝える	不特定	どなたでも	800	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	A	参加者アンケートでは「良かった」の回答が95.4%であった。なお、100周年記念事業としての本事業は終了するが、30年度は開館30周年となるため、JAXA等の職員による講演会を開催する予定。	本庁	658	廃止・終了	市制100周年記念事業として開催	0	こども科学館
22		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空コンサート	市民に音楽に触れる機会、天体学習の機会を提供する。	不特定	どなたでも	800	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	C	改修工事の休館期間や、リニューアルに伴うイベントを開催したため、開催回数が減少し、参加者数については、目標を達成できなかった。30年度は回数を増やして開催する予定。	本庁	60	継続		180	こども科学館
23		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	星空観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	不特定	どなたでも	450	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	天体の観望などを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができた。	本庁		継続			こども科学館
24		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	不特定	どなたでも	200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	C	プラネタリウムで天文現象や星座などの解説を通じ、参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができた。	本庁		継続			こども科学館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
25	◎	1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学講演会	ハチオウジゾウに関する知識の普及および啓発	クリエイトホールで講演会を開催。大人67名、子ども5名、計72名が参加。	不特定	どなたでも	200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	C	参加人数は目標に対して少なくなったが、北浅川河川敷から発見・発掘されたハチオウジゾウを普及することができた。	本庁	34	継続		120	こども科学館
26		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	科学工作教室	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	偏光板で作るトリックケースや牛乳パックで作る振り子式タイマーなど、少し難しい工作教室。平成29年度は、7回開催し、大人86名、子ども88名、計174名が参加。	不特定	子ども	170	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%以上	A	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることができた。アンケートでは、満足度が89%であった。	本庁		継続			こども科学館
27		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	昼間の天体観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	天体望遠鏡に特殊フィルターをつけて、太陽黒点の観察を行なった。平成29年度は、1日開催し、大人67名、子ども78名、計145名が参加。	不特定	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	太陽などの天体を観望することを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができた。	本庁		継続			こども科学館
28		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムで夏の星座や天文現象など夏休みにできる星の観察について解説。29年度は、1回開催し、大人91名、子ども83名、計173名が参加。	不特定	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	プラネタリウムで星座や天文現象などの解説を通じ、参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができた。	本庁		継続			こども科学館
29		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	コズミックカレッジ	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力を得て行う講座。29年度は、2回開催し、大人43名、子ども55名、計98名が参加。	不特定	どなたでも	100	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	参加者に、実験や工作を通じて、宇宙に関する科学知識の普及・啓発ができた。	本庁		継続			こども科学館
30		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	浅川化石観察会などの科学講座	八王子の地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	北浅川河川敷のハチオウジゾウの化石が発掘された場所でメタセコイア化石などを観察。29年度は、1回開催を計画したが、雨天のため、中止とした。	不特定	どなたでも	65	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績		雨天のため、実施できなかった。	元八王子		継続			こども科学館
31		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	電子顕微鏡を活用した講座	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見ることで、物の形成や成り立ちを学ぶ。	昆虫のからだのつくりについて、電子顕微鏡と光学顕微鏡を使って観察。平成29年度は、1日開催し、子ども15名が参加。	不特定	どなたでも	20	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	参加者に対して、電子顕微鏡と光学顕微鏡を用い、昆虫などの作りや形を学んでもらうことができた。	本庁		継続			こども科学館
32		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学生の職場体験	中学生に仕事等の体験をさせることにより、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成する。	主に市立中学2年生を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、2～5日間の職場体験活動を実施した。【協力企業数】613事業所	市内	中学生	4,600人程度	市単独	実施校数	全校	B	全市立中学校が職場体験を実施し、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成した。	全市域		継続		なし	指導課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施 形態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
33	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	児童館まつり・児童館こ どもシティ	子どもたちに遊びを通したミ ニ社会体験の場を提供し、 協調性を学んでもらう機会と する。	子どもたちが食べ物、ゲー ム、工作などの模擬店でお 客さんとして遊んだり、模擬 店で仕事を体験をしたりとミ ニ社会を体験した。また、 実際の商店街で模擬アル バイトをする企画事業も実 施した。 地域住民、学生等と協力 し、「児童館まつり」及び「こ どもシティ」を15回開催。 10,219名の参加があった。	市内	子ども	8,800人	実行委 員会	協働事 業の推 進	子育て関 連団体と の連携 強化	B	地域住民や学生等に協力し てもらうことにより、地域住民 と子どもたちが交流する機 会を提供できた。また、子ど もたちに社会性を身につけ る機会を提供できた。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	783	継続		813	児童青 少年課
34	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	児童館幼児 クラブ	乳幼児とその保護者に遊び と交流の機会を提供する。	おもちゃや遊具等で自由に 遊び、親同士の交流の場を 設定したり、体操、手遊び、 紙芝居、工作などの活動を行 った。また、いもほり、ク リスマス会などの季節の行 事も実施した。 2,415回の乳幼児活動を行 い名の31,319名の参加が あった。	市内	乳幼児	37,000人	市単独	参加者 の満足 度	利用者 のニーズ に応え、 内容の 充実を図 る。	B	利用者のニーズを踏まえた 活動や行事が実施できた。 また、2,415回の乳幼児活動 を行い31,319名の参加が あった。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	737	継続		587	児童青 少年課
35	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	子育て講座	子育てに係る各分野の専門 家による講演や遊びのプロ グラムの提供により、保護者 が楽しく子育てできるように 支援していく。	193回の子育て講座を開 催、3,904名の参加があっ た。	市内	親子・保 護者	3,400人	市単独	事業の 拡大	利用者 のニーズ に応え、 内容の 充実を図 る。	B	利用者ニーズを踏まえた親 の学びの支援として、「ベ ビーヨガ」、「離乳食講座」な ど193回の事業を実施し、 3,904名の参加があった。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	404	継続		342	児童青 少年課
36	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	みんなEnjoy わくわくス テージ	バンド活動や特技の向上の ために自主的に練習してい る中高生年齢の子どもたち にその成果を披露する機会 をつくる。	中学生・高校生が実行委 員となり、事業の企画・準 備、当日の運営を担うこと で、自主性や社会性を育む とともに、ステージで発表を 行うことで達成感を得た。	市内	子ども	120人	市単独	参加者 の満足 度	アンケ ート集計 における 「イベント に参加し てよかった」という 項目で全 ての参加 者が満 足でき るよう 継続し て取組 む。	B	実行委員及び出演者アン ケートで事業参加の満足度 が100%であった。	本庁	59	継続		69	児童青 少年課
37	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	青少年海外 交流事業	海外の青少年と交流すること で、国際理解と異文化を体 験する機会を与え、スポーツ や文化を通じて国際的視野 を持った青少年を育成する。	台湾高雄市に16名の中学 生を派遣。高雄市の中学 生とテニスや授業などを介 した交流を行った。 また、蓮池潭や孔子廟など を訪れ、台湾の歴史や文 化について学習した。	市内	子ども	16人	市単独	参加者 の満足 度	スポー ツ等 の交 流を通 し、青 少年 の国 際的感 覚を養 う。	B	現地の強豪校との親善試合 のほか、一緒に授業を受け たことにより、中学生同士の 親交を深めるとともに、コミュ ニケーション力の大切さにつ いて学ぶ契機となった。ま た、台湾の歴史や文化を学 ぶことで、参加者に国際的 視点を持たせることが出来 た。	市外	2,649	継続		11,000	生涯学 習政策 課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
38		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	北海道白糠町小学生交流事業	本市とゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し友情を育み親善を深める。	市内	子ども	15名	市単独	参加者の満足度	アンケートにて参加者全員が参加して良かったと回答する、交流を目指す。	B	アンケートの結果、参加者全員から交流事業に「参加して良かった」との回答を得た。様々なプログラムを通じて、子ども達の絆を深めることができた。	本庁 元八王子	1,088	継続		1,381	生涯学習政策課
39		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども点字・手話教室	点字・手話だけではなく、福祉全般の啓発をし、子どものうちから偏見のない心を育てる	市内	子ども	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	悪天候による休講が一回あったが、参加者は前年度比99.1%と、多くの方が参加した。	本庁	158	継続		216	障害者福祉課
40		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども手作り甲冑教室	甲冑づくりを通して八王子城の歴史を学び、ふるさと八王子を愛する心を育てる。	市内	親子・保護者	30	委託	参加者の満足度	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	A	参加者の8割以上の方が「良い」と回答。講座に対しての満足度が高かったことに加えて、八王子城跡の歴史などを周知することができたため。	元八王子	86	継続		108	文化財課
41		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	体験学習「火おこし体験と土器づくり～原始・古代の生活体験」	縄文時代について、講義と体験を通じて生活・文化への理解を深める。	不特定	子ども	20	市単独	参加者の満足度	アンケート回答者の8割が「満足」と回答する	A	目標を上回る9割の参加者から満足との回答を得ることができた。加えて、縄文時代の生活・文化への理解を深める機会とすることができ達成した。	本庁	29	継続		30	文化財課 郷土資料館
42		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	キッズパトロール隊防犯教室	児童の防犯意識の高揚	市内	子ども	10～20	市単独	参加者の満足度	アンケート結果で「楽しかった」「また参加したい」が半数以上となる	B	参加者22名のうち、半数以上の13名から「楽しかった」「また参加したい」の回答を得た。また、いい経験になったなどの記述回答もあり、防犯意識を高めることが出来たため。	本庁・ 由木	22	継続		4	防犯課
43		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	南大沢文化会館バックステージツアー	劇場の楽しさを知ってもらうことにより、南大沢地区の文化を担う文化びとを育成し、来場者及び利用者の増加を図る。	市内	親子・保護者	80	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者80人	B	申込数が91人で目標を上回ったものの、当日の都合により、参加者が減少し、目標が達成できなかった。一方、事業については、事業目標に沿った事業が展開できた。	由木	278	継続		320	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
44	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	オーケスト ラ・ワンダー ランドへよう こそ	身近な場所で優れた文化や 芸術を鑑賞し、子どもたちに 感動体験をを提供する。	東京交響楽団パートナー シップ事業。指揮者・岩村 力氏と交響楽団によるクラ シックコンサート。バックス テージツアー、楽器紹介教 室、指揮者体験コーナー等 の体験プログラムを実施。 また、みなみ野中学校吹奏 楽部との共演を実施。	市内	親子・保 護者	1,600	実行委 員会	質の向 上	演目 の工夫やア ウトリー チの充実	A	子どもへのアウトリーチ活動 (現地指導)や子ども向け音 楽体験プログラムを提供で きた。さらに平成29年度は、 クラシックの名曲だけでなく、 市制100周年を記念した特別 プログラムとして、オーケスト ラ演奏による「ぼくらの八王 子」を組み入れ、質・参加者 数ともに充実した事業を実施 できた。	本庁	0	継続	0	子ども のしあ わせ課 (学園 都市文 化ふれ あい財 団)	
45	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	ふれあいこ どもまつり	子どもたちが芸術への理 解、表現や創造の素晴らしさ を実感し、文化を生み出す 心と感性を育てる。	いちようホール各施設を 使用し、全館規模で様々な イベントを通じて芸術文化 の体験・参加・鑑賞の場を 提供する。	不特定	親子・保 護者	2,000	実行委 員会	応募者・ 参加者 の人数	2000人	A	平成29年度は2日間開催と し、0歳から参加できるコン サートや三味線語り芝居な どの舞台、また、工作やお茶 席体験のワークショップ等、 多くの子どもに芸術文化の 体験・参加・鑑賞の機会を提 供することができた。(2日間 で計 3,444人が参加)	本庁	0	継続	0	子ども のしあ わせ課 (学園 都市文 化ふれ あい財 団)	
46	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	中学生ボラ ンティア体験	社会奉仕としてのボランティ アを体験することで社会の一 員としての自覚と働くこと助 け合うことの大切さを学習す る。	研修を受け、本の配架・整 架など様々な図書館業務 の体験をする。 各館1回実施、参加者4館 合計で12名	市内	子ども	各館5人 計20人	市単 独	応募者・ 参加者 の人数	多くの中 学生に 社会奉 仕の機 会をも てら う	C	図書館業務は貸出だけで なく、配架や整架など内部・裏 方業務が多くあることを知 ってもらえたが、参加者が4館 で12名にとどまり、目標を達 成できなかった。30年度は、 事業目的から事業の見直し を行い、類似事業との統合 や対象者拡大などについて 検討を加える。	全市域	0	継続	0	図書 館 4館	
47	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	中学校社会 科学習資料 「わたした ちの生活と 税金」の発 行	中学生の税に対する理解を 深める。	「わたしたちの生活と税金」 発行部数:6,000部 「研究授業」開催回数:1回	市内	子ども	計20人	実行委 員会	中学生 の税に 対する理 解	公立中 学校で 「税の作 文」の 応募者 のいる 学校の 割合 100%	B	ほぼ前年度と同じ内容で計 画通り作成し、配布すること ができた。	全市域	268	継続	350	税制課 (八王 子市中 学生租 税教育 研究委 員会)	
48	1-①	生きる力を 育む子ども の学びと体 験の充実	夏休み体験 ボランティア	ボランティア活動体験を通じ て、人が互いに助け合うこと の大切さを学ぶ	中学生から概ね30歳まで の方を対象に実施した。 参加者:181名 協力施設: 178施設	市内	子ども 成人	250人	補助	応募者・ 参加者 の人数	参加者 前年度 比10% 増	C	参加者数についての目標を 達成できなかった。30年度は 学校への周知の強化を図っ ていく。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	186	継続	222	福祉政 策課 (社会 福祉協 議会)	
49	1-②	家庭教育の 支援	幼児食講習 会	幼児期から適切な生活リズム 、食習慣の形成を図る。知 識の普及を図り不安や悩みの 軽減の支援をする。	年2回32組参加。幼児食の 調理の工夫や心理的発達 に着目した講話。母同士の 交流。	市内	親子・保 護者	36組	市単 独	参加者 の満足 度	アンケ ー ト集計 結果に おける 満足度 80%	B	9割の方がアンケートにて満 足と回答。	本庁	10	継続	11	大横保 健福祉 セン ター	

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
50	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	歯科健診、講話、実習 実施回数12回 申込者数 83人	市内	成人	216人	市単独	応募者・ 参加者 の人数	申し込み 者数の 増加	B	妊婦の体調不良等でキャンセルもあるが、おおむね予定通り実施できた。健診・実習等の保健指導について、参加者の満足度は高いと感じる。	本庁	422	継続		429	大横保健福祉センター
51	1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。 年12回178組374人	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者 の満足 度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割の方がアンケートにて「よくわかった」と回答	本庁	64	継続		89	大横保健福祉センター
52	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。 年11回60組124人	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者 の満足 度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割の方がアンケートにて「よくわかった」と回答	本庁	43	継続		60	大横保健福祉センター
53	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年6回110組参加。離乳食初期から後期にかけての講話。母同士の交流。	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者 の満足 度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答。	本庁	39	継続		41	大横保健福祉センター
54	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	平日開催5回172人、休日開催3回137人参加。妊婦体験や沐浴実習等。	市内	成人	480	市単独	参加者 の満足 度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割以上の方がアンケートにて満足と回答。	本庁	236	継続		249	大横保健福祉センター
55	1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	計12回実施 参加者数33人 平均参加率35.48%	市内	親子・保護者	120	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加率 の増加	C	H30から毎回保健師が出席し、保護者からの相談を受けられる体制を整えた。また、保健師により参加者をフォローをすることで定着と参加率向上を目指す。	本庁	119	継続		132	大横保健福祉センター
56	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	年2回実施。参加者数29人。平日は母のみ、休日は父も調理に参加する。	市内	成人	48	市単独	参加者 の満足 度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割以上の方がアンケートにて満足と回答。	本庁	54	継続		57	大横保健福祉センター
57	1-②	家庭教育の支援	家庭教育講座	学習の中で親子のふれあいを持つ。	26講座を実施。延べ583名の参加。 【参考】28年度 27講座を実施。延べ592名の参加。	不特定	親子・保護者	450	市単独	応募者・ 参加者 の人数	前年度と 同程度。	B	親子が創作活動を通じ共有体験を持つプログラム、家庭教育に関わる講演等を実施し、前年度と同等の事業水準で実施できたため。	全市域	312	継続		316	学習支援課
58	1-②	家庭教育の支援	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消する。	8講座を実施。延べ191名の参加。 【参考】28年度 2講座を実施。延べ132名の参加。	不特定	どなたでも	250	市単独	応募者・ 参加者 の人数	前年度と 同程度。	B	思春期、発達障害、しつけなどをテーマに専門家を招いた講座を実施し、前年度と同等の事業水準で実施できたため。	全市域	74	継続		105	学習支援課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
59		1-② 家庭教育の支援	家庭教育自主グループ支援	子育てについて自主的に学んでいるグループへの活動支援。	3グループに支援を行うとともに、市民向け公開講座を4講座開催。延べ90名の参加。 【参考】28年度4グループに支援を行うとともに、市民向け公開講座を2講座開催。延べ36名の参加。	市内	親子・保護者	50	共催	協働事業の推進	共催講座での自主グループの運営参加。	B	自主グループとの共催講座については、回数・参加者ともに目標を達成でき、前年度と同等の事業水準で実施できたため。	全市域	61	継続		30	学習支援課
60	◎	1-② 家庭教育の支援	ひとり親家庭親子ふれあい事業	ひとり親家庭に対し、親子料理教室・交流会を開催し、食について学ぶ機会をつくることに加え、親子間やひとり親家庭同士のコミュニケーションを相互に深める。	12月に親子クッキングと親子分かれての交流会を開催。7世帯(親7名・子13名)参加。満足度は71.4%。	市内	親子・保護者	10組(20人)	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	C	目標としていた数値を下回り、達成することができなかったため。30年度は、交流会の時間が十分とれるよう、進行管理を行う。	本庁	143	継続		150	子育て支援課
61		1-② 家庭教育の支援	八王子「宇宙の学校」	こども科学教室と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結びつけることで探究心の強いこども達の育成を図る	市内3会場(1会場4回、計12回)でスクーリングと科学工作を実施。最終日には家庭学習成果発表会を開催	市内	親子・保護者	340	実行委員会	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度90%以上	A	参加者アンケートにより「とても良かった」「良かった」の合計が97.8%で高い満足度であった。加えて、参加者も親子400人と目標を上回った。	本庁	666	継続		700	こども科学館(八王子「宇宙の学校」実行委員)
62		1-② 家庭教育の支援	のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	「のびのび子育て講座」実施数 978回	市内	親子・保護者	19,333	委託	参加者の満足度	市民からの要望を講座の内容に生かす	B	子育て広場においてアンケートを実施し、利用者のおおむね9割以上から良い評価を受けた。	子ども家庭支援センター6か所	250	継続		305	子ども家庭支援センター
63		1-② 家庭教育の支援	リーフレット「八王子の家庭教育8か条」の配布	リーフレットを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を児童・生徒に身につけさせる。	市立小中学校の新生児及び保育園・幼稚園(私立含む)の5歳児・年長クラスを対象にリーフレットを配布し、家庭教育の啓発に努めた。	市内	どなたでも	30,000枚(配布世帯)	市単独	事業の拡大	リーフレットを配布するとともに、関係所管と連携し、家庭教育の重要性について更なる周知を図る。	B	市内小・中学校の児童生徒及び市内幼稚園、保育園に通う5歳児をもつ家庭に家庭教育8か条リーフレットの配布を行い、家庭教育啓発に努めた。	本庁	103	継続		162	生涯学習政策課
64		1-② 家庭教育の支援	パパママ支援ワークショップ星とおひさまフィーカキャラバン	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	計4回開催し、生涯学習センターのほか、小学校の保護者会に合わせて開催した。	市内	親子・保護者	100人(20人/回)	共催	参加者の満足度	受講した保護者が子育てに関する悩みや心理的負担を軽減する	B	リラックスした雰囲気やファシリテーターの進行で参加者同士の交流により、「子育ての悩みや不安が軽くなった」とのアンケート結果が多数あったため。	本庁 由木元八王子	100	継続		232	生涯学習政策課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形 態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
65	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成を推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	年2回 38組参加。幼児食の調理の工夫や心理的発達に着目した講話。母同士の交流。	市内	親子・保護者	36組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	11	継続		10	東浅川保健福祉センター
66	1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。年 22回 145 組 306人	市内	親子・保護者	240組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
67	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	年8回 115組参加。離乳食初期から後期にかけての講話。母同士の交流。	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	21	継続		41	東浅川保健福祉センター
68	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。年 12 回 47 組 100人	市内	親子・保護者	120組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
69	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	妊娠・出産・育児について講話・実習・グループワークを実施し妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。13回 339人	市内	成人	480	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割以上の参加者からアンケートに参加してよかったと回答があったため。実習等が好評だった。	浅川	70	継続		250	東浅川保健福祉センター
70	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	歯科健診、講話、実習実施回数：12回 申込者数：119人(対象者数)	市内	成人	216	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	C	参加人数が少ないが、健診や歯みがき指導を丁寧に行い満足度は高い。30年度は妊婦面談での声掛けを強化していく。	浅川	76	継続		89	東浅川保健福祉センター
71	1-②	家庭教育の支援	プレパパママ栄養・歯科教室	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供を行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供を行い、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。3回 58人	市内	成人	60	市単独	応募者・参加者の人数	申込者数の増加	B	おおむね予定通り実施できたため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
72	1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	2コース(リトミックA/B)18回 223人 1コース(リトミックC)12回 151人	市内	親子・保護者	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	285	継続		285	東浅川保健福祉センター
73	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。1回 16人	市内	成人	24	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	28	継続		29	東浅川保健福祉センター
74	1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	保健師の講話、沐浴実習、妊婦体験など開催回数 19回 参加人数 377人	市内	成人	300人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	参加者が熱心に実習等に取り組んでいたとともに、アンケートでは毎回8割以上が「満足」と回答したため。	由木	334	継続		353	南大沢保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形 態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
75	1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	管理栄養士による妊娠期・授乳期の食事についての講話、調理実習と離乳食のとりわけデモ 開催回数 2回 参加人数 32人	市内	成人	48人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	講義内容、調理実習、離乳食とりわけデモのいずれも、アンケートでほぼ100%の参加者が満足と回答しているため。	由木	90	継続		97	南大沢保健福祉センター
76	1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談 開催回数 12回 参加人数 126人(102組)	市内	親子・保護者	300組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	当初、月に2回実施予定であったものを、職員の体制のため、月に1回の開催と変更を行った。毎回定員を上回る方からの申し込みがあり、アンケートによる満足度も約80%であったため。	由木	89	継続		89	南大沢保健福祉センター
77	1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	歯科健診、歯科医師・歯科衛生士の講話、歯みがき実習 開催回数 12回 参加人数 67人(申し込み82)	市内	成人	216人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	B	受診者数は67名と昨年度より7名の増加があった。妊婦面談等の機会を生かし、妊婦歯科健診の紹介に努めた。医師の講話と歯科衛生士の実習を通し、妊娠期の歯の手入れについて意識向上が図れた。また、お子さん連れでも参加がしやすいよう、ボランティアの協力を得て、運営を行った。	由木	455	継続		456	南大沢保健福祉センター
78	1-②	家庭教育の支援	初めての歯みがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談 開催回数 11回 参加人数 153人(129組)	市内	親子・保護者	200組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	当初、月に2回実施予定であったものを、職員の体制のため、月に1回の開催と変更を行った。毎回、定員を上回る応募があり、アンケートにおいても80%の方が満足しているとの回答あり。	由木	89	継続		89	南大沢保健福祉センター
79	1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	管理栄養士による離乳食の進め方についての講話とグループワーク 開催回数 8回 参加人数 227人(113組)	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	A	アンケートでほぼ100%の参加者が満足と回答しており、グループワークでも不安や悩みが解消したという発言が多かったため。	由木	41	継続		115	南大沢保健福祉センター
80	1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	管理栄養士による食事やおやつについての講話とグループワーク、心理相談員による子どもの心の発達についての講話 開催回数 2回 参加人数 51人(26組)	市内	親子・保護者	36組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	A	アンケートでほぼ100%の参加者が満足と回答しており、グループワークでも不安や悩みが解消したという発言が多かったため。	由木	11	継続		14	南大沢保健福祉センター
81	1-②	家庭教育の支援	ぶんぶん(知的障害児教室)	運動・工作・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	親子あそび、保護者同士の交流、心理相談員の講話 開催回数 36回 参加人数 374人	市内	障害者	35	市単独	参加者の満足度	障害を持つ子と保護者の地域参加と自立支援を促す。	B	保護者のアンケートや交流の場の話し合いで、子どもとの遊び方を知り、子の成長を見ることができた場となったという声が多く、満足度が高かったため。	由木	186	継続		186	南大沢保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
82		1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝え、赤ちゃんや保護者が絵本を介してゆっくり心触れ合うひとときを提供するとともに、乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	保健福祉センターで行う乳児健康診査会場で乳児に、絵本、わらべ歌DVD、子育てに役立つ情報冊子等の入ったブックスタートパックを贈る。72回実施、配布数3311パック(3館合計)	市内	親子・保護者	4,000	共催	協働事業の推進	赤ちゃんや保護者のふれあいのきっかけづくり、市の子育て支援策の情報提供を行う	B	ボランティアと協力して赤ちゃんや保護者が絵本を聞く楽しい体験をすることで、親と子が触れ合うきっかけ作りができた。	全市域	4,691	継続		4,873	図書館3館(中、生、南)
83		1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読みきかせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本の読み聞かせを行う。72回実施(3館合計)	市内	親子・保護者	4,000	共催	協働事業の推進	親子のふれあい、「読書のまち八王子」の推進	B	ブックスタートのフォローとして効果的なタイミングで、読み聞かせの場を提供できた。	全市域	0	継続		0	図書館3館(中、生、南)
84		1-③	学校教育活動の支援	市立小中学校における環境教育支援	小中学校の総合的な学習の時間に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣などの支援を行う。	支援校:10校 参加者数:1,440人	市内	子ども	2,000	委託	応募者・参加者の人数	2,000人	B	参加者数は目標を下回ったが、実習と座学を織り交ぜ質の高い環境教育支援を十分にできた。	全市域	-	継続	-	-	環境政策課(エコひろば)
85		1-③	学校教育活動の支援	ボランティアの教育人材バンクへの登録促進	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	市立小・中学校で、授業支援、学習補助や部活動の指導を行う教育支援ボランティアの活動の促進。登録者数 3908人	不特定	どなたでも	3,359人 (平成28年度末登録者数)	市単独	登録者数の増加	3,661人	B	人材バンクに登録したボランティア数が2割弱増加し、多くの市民の方が学校支援に参加してくれた。	本庁	2021 (30.4.6現在)	継続		3,240	指導課
86		1-③	学校教育活動の支援	学校支援ボランティアを取りまとめる学校支援事務局の全校配置	学校支援ボランティアの派遣を円滑に行うため、各市立小・中学校に学校支援事務局を全校に配置する。	市立小・中学校の教育活動を支援するため、教育支援人材バンク学校事務局を全校に設置した。	市内	成人	98校 (平成28年度末)	市単独	事業の拡大	全校に配置	B	全校に設置(98校→108校)	本庁	3979 (30.4.6現在)	継続		3,888	指導課
87		1-③	学校教育活動の支援	学校図書館サポートセンターとの連携・支援	調べ学習・学級文庫用の資料の貸出を通し学校図書館の充実につなげていく。	市内小・中学校へ、配送便により団体貸出を行う。延べ1266校へ32,994冊貸出。	市内	子ども	貸出申込数 延べ1400校	委託	事業の拡大	延べ1500校	C	限られた資料をより多く学校に貸出するため、1校当たりの貸出冊数の制限を行ったため、利用校数が目標を下回り、利用冊数も前年実績(34,448冊)を下回った。未利用校は減少しているが、調査分析し、利用について働きかけを行う。	全市域	0	継続		8,236	中央図書館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
88		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	市内	子ども	1~4人 /1校	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	地域にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	B	図書館の仕事はカウンターでの接客業務だけでなく、内部業務も多くあることを知ってもらえ、働くことの意義やチームワークの大切さを体験してもらうことができた。また、生涯学習センター図書館での職場体験の特色として、「中学生による洋書絵本の読み聞かせ体験」を行うなど、各館実施のお話会等への体験をできる限り実施した。また、みなみ野分室でも職場体験を受け入れ、4館全体の実施も、参加校・参加者数ともに前年を上回った(H28実績:参加校31校、参加者93人)	全市域	0	継続		0	図書館 4館
89		1-③	学校教育活動の支援	「八王子の川と友だちになるノート」の発行	川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用してもらう。	市内	子ども	5000冊	市単独	本冊子を利用して環境学習を行う	全校での実施。	B	年度当初の段階で、全ての小学校に配付できたため。	全市域	424	継続		530	水再生課
90		1-③	学校教育活動の支援	東京交響楽団PJアウトリーチ事業	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	市内	子ども	未定	補助	応募者・参加者の人数	小中学校のニーズ把握と予定回数に着実な実施	B	予定どおりに実施できた。特に学校の希望により、校歌を演奏して全員合唱したり、卒業式で合唱予定の曲を演奏して全員合唱をし、より身近なコンサートとなった。	本庁	782	継続		1,200	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
91		1-③	学校教育活動の支援	劇団四季心の劇場	児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	市内	子ども	未定	補助	応募者・参加者の人数	小中学校のニーズ把握と予定回数に着実な実施	B	予定どおりに実施できた。今回は各学校の事情を考慮し、ホールロビーで昼食を取ることも実施した。校長会の協力の基、スムーズな運営ができた。	本庁	234	継続		250	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
92		1-④	地域の教育力を活かす・高める	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集しコンテストを開催する。	不特定	学生(個人または団体単位)	30人(団体)	補助	応募者・参加者の人数	30人(団体)の応募	B	24人の応募あり、目標を達成できなかったものの、イベントを昨年の10月9日から9月9日に1か月早め、より早い周知を行った。加えて、コンソーシアム加盟校の他、都内大学・専門学校約120か所にポスター、チラシを送付し周知を図った。加盟校・非加盟校の映像関係のサークルにメールにて案内を行った。	本庁	1,667	継続		1,900	学園都市文化課(大学コンソーシアム八王子((公財)学園都市文化ふれあい財団))

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
93		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	FD・SDフォー ラム	大学教職員の教育力向上 と、地域社会や全国の教育 機関関係者等との交流や相 互理解を目的とする。	不特定	全国大 学教職 員・ 大学生・ 高校教 職員	200	補助	応募者・ 参加者 の人数	200人	B	高等教育機関から注目される テーマを設定し、充実した 講師を招聘した。また、全国 850の教育機関に送付して いる案内リーフレットの内容 を充実させるとともに、八王 子の観光案内を添付し、八 王子のPRにもつなげた。	本庁	1,094	継続		1,754	学園都 市文化 課 (大学 コン ソーシ アム八 王子 ((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団))
94		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	学生発表会	大学コンソーシアム八王子 加盟25大学等の学生が日頃 の研究成果を市民・企業・市 政に向けて発表する。	市内	大学コン ソーシア ム八王 子に加 盟する大 学等の 学生	700人 (150件)	補助	応募者・ 参加者 の人数	700人 (150件)	B	研究分野や内容に関わらず 発表できる機会とするため、 事業目的を「学生の学びの ため」と整理し、研究成果の 外部での発表機会として大 学等により活用してもらうよ う周知した。また、特定分野 の発表を集約したセッション を設定することで関係企業 の参加を促進した。今回は 農業セッションを実施し、農 業関係者への周知を図った。	本庁	1,475	継続		1,922	学園都 市文化 課 (大学 コン ソーシ アム八 王子 ((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団))
95		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	夏休み子ど もいちょう塾	八王子地域の大学等の先生 が、その大学・学部等の特色 を生かして、夏休みの特別 教室を開講する。	市内	子ども	300人	補助	応募者・ 参加者 の人数	参加者 数 300人	A	今回から申込方法を往復は がきからWEB申込に変更し たことにより、申込者は昨年 の390名から808名、参加者 は昨年の316名から410名と 大幅に増えた。61名が前回 に引き続き参加した。	本庁	1,259	継続		1,731	学園都 市文化 課 (大学 コン ソーシ アム八 王子 ((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団))
96		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	学生企画事 業補助金	大学コンソーシアム八王子 加盟25大学等の学生が、八 王子地域を舞台に企画・運 営・実施するイベント等にそ の費用の一部を補助する。	市内	大学コン ソーシア ム八王 子に加 盟する大 学等に 在籍する 5名以上 の学生で 構成する 団体	50人(10 団体)	補助	応募者・ 参加者 の人数	20団体 の応募	A	コンソーシアムのWebサイト の他、フェイスブック等の SNSで周知を図った。 加盟校、市関係施設にポス ター・チラシを配布した他、 大学等連携部会や産学公連 携部会で各大学に案内し周 知を図った。	本庁	886	継続		1,867	学園都 市文化 課 (大学 コン ソーシ アム八 王子 ((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団))

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
97		1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	ひとり親家庭 の子どもの 学習支援事 業	ひとり親家庭 に対し学習 支援者を派 遣し、児童 の基礎学力 、学習意欲 の向上及び 高等学校等 への進学を 推進を図る こと。	7月から3月 まで、1人 当たり1回 2時間、合 計32回学 習支援者を 派遣した。参加 者は30名。進 学率は97%。	市内	親子・保 護者	30人	委託	対象者の 高等学校 進学率	対象者の うち、高 等学校へ 進学した ものが100% とする。	B	目標として いた数値を 若干下回っ たが、概ね 達成するこ とができた ため。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	7,198	継続		7,975	子育て 支援課
98		1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	放課後子ど も教室	平日の放課 後や週末、 夏休み等に 小学校内の 施設を活用 し、地域の 人材、ボラ ンティアの 参画を得て 子どもたち に安全で安 心な居場所 を提供する。	地域や学校 の協力を得 て64校で 実施し、子 どもたちに 安全で安心 して過ごす 放課後の居 場所を提供 できた。	市内	子ども	350,000	委託	事業の 拡大	市内小 学校69 校での実 施	B	目標の69校 には達しな かったが、 3校で新規 開設するこ とができた ほか、地域 や学校、学 童保育所担 当所管と連 携を図り、 実施日数の 増加や学習 プログラムの 拡充をした ことにより、 多くの子ど もたちに放 課後の安全 で安心な居 場所を提供 することが できた。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	116,663	継続		169,959	生涯学 習政策課
99		1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	こども囲碁 教室	囲碁を通し た世代間の 交流を図る。	シニアボラ ンティアに よる小中 学生を対象 とした囲碁 教室 年23 回 169人	市内	どなた でも	230	市単 独	応募者・ 参加者の 人数	利用者 数の増 加	B	参加者が 169人であ り、目標を 達成できな かったもの の、おむね 予定通り実 施できたた め。	浅川	0	継続		0	東浅川 保健福 祉セン ター
100		1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	浅川ガサガ サ探検隊	子どもたち に浅川の自 然と川遊び の楽しさを 知ってもら うことで、 身近な環境 を大切に思 う気持ちを 醸成する。	溺れない川 の泳ぎ方の 練習、生物 調査、ポー トを使っ ての川遊び	市内	子ども	100人	実行委 員会	応募者・ 参加者の 人数	参加人 数を多く する。	A	市制100周 年に合わせ て、「みんな でつくる100 匹水槽」や 参加者全員 での記念写 真などのイ ベントを行 ったことも あり、例年 よりも大幅 に多い144 名の児童が 参加してく れた。(前 年度47名 参加)	本庁	199	継続		200	水再生 課(八王 子浅川 水辺の楽 校運営協 議会)
101		1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	東京交響楽 団PJ ユースオー ケストラワ ークショップ とコンサ ート	プロのオー ケストラの 指導者によ り若手演奏 家(小学生 から25歳) の育成を図 る。	4月にオー ケストラと してスタート し、合計32 回の練習を 実施した。11 月26日には 川瀬賢太郎 指揮による 第1回演奏 会を開催し た。	不特定	子ども	未定	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	オーケ ストラ運 営に充分 なユース の応募を 目指す	B	年間をと おしてメン バー募集 をしている が、演奏曲 に対して足 りないパート や応募のな いパートが ある。しか しティン パニやファ ゴットのメ ンバーが 入会した。	本庁	7,222	継続		9,959	学園都 市文化 課((公財) 学園都 市文化 ふれあい 財団)
102	◎	1-④ 地域の教育 力を活か す・高める	東京交響楽 団PJ 0歳からの オーケ ストラ	未就学児 でも気軽に オーケ ストラによ る公演を鑑 賞する機会 を提供する。	0歳から入 場できるク ラシック コンサート を実施し た。動物に 扮したズー ラシアン プラスによ り、子ども 達にも親し みやすい公 演となった。	不特定	乳幼児	1,367	補助	応募者・ 参加者の 人数	集客率7 割以上を 目指す	C	集客率が 51.5%と 厳しい結 果となった 。宝くじの 助成公演 のため、入 場料の設定 が自由に できなかった ことが主 な理由。ま た開演時 間や曜日 がニーズに 合ってい なかった こと、演奏 曲が人気 の高い楽 曲で無か ったこと なども理 由に挙げ られる。し かし内容 が良いの で今後も 取り組む。	本庁	665	継続			学園都 市文化 課((公財) 学園都 市文化 ふれあい 財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)	
103		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	学生演劇フェ スティバル	大学等団体による公演・展 示・ワークショップを通じて芸 術文化の普及を図り、若い 担い手を支援する。	高校生による演劇公演、は じめの演劇ワークショッ プを一般・小中学生に分けて 実施。	不特定	どなたで も	300	補助	応募者・ 参加者 の人数	1校でも 多くの学 校の参 加を目指 す	B	学生演劇祭に大学生の応募 がなかったが、高校生の応 募が4校あり、卒業後大学に 進学をした際に演劇祭の公 演に応募してみたいとの声も あり、次回以降の開催に繋 がった。	本庁	1,426	継続		1,588	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
104		1-④	地域の教育 力を活か す・高める	南大沢文化 会館ダンス ワークショ ップ	市内の小中学生を対象にダ ンスの楽しさや素晴らしさを 感じてもらい、将来の文化芸 術に携わる層の拡充。	57回実施 参加者のべ人数2,357名	市内	子ども	50	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	参加者 50人	B	年度当初53名で開始年度末 で48名であったため概ね目 標達成と考える。 ①ダンス技術の向上 ②発表会での舞台体験(主 ホール) ダンスを通じた感動や体感 が将来の文化芸術に携わる 層の拡充の門戸を開いた。	由木	2,241	継続		2,225	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
105		2-①	身近で多様 な学習機会 の充実	歯の健康教 室	歯周病の予防や口腔機能の 維持、低下予防のための正 しい知識の普及と、健康増 進意識を啓発する。	歯科衛生士による歯周病 教育、保健指導、相談。 年25回547人	市内	成人	60人	市単独	参加者 の満足 度	アンケ ー ト集計結 果におけ る満足度 80%	B	9割の方がアンケートで「よく わかった」と回答。	本庁	0	継続		8	大横保 健福祉 セン ター
106		2-①	身近で多様 な学習機会 の充実	成人健康教 室(保健・栄 養)	食事・運動などの生活習慣 改善について講話や実習を 行い、生活習慣病などの疾 病の予防・健康づくりに関 する正しい知識の普及と健康 増進意識を啓発する。	糖尿病予防教室 2日 37 人、糖尿病フォロー教室1 日 9人、親子教室1日 6 人、女性の健康講座2日 31人	市内	成人	400	市単独	参加者 の満足 度	アンケ ー ト集計結 果におけ る満足度 80%	B	9割以上の方がアンケートに て満足と回答。	本庁	22	継続		83	大横保 健福祉 セン ター
107		2-①	身近で多様 な学習機会 の充実	八王子学園 都市大学(公 開講座)	市民の生涯学習活動の向上 を図る。	八王子市と大学等及び企 業や市民との協働により、 市民の学びの場の提供を 目的とした市民大学の運 営。 平成29年度受講者数3,977 名。	不特定	成人	3,000	委託	応募者・ 参加者 の人数	3,800人	A	市民ニーズに合う講座の提 供及び講座案内における 「講座タイトル」や説明を受 講者にわかりやすい表記に したこともあり、目標値を達 成することができた。質の高 い講座の提供をし、3,977名 に受講いただいた。 また、講座を受講した9割を 超える方から、満足との評価 を得ている。	全市域	一般講 座と合 わせて 委託契 約	継続		一般講 座と合 わせて 委託契 約	学園都 市文化 課 (八王 子学園 都市大 学事務 局((公 財)八 王子市 学園都 市文化 ふれあ い財 団)
108		2-①	身近で多様 な学習機会 の充実	八王子学園 都市大学(一 般講座)	市民の生涯学習活動の向上 を図る。	八王子市と大学等及び企 業や市民との協働により、 市民の学びの場の提供を 目的とした市民大学の運 営。 平成29年度受講者数2,384 名。	不特定	成人	2,000	委託	応募者・ 参加者 の人数	2,200人	A	市民ニーズに合う講座の提 供及び講座案内における 「講座タイトル」や説明を受 講者にわかりやすい表記に したこともあり、目標値を達 成することができた。質の高 い講座の提供をし、2,384名 に受講いただいた。 また、講座を受講した9割を 超える方から、満足との評価 を得ている。	全市域	57,332	継続		55,642	学園都 市文化 課 (八王 子学園 都市大 学事務 局((公 財)八 王子市 学園都 市文化 ふれあ い財 団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
109		2-①	身近で多様な学習機会の充実	上柚木公園に飛来する冬鳥を楽しむ	初心者にも比較的観察しやすい冬期に観察会を実施する。	多くの申し込みがあったが、積雪の影響で中止になった。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	参加者の満足度	参加者のレベルに合わせた野鳥観察会を実施できるよう企画内容を構築し充実感を高める。		多くの申し込みがあったが、積雪の影響で中止になった。	由木	0	継続		10	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
110		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初夏(樹木)スケッチを楽しもう	公園内の草花や樹木を観察し描き方や構図のポイントを教わりながら自由にスケッチする。	四季を彩る草花や樹木を観察し主に色鉛筆でのスケッチを行った。	不特定	成人	各講座10	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	B	参加者も20名(2回)と目標を達成した。色鉛筆でのスケッチということもあり、気軽に参加する機会を提供することができた。	由木	5	継続		7	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
111		2-①	身近で多様な学習機会の充実	国際交流講座	市内在住・在勤・在学の外国人に初級の日本語を学ぶ機会と交流の場を提供する。	生涯学習センター(クリエイトホール)午前コース、夜間コース、生涯学習センター南大沢分館コース合わせて年間76回実施し、延べ978名の参加があった。 【参考】28年度生涯学習センター(クリエイトホール)午前コース、夜間コース、生涯学習センター南大沢分館コース合わせて年間76回実施し、延べ899名の参加があった。	市内	外国人	750	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	日本語学習を希望する地域の外国人に通年で学習機会を提供したうえで、前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	423	継続		484	学習支援課
112		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民自由講座	歴史・文学等、多種多様な分野の講座を開催し、生涯学習のきっかけとする。	112講座実施。延べ9,429名の参加。 【参考】28年度122講座実施。延べ10,237名の参加。	不特定	どなたでも	10,000	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	地域人材を講師に迎える講座を織り交ぜたうえ、健康、食、歴史、芸術、創作など多様なテーマの講座を実施し、前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	2,159	継続		2,373	学習支援課
113		2-①	身近で多様な学習機会の充実	国際理解講座	外国の文化についての理解と知識を深める。	5講座実施。延べ280名の参加。 【参考】28年度4講座実施。延べ228名の参加。	不特定	どなたでも	250	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	大使館職員、民間研究者、在住の外国人等を講師に迎え、前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	79	継続		114	学習支援課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
114		2-①	身近で多様な学習機会の充実	エコひろばでの環境講座	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	市内	どなたでも	6,000	委託	応募者・参加者の人数	6,000人	B	参加者数は目標を下回ったが、新しい講座を増やすなど、環境について関心を持つきっかけづくりを行うことができた。	全市域	-	継続	-	-	環境政策課 (エコひろば)
115		2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野清掃工場施設見学	施設見学者を受入れ実施することで、可燃ごみ処理と余熱利用の方法と現状を理解してもらい、ごみの減量・分別の大切さを理解してもらう。	不特定	どなたでも	3000人 (H28実績)	市単独	応募者・参加者の人数	見学者数 3500人	C	工場見学の他収集車による収集体験や足湯(再生可能エネルギー)についても体験する機会を提供した。30年度は、社会科見学に会場していない小学校へリーフレット配布と呼びかけを実施する。	全市域	0	継続	0	0	北野清掃工場
116		2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野環境教育・学習委員会	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	市内	どなたでも	市民協働者 100人	共催	協働事業の推進	市民協働者 100人	B	北野地区に位置する環境関連施設を有効活用し環境教育・学習への市民参加(小中含む)情報提供や市民との連携事業も実施できた。東放射線アイロードへの花植栽を実施。明神町クラブ10名、第四小学校生徒100名参加。	全市域	627	継続	626	626	北野清掃工場
117		2-①	身近で多様な学習機会の充実	再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー・足湯併設)の普及啓発	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める	不特定	どなたでも	足湯稼働日数(214日) 足湯利用者数(7,134人) 足湯営業日 (木・金・土・日曜日及び祝日)	市単独	応募者・参加者の人数	足湯利用者 9,000人	C	社会科見学時のツールとしても活用。平成28年度と比較すると、利用者数が大幅に減少している。課題として、再生可能エネルギー普及及びCO2削減などの啓発活動の充実を図り、足湯の周知、宣伝活動の拡大。	全市域	2,539	継続	4,576	4,576	北野清掃工場
118		2-①	身近で多様な学習機会の充実	あったかホール社会科見学	隣接する北野清掃工場のごみ焼却余熱を利用し館内設備に活用しているあったかホールの見学を実施することで、余熱利用を体感してもらう。	市内	どなたでも	1,000人 (H28実績参考)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 1,000人	B	あったかホール単独の見学だけでなく、学校の要望に応えながら環境関連施設が協同して学校見学を行う事により子供たちや市民に施設の重要性を得る。	全市域	0	継続	0	0	北野清掃工場
119		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民食育講座	食育月間である6月の取り組みとして、「周知」から「実践」へと食育を更に進めるきっかけとする。	市内	どなたでも	200人	市単独	参加者の満足度	若年層の増加	B	第一部の講演では食事に関する道徳、マナーの講話となり、独特の話法により皆が聞き入っていて、泣いている親もいた。第二部では、クイズ形式のマナー講座や箸を使用した豆つかみを体験し、楽しく学ぶことができた。今回は、参加対象者を小学生とその保護者としたことにより若年層の増加につながった。(子ども20名、大人17名)	北野	175	継続	75	75	健康政策課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)	
120		2-①	身近で多様な学習機会の充実	さくらそうの楽しみ	日本古来の植物であるさくらそうの魅力・育て方を伝える	20鉢ほどの桜草を鑑賞しながら、さくらそうの文化史や育て方、魅力についての講話と質疑応答。18人参加	不特定	どなたでも	20	指定管理者	協働事業の推進	参加人数20人	B	目標人数は若干下回ったが、アンケートでは全員が満足と回答するとともに、品種の保存・普及に携わる団体との協働により参加者の啓発・活性化につながった。	浅川	9	継続		20	公園課 (駒木野庭園アーツ)
121		2-①	身近で多様な学習機会の充実	モリアオガエルの会	庭園内に生息するモリアオガエルの生態講演会	プロジェクターを使い、研究者による調査の映像やデータを見ながらモリアオガエルの生態についての講話と質疑応答。13人参加	不特定	どなたでも	20	指定管理者	参加者の満足度	参加人数15人	B	目標は若干した回ったが、アンケートでは全員が満足、また参加したいと回答があったため。	浅川	7	継続		20	公園課 (駒木野庭園アーツ)
122		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭園ガイド	駒木野庭園の解説を通して日本庭園の魅力を知る	日頃庭園管理を行う専任庭師による、園内の見頃の草木・花のガイドウォーク。質疑応答あり。10人参加。	不特定	どなたでも	不定	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加人数10人	B	目標人数100%の参加。分かりやすい説明に満足の評価。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野庭園アーツ)
123		2-①	身近で多様な学習機会の充実	夏休み工作イベント	日本の伝統的な工作を紹介、制作	折り紙と絵手紙をコラボして作る、オリジナルの暑中見舞いと消しゴムはんこ作り。10人参加	不特定	どなたでも	15	指定管理者	参加者の満足度	参加人数15人	B	定員を10人に変更し、目標の100%参加。アンケートでは全員が満足の回答。	浅川	5	継続		10	公園課 (駒木野庭園アーツ)
124		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭園ガイド	駒木野庭園の解説を通して日本庭園の魅力を知る	日頃庭園管理を行う専任庭師による、園内の秋の草花・実物のガイドウォーク。質疑応答あり。4人参加。	不特定	どなたでも	不定	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	C	目標人数40%の参加にとどまったものの、アンケートでは全員が満足と回答。新たな知識が増えたことや、日頃から聞きたかったことが聞けたとの声もあった。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野庭園アーツ)
125		2-①	身近で多様な学習機会の充実	庭師養成講座	庭師による庭木の手入れ実習	園内のウメ・モモを使い、剪定の実習形式でレクチャー。9人参加。	不特定	成人	不定	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	B	目標人数90%の参加。アンケートでは全員が満足と回答。90%の人は次回も参加したい、他の人にもお勧めしたいと回答。庭園の植木の種類の多さに感心したとの声もあった。	浅川	9	継続		10	公園課 (駒木野庭園アーツ)
126		2-①	身近で多様な学習機会の充実	工作イベント	日本の伝統的な工作を紹介、制作	園内の竹を加工し、千代紙で作った雛人形を飾り付ける。10人参加。	不特定	成人	15	指定管理者	参加者の満足度	参加人数10人	B	目標人数100%の参加。アンケートでは全員が満足と回答。高度でやりがいがあった、少人数なので穏やか・優雅な時間を過ごせたとの声も。	浅川	10	継続		15	公園課 (駒木野庭園アーツ)
127		2-①	身近で多様な学習機会の充実	秋の鳴く虫を愛でる会	秋の風物である鳴く虫について学ぶ	鳴く虫保存会による、文化史・生態についての講話。虫籠の展示と虫の音の鑑賞。33人参加	不特定	どなたでも	20	指定管理者	参加者の満足度	参加人数20人	A	定員を30人に変更し、目標の103%参加。アンケートでは87%の人が満足と回答。市外からの参加が39%で、広く関心を集め、評価された。	浅川	16	継続		10	公園課 (駒木野庭園アーツ)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
128		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ミニ門松づくり	伝統文化である正月飾りの制作	専門の講師の指導のもと、自然の素材を用いてミニ門松を1人1対制作。16人参加。	不特定	成人	15	指定管理者	参加者の満足度	参加人数15人	A	目標人数107%の参加。アンケートでは全員が満足、次回も参加したい、他の人にもお勧めしたいと回答。丁寧な指導が好評。	浅川	16	継続		20	公園課 (駒木野庭園アーツ)
129		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ながいけさんぼ	年齢にかかわらず気軽に参加できる、申込み不要のガイド付き園内散策。長池公園の魅力をもっと多くの人に知ってもらおう。	公園スタッフがガイドとなり、四季折々の動植物を案内しながら散策を行った。9回開催。参加者計134名	市内	どなたでも	未定	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答が8割以上	A	アンケートの結果、120人の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。当日申込みにも関わらず、多くの方が参加された。	由木	9	継続		10	公園課 (ひとまちみどり由木)
130		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ネイチャークラフト教室	公園の自然から得られるさまざまな素材を集め、草木染や工作を体験し、自然に親しんでもらう。	益の工業栄のでフルフルパークと綿バンダナ染め体験 ・長池公園の発生材を使用した草木染 ・長池公園の植物で「オリジナルミニ門松作り」 ・長池公園の「わた」を使ったクラフト制作 以上4回開催。参加者計55名	不特定	どなたでも	60	指定管理者	参加者の満足度	参加者アンケートにおいて「満足」の回答が8割以上	A	実施後にアンケートを取った結果、49人の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。参加申し込みは定員を上回った。	由木	117	継続		120	公園課 (ひとまちみどり由木)
131		2-①	身近で多様な学習機会の充実	施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	小・中学生に市内の公共施設等に触れる機会を提供し、これからのまちづくりへの意見や要望を収集。7月から10月にかけて、全3回開催し、小学生22名・中学生4名が参加した。	市内	どなたでも	1回20名位	共催	参加者の満足度	参加者に市内の公共施設等を知ってもらい、より八王子のことを好きになってもらう。(アンケートで満足度80%以上)	A	参加者アンケートでは「楽しかった」の回答が各会場平均で86.9%と参加者の満足度が高く、また参加する前と比較して八王子のことが好きになったという回答が84.2%に達したため。	本庁、由木、北野	0	継続		管財課 で計上 (バス 借上げ費)	広聴課
132		2-①	身近で多様な学習機会の充実	交通安全教室	幅広い世代に交通ルールやマナーの学習を行うことで、交通事故の防止を図る。	幼児から高齢者までを対象とした交通安全教室を保育・幼稚園、小中学校、高校、大学、高齢者サロンで開催した。	市内	どなたでも	32,935 (29年度実績) 28,433 (28年度実績)	市単独	応募者・参加者の人数	前年度以上の参加者とする。	B	「介護の日」にあわせて新たに、高齢者向け交通安全教室を開催するなど、幅広い年齢層を対象とした交通安全教育を実施することができた。	全市域	4,061	継続		4,666	交通事業課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
133		2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子で学ぶ交通安全、自転車教室	親子で交通ルールやマナー、安全な自転車の乗り方を学ぶことにより、交通事故の防止を図る。	市内	どなたでも	300 (29年度実績) 300 (28年度実績)	市単独	事業の拡大	前年度以上の参加者とする。	B	自転車シュミレータを利用した自転車安全教室や親子への交通安全講話により、親子で楽しく交通ルール・マナーを学ぶ機会をつくり、親子の交通安全意識を高めることができた。	本庁 浅川	0	継続		0	交通事業課
134		2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護の日事業	介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いの精神の高揚と介護の日の周知を図る。	不特定	どなたでも	200	市単独	応募者・参加者の人数	170人	A	想定を超える来場者があった。また、来場者アンケートにおいても75%がよかったと回答し、好評だったため。	本庁	168	継続		101	高齢者いきいき課
135	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護人材育成研修	介護職に必要な基礎的な知識を学ぶ機会を提供し、介護人材の確保を図る。	不特定	成人	定員50名/回	委託	就職者数	25人	B	就職者数は目標を達成しなかったものの、定員を超える申し込みがあり、受講者アンケートも好評だったため。	本庁 由木	3,208	継続		4,178	高齢者いきいき課
136		2-①	身近で多様な学習機会の充実	訪問介護員研修	介護職員の質的向上を図る。また、介護職の魅力を学ぶ機会を提供し、介護人材の確保を図る。	市内	成人	定員30名/回	委託	応募者・参加者の人数	延180人	B	各回の参加人数に差はあったが、全体としては目標参加人数を達成したため。	本庁	392	継続		392	高齢者いきいき課 (特定 非営利 活動法 人八王 子介護 保険サ ービス 事業者 連絡協 議)
137		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民法律講座「相続」	トラブルになりがちな相続を円滑に進められるよう、市民の知識向上を図る。	不特定	どなたでも	100	共催	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度が80%以上	B	満足度は73.5%と目標値にわずかに届かなかったものの、わかりやすい例示を用い、ユーモアを交えた講座で、多くの参加者に好評で、大変満足した様子であった。(不満3.6%)	本庁	0	継続		0	市民生活課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
138		2-①	身近で多様な学習機会の充実	分譲マンション管理セミナー	分譲マンションの維持管理等の支援	市内	どなたでも	50	共催	応募者・参加者の人数	定員50名に達すること	C	参加者の人数が目標に達しなかったが、参加者へのアンケートによると「参考になった」と回答した割合が、第1回:94%、第2回:83%と満足度が高い結果であった。このため、セミナーを通じて、分譲マンション管理組合や居住者に対し、維持管理や建替え等の取り組みを支援することができたと評価した。	本庁	64	継続		64	住宅政策課
139		2-①	身近で多様な学習機会の充実	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習に対する支援と意識の向上を図り、市政に対する理解を深める。	市内	どなたでも	300,000人	共催	応募者・参加者の人数	300,000人	C	市役所編107講座339件35,608人 官公署・企業編33講座3,399件231,656人 受講者数 合計267,264人と目標には届かなかったが、多くの市民に市政理解の機会を提供できた。30年度は、HPや当課実施のイベントなどで、さらなる周知を図る。	本庁 浅川 由木 元八王 子 北野	0	継続		0	生涯学習政策課
140		2-①	身近で多様な学習機会の充実	学習支援委員会合同講座	八王子市学習支援委員会による講座を開催し、市民の生涯学習の振興を図る。	不特定	どなたでも	240人(予定)	共催	事業の拡大	年3回開催	B	市民が生涯学習に取り組む機会を増やすことを目的に、年3回しえんねっと講座を実施した。12講座に延べ179人が参加し、満足する講座を提供することができた。	本庁	2,160	継続		2,160	生涯学習政策課
141		2-①	身近で多様な学習機会の充実	自然体験・自然観察会	旧稲荷山小学校の博物館機能の発展充実のため市民を対象とした自然観察会を行う。	市内	どなたでも	120人 (6月/60名) (12・2月/各30名)	共催	応募者・参加者の人数	120人	B	応募者数は定員に満たなかった回があるものの、アンケート結果や当日の様子から、参加の満足度は高かった。また、身近に残る里山の自然観察を通して、人と自然の共生について学ぶことができた。	浅川	12	継続		27	生涯学習政策課
142		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講座	契約、保険、住まいなど消費生活に関する講座を開催し、消費者への啓発を図る。	市内	どなたでも	各25	市単独	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座を実施する。	B	身近な消費生活に関するテーマで実施し、参加者アンケート結果の満足度も高かった。自立した消費者育成が図られた。	本庁	16	継続		16	消費生活センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
143		2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子見学会	親子で消費生活に深く関わる施設見学を行い、消費者教育の推進を図る。	市内	親子・保護者	親子10組20人	市単独	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた見学会を実施する。	B	実際に金融関係の施設で研修と見学を行うことで小学生の消費者力の向上と消費者教育の推進が図られた。	市外	2	継続		2	消費生活センター
144		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者力アップ講座	専門の講師による消費生活に関する講座を開催し、自立した消費者の育成を図る。	市内	どなたでも	各25	市単独	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座を実施する。	C	消費者力の向上を目指した質の高い講座で参加者アンケートの結果も満足度が高かったが、参加者が少なかった。	本庁	240	廃止・終了	応募者の減少から市民ニーズが低いと判断し、事業見直しの結果廃止とし	0	消費生活センター
145		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者団体企画提案講座	消費者団体と連携し、消費生活に関わる講座を開催し、効果的な啓発を図る。	市内	どなたでも	25	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	B	身近な消費生活に関するテーマで実施し、参加者アンケート結果概ね好評であった。消費生活に関する啓発が図られた。	本庁	4	継続		6	消費生活センター
146	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講演会	東京都等と共催し消費生活に関わる講演会を開催し消費者への啓発を図る	都内・市内	どなたでも	各70	共催	その他	東京都等と連携し効果的な啓発を実施する	A	東京都等との共催により、知名度の高い講師による市民に身近な消費生活に関する内容の講演会で、参加者からの感想も好評であった。	本庁	11	継続		7	消費生活センター
147		2-①	身近で多様な学習機会の充実	動物の適正飼養講演会	動物の飼育に関する法令、しつけ方、マナー、狂犬病などの人と動物の感染症などについて講演会を実施し、動物の飼い主の意識向上を目指す。	市内	どなたでも	70人	市単独	参加者の満足度	アンケートを実施し、満足度を高めるとともに、ニーズを探り次回の講演会のテーマを適切に設定する。	A	犬及び猫の歯科・口腔疾患予防について知る機会は少なく、参加者にとって初めて知る内容も多かった。講演会後、多くの参加者が講師へ質問しており、概ね成功であった。また、八王子獣医師会主催の高齢犬・猫表彰式との2部構成で開催し、獣医師による健康相談ブースを設置したことも好評であった。総じて、参加者の動物の健康に対する意識を高める内容となった。	全市域	51	継続		249	生活衛生課
148		2-①	身近で多様な学習機会の充実	平和展	戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝える。	不特定	どなたでも	1,500	実行委員会	応募者・参加者の人数	来場者数を増やす。 H28 1,304人 ↓ H29 1,500人	A	目標としていた来場者数を大幅に達成し、事業を実施できたため。	本庁	1,565	継続		2,092	総務課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
149	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	人権啓発講演会	現代社会における多様な人権問題への正しい理解と認識を深める。	聴覚障害のある子どものための学習塾の運営を行うほか、テレビ番組で手話の講師などを務めた映画監督・早瀬憲太郎さんと、聴覚障害のある方で、日本で初めて薬剤師となった妻の久美さんを講師に迎え、手話での講演会を開催した。ろう者である御本人から話を伺うことで、障害者理解を深めるきっかけを提供し、幅広い年代の方に人権啓発を図ることができた。参加者数は223人。アンケート集計の結果(回収率87%)、97%の方から「満足」の評価を得ることができた。	不特定	どなたでも	216	市単独	参加者の満足度	満足度80%	A	目標としていた来場者数と満足度も達成し、事業が実施できたため。今回は市制施行100周年記念事業として実施したが、今後継続して実施するかは検討中。	北野	380	休止	-	総務課
150	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	健康入浴講座	目的別の入浴方法を学ぶことで、ヒートショック予防や施設の利用促進につなげる。	延2回実施、参加人数延13人	不特定	どなたでも	15	指定管理者	応募者・参加者の人数	施設利用者数の増加	B	個別事業での参加者数は予定を下回ったが、目標である施設利用者数の増加にはつなげたため、おおむね達成できたと考えます。	元八王子	-	継続	0	地域医療政策課 (日本環境マネジメント株式会社)
151	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	ヨガ教室	リラックス効果のあるヨガ教室を定期開催することで、施設の利用促進につなげる。	延12回実施、参加人数延96人	不特定	どなたでも	72	指定管理者	応募者・参加者の人数	施設利用者数の増加	B	評価指標項目、目標ともに達成したため。	元八王子	-	継続	168	地域医療政策課 (日本環境マネジメント株式会社)
152		2-①	身近で多様な学習機会の充実	戸吹クリーンセンター施設見学	施設の役割やごみ処理の現状を理解してもらい、ごみの減量・資源化・分別の大切さを学ぶ機会を提供する。	施設見学を通じて、ごみの処理・減量・資源化・分別について啓発を行うことができた。 戸吹清掃工場:1733人 不燃物処理センター:1497人 プラスチック資源化センター:1379人 計:4609人	不特定	どなたでも	3,539人 (平成27年度実績)	市単独	応募者・参加者の人数	見学者の増加	B	見学者の増加を達成することができた。 施設見学に加えて、ごみの減量・資源化・分別に係る啓発物を作成し、配布することができた。	元八王子	0	継続	0	戸吹クリーンセンター
153		2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	歯科衛生士による歯周病教育、保健指導、相談。 年2回4人	市内	成人	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方が満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	0	継続	15	東浅川保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
154		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成人健康教育	生活習慣の改善について講話・実習を行い疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識を普及し、生活習慣病予防に努める。	市内	成人	500	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	91%の方が満足と答えている。食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発できたため。	由木	156	継続		197	南大沢保健福祉センター
155		2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ アイダ公演に向けた合唱ワークショップ (公演は八王子大音楽祭)	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	不特定	成人	960	補助	参加者の満足度	オペラ合唱技術のレベルアップを目標とする	B	男声の応募が足りず、エキストラを11名入れた。ただし、公募合唱団員の練習によるレベルアップは、指揮者・演出・合唱指揮者等にも一定の評価を得た。	本庁	870	廃止・終了	次回のオペラは未定		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
156	◎	2-①	身近で多様な学習機会の充実	東京交響楽団PJ 万葉集公演に向けた合唱ワークショップ	市民に身近な場所で優れた芸術文化活動に参加・体験する機会をつくる。	不特定	成人	2,320	補助	参加者の満足度	合唱団の参加者数100人以上、および合唱技術のレベルアップを目標とする	B	参加者数は目標に達しなかったが、新曲に果敢に取り組み研鑽し、作曲家からも評価された。特に女声の発声は無駄な力が抜け、それまでになかった明るさが出てレベルの向上が認められた。	本庁	2,484	継続		1,718	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
157		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための茶道教室	長い歴史を通して洗礼され伝承してきた「茶道」のなお一層の普及を図る。	不特定	どなたでも	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者(各回15名程)	A	参加者数は1期～4期計80名で目標値を達成した。本格的な指導が気軽に廉価で受けられることから、各回の応募は活発でありリピーターも多い人気事業となった。例年、修了した受講生が自主的にサークルをつくり活動を行っている。(延469名)	本庁	791	継続		786	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
158		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための煎茶道教室	茶の湯の影響をうけながら、洗礼されてきた「煎茶道」の普及を図る。	不特定	どなたでも	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者(各回15名程)	B	江戸時代より自由な表現形式として文人文化と深く関わりながら伝わってきた煎茶道について紹介することができた。参加者数は1期～4期計35名で目標値を下回った。募集方法を茶道と分けた事で、定員には達しなかったものの応募者を増やすことができた。(延187名)	本庁	372	継続		369	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
159		2-①	身近で多様な学習機会の充実	八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施	地球温暖化に関する講座を開催し、市民・事業者の地球温暖化に対する意識向上を図る。	市内	どなたでも	500 (25人/1回)	委託	応募者・参加者の人数	未定 (平成36年度目標:環境学習室を含む講座の受講者数6,800人)	B	目標を上回ったため	本庁	-	継続	-	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
160		2-①	身近で多様な学習機会の充実	地球温暖化防止普及啓発イベント	地球温暖化問題について市民の意識や関心を高め、具体的な行動を起こすきっかけとする。	市内	どなたでも	1,500	委託	地球温暖化問題に関心がある人の割合	未定 (平成36年度目標:地球温暖化問題に関心がある人の割合89%)	B	参加者数は目標を下回ったが、多くの市民が参加し、地球温暖化防止の意識啓発・向上に繋げることができた。	本庁	-	継続	-	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
161		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成年後見制度学習会	成年後見制度の普及啓発を図るために学習会を開催する	市内	どなたでも	20~30人/1回	委託	応募者・参加者の人数	成年後見制度の普及・利用促進	B	6回開催で109名が参加し、概ね予定どおりに実施できた。	本庁	78	継続	-	132	福祉政策課 (社会福祉協議会)
162		2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想文コンクール	読書による印象や感動を文章で表現し、感動をさらに深めるとともに、読書習慣を身に付ける。	市内	子ども	4,348点 (平成28年度実績)	共催	応募者・参加者の人数	4,500点	B	今年度は、市制100周年記念事業として100周年特別賞を設けた。応募点数において、昨年度から若干の減少はあったものの、応募学校総数では昨年度を上回り、取組の裾野が広がっている状況となった。	本庁	No.166 と合算	継続	-	No.166 と合算	川口図書館
163		2-②	読書のまち八王子の推進	地区図書室・読み聞かせ等行事	地区図書室の活性化を図る。	市内	子ども	-	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす	B	参加者が3,626人で、地区図書室の活性化に寄与したため。	全市域	0	継続	-	地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課 (各地域住民協議会)
164		2-②	読書のまち八王子の推進	ちいちゃいこのお話会	1~3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。	不特定	親子・保護者	110	市単独	応募者・参加者の人数	130	B	親子で図書館に来る目標は下回ったものの目標に近い参加者数となったが、きっかけ作りや、子育ての交流の場としての役割を果たした。	全市域	0	継続	-	0	中央図書館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
165		2-②	読書のまち八王子の推進	手づくりの本展	手づくりの本を公募・展示し、本に親しみと愛着を持つ機会とする。	不特定	どなたでも	180	共催	応募者・参加者の人数	200	B	前年を上回る参加者・出展数があり、本づくり、展示を通じて本や図書館に親しむきっかけ作りとなった。開催39年目を迎え、市民団体との協力関係も良好に継続している。	全市域	0	継続		0	中央図書館
166		2-②	読書のまち八王子の推進	地域子ども文庫育成事業	地域での読書環境の充実を図るため、地域文庫との連携を強化する。	市内	どなたでも	6	補助	協働事業の推進	継続	B	文庫からの希望図書を提供することで、地域に根ざした子どもの読書環境の向上に繋がった。	全市域	0	継続		0	中央図書館
167		2-②	読書のまち八王子の推進	子ども読書の日記念事業(としよかんこどもまつり)	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	不特定	子ども	270	共催	応募者・参加者の人数	300	A	目標を上回る来場者を達成することが出来た。加えて、お話し会やバルーンアート作り(工作会)、図書館探検隊など様々なイベントを行うことで、本や図書館に親しむきっかけ作りとなった。	全市域	0	継続		0	中央図書館
168		2-②	読書のまち八王子の推進	ぴよぴよ絵本のじかん	1～3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。	市内	親子・保護者	180	市単独	応募者・参加者の人数	180	A	目標を上回る参加者があり、より広く、本に親しむ機会を提供することができ、読書習慣の育成につながった。	由木	0	継続		0	南大沢図書館
169		2-②	読書のまち八王子の推進	イベントおはなし会	七夕とひなまつりの時期におはなし会と関連する工作体験を行い、読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	市内	子ども	30人/回	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	6回の合計参加者数では目標を上回ったが、各回を見ると目標を下回る回もあった。読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。	由木	0	継続		0	南大沢図書館
170		2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	市内	子ども	120	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	図書館の仕事は貸出等の接客業務だけでなく、内部業務も多くあることを知らせ、体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらうことができた。	全市域	0	継続		0	図書館3館(生、南、川)
171		2-②	読書のまち八王子の推進	図書館まつり	図書館の利用促進や「読書のまち八王子」の推進	不特定	どなたでも	3,000	一部実行委員会	参加者への満足度及び利用の促進	図書館の利用促進や「読書のまち八王子」の推進	B	読書週間にちなみ、ビブリオバトルや、美術評論家・小野寺啓治さんの遺書画展などさまざまなイベントを開催したほか、市制100周年記念事業として次の八王子の100年を担う若い世代に向け、若い世代を代表する実力派の作家、阿部智里さんを招きクリエイティブホールにて「読書の世界とファンタジー」をテーマに講演会を開催し、作家の生の声を聴くことができ好評を呼んだ。	本庁	52	継続		95	図書館4館

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はその 理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施 形態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
172	2-②	読書のまち 八王子の推 進	図書等のリ サイクル	所蔵期限の過ぎた本や雑誌 資料を有効活用してもらうた め、市民に提供する。	図書館まつりのイベントの 一つとして、所蔵期限の過 ぎた本や雑誌資料を市民 に無料で提供する。 配布冊数17,370冊、来場者 2,825名(4館合計)	市内	どなたで も	2,500	市単独	応募者・ 参加者 の人数	本や雑 誌資料を 有効活 用	B	・市民への無料配布に先だ ち、市内の小中学校、学童 保育所、保健福祉センター など市施設のほか、地域文 庫や地区図書室へ提供して おり、市民個人だけでない資 料の有効活用に努めた。 ・開館前に行列ができるな ど、図書館まつりへの誘引 効果のある取組となった。	全市域	0	継続	0	図書館 4館	
173	2-②	読書のまち 八王子の推 進	図書のテー マ展示(児 童・一般)	図書館から様々な種類の図 書を紹介し、図書に親しむ機 会を提供し、図書館利用の 促進を図る。	テーマを決めて、図書を展 示・紹介し、季節や行事な ど様々な本の情報を発信 する。 (実施回数) 中央図書館/児童14回、一 般22回 生涯学習センター図書館/ 児童19回、一般12回 南大沢図書館/児童20回、 一般5回 川口図書館/児童12回、一 般11回	不特定	どなたで も	月1回	市単独	実施回 数	図書館 から様々 な種類の 図書を紹 介するこ とで、図 書に親し む機会を 提供し、 図書館 利用の 促進を図 る。	B	課題解決や思いがけない本 との出会いに繋げられるよ う、市民にとって関心の高い ものや、季節・学校行事等に ちなんだ資料をコーナーに 集め、利用者の関心を引くこ とで図書館資料の促進を 図った。また今年度は市制 100周年等、行政に関わる テーマ展示等も効果的に展 示・提供することができた。	全市域	0	継続	0	図書館 4館	
174	2-②	読書のまち 八王子の推 進	おはなし会	読み聞かせ等のおはなし会 を実施することで、物語や本 の楽しさを啓発し、子どもの 読書活動の推進を図る。	絵本や紙芝居などの読み 聞かせを行う。 中央図書館/23回実施、参 加者239名 生涯学習センター図書館 /14回実施、参加者244名 南大沢図書館/18回実施、 参加者193名 川口図書館/15回実施、参 加者603名	市内	子ども	15人/回	共催	応募者・ 参加者 の人数	参加予 定者数 の達成	B	読書や図書館利用へのきっ かけづくりの役割を果たし た。	全市域	0	継続	0	図書館 4館	
175	2-②	読書のまち 八王子の推 進	七夕行事の 実施	児童と本・図書館が身近にな るように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書い た短冊を、七夕飾りとともに 笹に飾った。 短冊作成数 4館合計で 1,226枚	不特定	子ども	4館合計 で800人	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加予 定者数 の達成	B	短冊をつるした笹を飾ること により、昨年を上回る利用者 に楽しんでもらえた。年中行 事を通して文化を知り、継承 されていく一助となった。	全市域	0	継続	0	図書館 4館	
176	2-②	読書のまち 八王子の推 進	クリスマスお はなし会	児童と本・図書館が身近にな る機会を設け、児童の読書 推進と親子の触れ合う場を 提供する。	クリスマスにちなんだ絵本 の読み聞かせやパネルシ ャター、工作会を行う。 4館合計で参加者137名	市内	子ども	各館30 人 合計120 人	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加予 定者数 の達成	B	毎年楽しみにしている家族も 多く、体験を通して図書館を より身近な存在に感じてもら えた。読書習慣のきっかけ 作りと、親子の触れ合いに 役立てることができ、目標参 加予定者を上回る参加者が あった。	全市域	0	継続	0	図書館 4館	

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
177		2-②	読書のまち八王子の推進	ユニバーサルデザインによる読書環境づくり	大活字本等を養護老人ホームに搬入する出張図書館サービスを3か月に1回実施する。	市内	どなたでも	210冊/回	共催	参加者の満足度	図書館員と図書館ボランティアが、図書館の蔵書を老人ホームに持込み、入所者に貸し出しを行う。また、配送時等に本の読み聞かせなども行う。	B	各施設3ヶ月に一度訪問し、おは市単独会と図書の出借を行い、老人ホーム入所者に、多くの本が読める機会が到来、今後も継続して来てもらいたいと要望されている。	全市域	0	継続		3,974	生涯学習センター図書館
178		2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想画コンクール	本に親しんでもらうために読書感想画を公募し、入賞作品を展示する。海外友好都市の作品も展示する。	市内	子ども	900	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	今年度は、市制100周年記念事業として100周年特別賞を設けた。応募点数において、昨年度から若干の減少はあったものの、応募学校総数では昨年度を上回り、取組の裾野が広がっている状況となった。	本庁	1,681	継続		3,927	生涯学習センター図書館
179		2-②	読書のまち八王子の推進	としょかんたい	図書館窓口や内部業務等の幅広い業務の図書館を探検するなど、図書館をより身近な存在に感じてもらい、利用促進に努める。	市内	子ども	40	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	たんけんたいの体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらえ、図書館の継続的な利用につながる取組として実施した。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
180		2-②	読書のまち八王子の推進	夏休み手づくりの絵本	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	市内	子ども	100	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	目標参加者数を達成することが出来た。加えて、市民団体との共催で実施し、本の制作を通じて本や図書館に親しむきっかけ作りの役割も果たしている。	全市域	0	継続		0	中央図書館
181		2-②	読書のまち八王子の推進	「八王子に関する新聞記事索引」の発行	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	不特定	どなたでも	240	市単独	参加者の満足度	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	B	地域の歴史の一部として、記事索引を作成・保存し、市民の利用に供することができたほか、市外近隣図書館など関係各所に配布し、所蔵してもらうことで、郷土の資料をより多くの方に利用していただくことができた。	本庁	0	継続		0	中央図書館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
182		2-②	読書のまち 八王子の推 進	秋の朗読会	ボランティアが本等の朗読を 行い、高齢者が読書をするこ とへのきっかけを創出する。	ボランティアが小説3話と昔 話4編を朗読し、52名の参 加者があった。	市内	高齢者	80人	共催	参加者 の人数	70人以 上	C	天候により外出の可否が左 右される可能性がある高齢 者が主な対象であり、当日 の天候が雨天であったため 、目標人数に達することが できなかったが、当日館内 で配布したチラシを見て足を 運んでいただいた方もおり、 参加者それぞれに朗読を通じ て読書の楽しみを伝えること ができた。30年度は、幅広い 層の方に足を運んでもらえる ようPRを強化する。	本庁	0	継続	0	中央図 書館
183		2-②	読書のまち 八王子の推 進	春の朗読会	ボランティアが本等の朗読を 行い、高齢者が読書をするこ とへのきっかけを創出する。	ボランティアが小説4話を朗 読し、73名の参加があり高 齢者の読書を楽しむきっか けづくりとすることができ た。	市内	高齢者	80人	共催	参加者 の人数	70人以 上	B	目標の人数に達したことで、 朗読を通じて大勢の方に読 書への親しみや読書の楽し みを伝えることができ、図書 館利用の促進を促すことが できた。	本庁	0	継続	0	中央図 書館
184		2-②	読書のまち 八王子の推 進	対面朗読	視力障害等で読書に親しむ 機会の少ない市民に対し、 図書館の対面朗読室で図書 の朗読を行うなど、読書環境 を整備する。	年474回実施	市内	障害者	450	委託	実施回 数	450	B	利用者の要望に応え、対面 で資料を読むことにより読書 活動の支援を行うことができ た。	本庁	428	継続	450	中央図 書館
185		2-②	読書のまち 八王子の推 進	八王子千人 塾	高齢者の調べ学習に対する 場所の提供と情報提供を支 援する。	参加者数12名 うち修了者9名	市内	高齢者	30人	市単独	参加者 数 修了者 数	参加者 12名 内修了 者 9名	B	参加目標数を達成しており、 高齢者の調べ学習の場と情 報を提供することができた。	本庁	0	継続	0	中央図 書館
186		2-②	読書のまち 八王子の推 進	高齢者・障害 者への図書 宅配サービ ス	寝たきり高齢者・障害者等 で図書館にいけない人に対し て、図書を宅配するなど読書 環境を整備する。	年189回実施	市内	高齢者・ 障害者	250	委託	実施回 数	250	C	図書館への来館が困難な利 用者に対して、自宅へ本を 宅配することにより、高齢 者・障害者等の図書館利用 の促進を図ることができた が、利用者の増加に至らな かった。30年度は、利用者 の増加につなげるよう、PRを 強化する。	本庁	95	継続	125	中央図 書館
187		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	彫刻写真コ ンクール	市民が彫刻を身近に感じ、 親しめるよう、彫刻を活用し た事業を行う。	第8回コンクールを実施し、 入賞作品の展示会も実施。 応募作品数110点、応募者 32名、受賞者15名 展示：いちようホールロビー 1/10～1/21、 セレオ北館9階イベ ントスペース 1/22～1/31	不特定	どなたで も	50	委託	応募者・ 参加者 の人数	50人	B	応募者・参加者数が目標に 達することができなかったも の、展示会場を2箇所を増 やし、広く市民が彫刻に親し む機会を提供することができ た。	全市域	807	廃止・ 終了	808	学園都 市文化 課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
188		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子市民文化祭	市民が文化芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	34団体が市内6会場にて、公演部門・学芸部門・展示部門の催しを開催。	不特定	どなたでも	4,500	共催	応募者・参加者の人数	4500	B	市制100周年記念事業として実施し、参加者は3,990人で目標をは達成できなかったが、来場者は21,000人を超え、市民文化の向上・発展に寄与し、事業の目的を達成した。	本庁（一部東浅川保健福祉センターで実施）	8,079	継続		6,444	学園都市文化課（市民文化祭実行委員会）
189		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	七夕飾り	庭園内の七夕の飾りつけ	来園者に短冊に願い事を書いてもらい、園内の竹を2本使用して自分で飾りつけてもらう。132人参加。	不特定	どなたでも	不定	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加人数100人	A	目標人数の132%の参加。短冊とペンを縁側に置き、来園者が気軽に手に取り参加できるようにした。	浅川	1	継続		1	公園課（駒木野庭園アーツ）
190		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	松の雪吊り見学会	日本の伝統的作庭技術を見学し、日本文化への理解を深める	冬の風物詩である「雪吊り」設置作業を来園者に見学してもらう。138人参加。	不特定	どなたでも	不定	指定管理者	参加者の満足度	参加人数100人	A	目標人数138%の参加。アンケート未実施だが、見学者についても昨年度より24%増。	浅川	200	継続		200	公園課（駒木野庭園アーツ）
191		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	錦秋庭園ぼんさい展	盆栽の展示、紹介、観賞	季節の盆栽20余点を、昭和初期の日本家屋内と日本庭園に展示し、和みの空間を楽しんでもらう。977人参加。	不特定	どなたでも	不定	共催	協働事業の推進	参加人数700人	A	目標の参加人数を大幅に上回るとともに、庭園ぼんさい展実行委員会と協働し、季節の盆栽の展示により多くの来園者に日本庭園を身近に感じてもらうことができた。	浅川	0	継続		0	公園課（庭園ぼんさい展実行委員会）
192		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	陽春庭園ぼんさい展	盆栽の展示、紹介、観賞	季節の盆栽20余点を、昭和初期の日本家屋内と日本庭園に展示し、和みの空間を楽しんでもらう。911人参加。	不特定	どなたでも	不定	共催	協働事業の推進	参加人数200人	A	目標の参加人数を大幅に上回るとともに、庭園ぼんさい展実行委員会と協働し、季節の盆栽の展示により多くの来園者に日本庭園を身近に感じてもらうことができた。	浅川	0	継続		0	公園課（庭園ぼんさい展実行委員会）
193		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	議場コンサート	議会に対する関心を高める	各市議会定例会初日に市内の大学生サークル、市民サークル及び市に縁のある方たちによるコンサート等を開催。	市内	どなたでも	40	市単独	事業を継続していくことを評価の指標としている。	より開かれた議会であること。※具体的な目標値は設定できない。	B	目標におおむね到達し、事業水準が維持できた。	本庁	なし	継続		なし	庶務調査課
194		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財見て歩き	市内の文化財等を市民に紹介し、八王子の歴史等の普及を行う。	文化財見て歩き「片倉城跡とその周辺を歩く」「親子で体験！戦国の八王子城」「八王子町を歩く」「2つの日本100名城を歩く（2日間参加者は同じ）」を実施し、歴史や文化に触れ、理解を深めた。（4回 参加者108人、前年度4回107人）	不特定	どなたでも	120	市単独	応募者・参加者の人数	参加者120人	B	当選者数は130人であったが、実際の参加者は108人だったため。どの回も参加者から好評で、特に2日間で「2つの100名城を歩く」においては参加者の満足度が高かった。	本庁・元八王子・北野	6	継続		5	文化財課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
195		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京文化財ウィーク	東京都が主催し、都内の指定文化財を一斉に公開する。	10月28日から11月5日の期間中、国や都の指定文化財を公開した。	不特定	どなたでも	-	市単独	東京都が人数の集計等を行うため、設定なし	B	普段は一般公開されていない都の指定文化財をはじめ、様々な文化財を公開し、多くの方々に文化財に触れる機会を提供できたため。	本庁	0	継続		0	文化財課
196		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	第15回八王子車人形と民俗芸能の公演	伝統芸能の普及と保存伝承に対する市民の理解を深めてもらう。	29年度は「八王子車人形」「説経節」「山入の籠獅子舞」「今熊神社の獅子舞」の公演を行った。(入場者数625人 前年度940人)	不特定	どなたでも	1,200	委託	応募者・参加者の人数	C	開催日が連休最終日とのこともあり、参加者が目標値に達しなかったが、参加者の伝統芸能に対する親しみと理解を深めることができたとともに、出演者のやりがいや達成感につながったため。平成30年度は連休に重ならない日程で実施が決定している。周知方法等を検討し、より多くの方に参加していただくよう努める。	本庁	1,650	継続		1,650	文化財課
197		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「説経節体験・発表講座～三味線・語り～」	伝統芸能の後継者の発掘及び育成支援を行う。	9名の参加者が、11月26日～2月10日の期間で練習を重ね、2月11日に学園都市センターでその発表を行った。2月11日は227人の入場があった。	不特定	成人	10	実行委員会	参加者の満足度	A	参加者は目標値には達しなかったが、アンケート回答者の7割から「満足」の回答を得られた。また、説経節の会に加入した受講生もおり、後継者育成に貢献した。	本庁	0	継続		0	文化財課
198		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝統文化ふれあい事業「民俗芸能講座」	民俗文化財の保護及び普及を図る。	「木遣」「狭間の獅子舞」「氷川の獅子舞」の3講座を開催し、24人が参加した。	不特定	どなたでも	-	実行委員会	参加者の満足度	B	保存会の協力により、獅子頭などの衣装の着付けや万灯の花の作成など普段行えないことができ、アンケート回答者の7割から「満足」の回答を得られた。	本庁	0	継続		0	文化財課
199		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	文化財年報	文化財の調査及び研究活動を発表することで、八王子の文化財に対する市民の理解を深めてもらう。	八王子市文化財年報第11号を発行した。	不特定	どなたでも	250	市単独	発行時期	C	12月の発行には間に合わなかったが、今年度内に発行できたため。平成30年度は目標達成できるよう処理を進めていく。	本庁	177	継続		137	文化財課
200		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	企画展「戦争と子どもたち」	夏休みと終戦記念日に合わせ過去の戦争の悲惨さを語り継ぎ戦争と平和を考える機会とする。	特別展示室及びエントランスコーナーを使用し、赤紙や出征軍人の襷、灯火管制の再現、当時の生活資料のほか、教科書や雑誌、地図、制服など学校に係る資料100点を展示した。生活資料では、戦時下の食事を再現した食品サンプルを制作した。	不特定	どなたでも	-	市単独	応募者・参加者の人数	B	参加者が3,100人であった。加えて、戦争を知らない幅広い世代の来館者に戦争の悲惨さを伝えることができ達成した。	本庁	-	継続		-	文化財課 郷土資料館

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定					⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)	
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目									⑪ 目標
201		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	企画展「七福 神 八王子 の恵比寿・大 黒 おめでた いもの大集 合」	市内旧家および館所蔵の恵 比寿・大黒天像や縁起物な どを展示する。	旧市街地の多くの家で建て ていた青竹に松を添えた門 松及び甲州街道沿いの商 家や飲食店で飾っていた 「内飾り」を市内の篤職の 協力を得て展示した。展示 点数66点。	不特定	どなたで も	-	市単独	応募者・ 参加者 の人数	入館者 2,000人 以上	B	参加者数が1,894人であり、 目標を達成できなかったもの のアンケートでは、「内飾の 大きさに圧倒された」、「おた ふく図など面白い資料がたく さんあった。」など、八王子に ついて関心を高めることがで き達成した。	本庁	-	継続	-	文化財 課 郷土資 料館
202		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	郷土資料館 研究紀要「八 王子の歴史 と文化」30号	郷土資料館の調査・研究の 成果を発表する。	郷土資料館の調査・研究 の成果を冊子としてまとめ た研究紀要第30号、資料シ リーズ第57号、資料館だよ り101号・102号、常設展展 示図録(再版)を刊行する。	不特定	どなたで も	400	市単独	その他	刊行物 の発刊 5種類	B	目標とした刊行物5種類を刊 行することが出来た。 地域の歴史資料や古文書の 調査研究の成果を発信する ことで郷土史普及の一端を 担うことができ達成した。	本庁	664	継続	194	文化財 課 郷土資 料館
203		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	講座「戦時下 の生活と八 王子空襲」	体験談を通じ戦中・戦後の 市民生活について理解を深 める。	ガイドボランティア及び市民 との協働で戦争体験談を 聞く会を開催した。疎開体 験と学校の様子及び市街 地が焼ける様子や空襲直 後の様子を伝える八王子 空襲体験談、太平洋戦争 が始まった昭和16年に国 民学校に入学したご自身 の日記や授業で描いた絵 を紹介しながらの体験談を 紹介した。	不特定	どなたで も	20~30	市単独	参加者 の満足 度	参加者 数40~ 60人	B	参加者が52人であった。 戦時下の生活や八王子空襲 の体験を聞くことと開催中 の企画展「戦争と子どもたち」と 合わせて当時の子どもたち の様子や市民生活について 理解を深める機会とすること ができ達成した。	本庁	10	継続	10	文化財 課 郷土資 料館
204		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	特別展「学芸 員のおすす め！蔵出し 収蔵品展」	開館50周年に合わせ、数多 くの収蔵資料の中から、学芸 員と資料館ガイドボランティ アがそれぞれの視点で選ん だおすすめ品の数々を公開 する。	収蔵資料の中から学芸員 がそれぞれの切り口からお すすめ資料を展示した。展 示全体の時代やテーマを 定めて、展示ケースごとに 担当がテーマを決めるとい うこれまでにない手法で展 示を構成し、郷土資料館で 収集されたさまざまな資料 を見て、八王子の多種多様 な歴史や文化に触れてい ただくという初めてのコンセ プトで実施した。	不特定	どなたで も	-	市単独	応募者・ 参加者 の人数	入館者 3,000人 以上	A	入館者が目標を大幅に上回 る4,180人であった。 加えて、アンケート結果で は、「色々なものがあって面 白かった」、「切り口がとて 面白かった」という意見な ど、展示内容が良かったとい う回答は80%を超え、今回 の展示コンセプトが活かさ れ、八王子の多種多様な歴 史や文化に触れ関心を高め る機会を提供することができ 達成した。	本庁	144	継続	81	文化財 課 郷土資 料館
205		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	特別展「学芸 員のおすす め！蔵出し 収蔵品展」展 示リーフレ ット	特別展の一環としてリーフ レットを発行する。	リーフレット・ポスタートを郷 土資料館での配布のほか、 377ヶ所に4,500枚を配 布し、特別展開催を広く周 知した。	不特定	どなたで も	5,000	市単独	リーフ レット・ポ スターの 配付数	5,000枚 を配布	B	目標としていた配布数をほ ぼ達成した。 その結果、会期中の入館者 数目標を達成した。	本庁	69	継続	519	文化財 課 郷土資 料館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
206		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	市制100周年記念特別展「八王子百年の彩り」	市制100周年を記念し、100年の八王子のあゆみを振り返る展示を実施する。	不特定	どなたでも	-	市単独	応募者・参加者の人数	入館者6,000人以上	A	入館者数が6,729人であった。加えて、アンケート結果では、「展示方法が見やすい。」「八王子の歴史ポイントが分かりやすく良かった。」など、展示の内容が良かったという回答は85%を超え、八王子の歴史や歩み、特色を知ってもらうことができ達成した。	本庁	94	継続		81	文化財課 郷土資料館
207		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	市制100周年記念特別展「八王子百年の彩り」関連記念講演会「(仮)映像で見る戦後の八王子—郷土資料館所蔵映像3本立て—」	特別展「八王子百年の彩り」に合わせ、映像資料から八王子の100年を振り返る。	不特定	どなたでも	230	市単独	応募者・参加者の人数	当日の入場者200人以上	B	参加者は201人であった。八王子空襲や織物工場の集団就職の様子、東京オリンピックの自転車競技開催など、戦後の八王子の発展の様子を長く八王子に住む住民の方には振り返る機会に、新住民の方には八王子の歴史を知る機会を提供し故郷八王子を考える良い機会を提供することができ達成した。	本庁	-	廃止・終了	新たな講座を実施する。	-	文化財課 郷土資料館
208		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	市制100周年記念特別展「八王子百年の彩り」展示図録	特別展の一環として展示図録を発行する。	不特定	どなたでも	1,000	市単独	応募者・参加者の人数	年度内に400冊販売する	B	販売数が443冊であった。目標としていた販売数を大幅に上回ることができた。加えて、展示内容を分かりやすく解説し展示内容と八王子の歴史について理解を深める役割を果たした。	本庁	441	継続		519	文化財課 郷土資料館
209		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展展示図録増刷	在庫切れとなっている図録を再発行する。	不特定	どなたでも	1,000	共催	応募者・参加者の人数	400冊配付する	B	配布数が200冊であり、目標を達成できなかったものの「小学生にもわかりやすい内容」をコンセプトに、ボランティアとの協働での作成という初めての取り組みをした結果、表現を工夫したり、昔の生活用品の紹介を充実させたり、時代ごとに年表を入れるなど、さまざまな工夫を取り入れ、再発行することができた。加えて、市民から「読みやすい」、「他市から転入した方にも読んでほしい」などの意見をいただき好評を得ることができ達成した。	本庁	300	継続		519	文化財課 郷土資料館

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
210		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2017～	街中を中心に市民に身近な場所で八王子に伝わる文化や芸術に親しむ機会を提供する。	不特定	どなたでも	30,000	共催	応募者・参加者の人数	事業の認知度向上と参加者や来場者数の増	A	来場者数の目標を大きく上回るとともに、多摩織を使った着物によるファッションショーや、八王子車人形と現代のストリートダンスとのコラボレーション公演等を実施し、事業の認知度向上へとつながった。	本庁	4,000	継続		4,000	学園都市文化課
211		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子大音楽祭2017	音楽の鑑賞・参加・体験を通じて、芸術文化の普及を図るとともに人と人のふれあいつながりを深め、また八王子への関心・愛・誇りを育み、芸術の薫る街づくりに寄与する。	不特定	どなたでも	20,000	補助	事業の拡大	事業の認知度向上と参加者や来場者数の増	A	入場者数約24,000人、出演者数約2,100人と目標を上回った。中でもアイーダでは、1,403名の来場者があり、アンケートでは、八王子らしさや市民参加もある中、本格的な公演だった。100周年を祝う企画としてとても相応しかった。オーケストラが存分に楽しめるセミコンサート形式が良かった。など多数の好評の声をいただいた。その他6日実施したセレオの企画では数年前は空席が目立った会場が、現在は毎回来場者が事前入手したパンフレットを手に満席(約70のパイプイスでは足りず、立ち見ができる)になるほど認知度の向上を実感した。	本庁	64,125	継続		25,347	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
212		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ジャズシリーズ夏	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	不特定	どなたでも	140	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケットの完売を目標とする	C	完売することの多い人気のシリーズだが、今回チケットの販売率は60%を下回った。1回公演であれば完売だったが、収支を考えると2回で実施した。ジャズの愛好者以外にも、ジャズの魅力を伝えるPRが弱かったと思われる。	由木	447	休止			学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
213		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ジャズシリーズ冬	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	不特定	どなたでも	140	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケットの完売を目標とする	B	1回公演であったが、チケットは完売し、集客率も100%と目標を達成した。チラシもクリスマスらしいデザインで、プログラムもスタンダードの他に季節に合ったクリスマスソングや、人気の高いビートルズナンバーにしたことが完売につながったと分析している。	由木	373	継続		358	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)	
						⑥ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標									
214		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ アフタヌーン コンサート Vol.12(ア イダシリー ズ)	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する機会 を提供する。	オペラ「アイダ」公演の直 近企画として、アイダに 出演するソリストをゲスト に、オペラの合唱曲による コンサートを実施した。一般 のお客様の他にも、アイ ダに参加する市民合唱のメ ンバーなども来場した。	不特定	どなたで も	200	補助	応募者・ 参加者 の人数	集客率9 割以上を 目指す	A	アフタヌーンコンサート初の 完売となり、集客率は92%と 目標を達成した。内容的に は東響コーラスのメンバーも 出演し、管弦楽のアンサンブル が中心の通常のアフタ ヌーンコンサートには無い、 華やかな舞台となった、	本庁	604	継続		537	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
215		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ 第2回八王子 定期演奏会	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する機会 を提供する。	秋山和慶指揮、ヴァイオリ ン前橋汀子により、ベ ートヴェンのヴァイオリン協 奏曲や、チャイコフスキー の交響曲など、クラシック の名曲で実施した。	不特定	どなたで も	1,600	補助	応募者・ 参加者 の人数	集客率7 割以上を 目指す	A	第1回定期演奏会に比べ、 チケット販売数が172枚増の 74.3%と目標を達成するこ とができた。特にクラシック の中でも大曲2曲による公演と して、指揮・オーケストラ・ソ リスト共に渾身の演奏とな り、第1回に続き本格的な公 演が実施できた。	本庁	8,206	継続		9,446	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
216		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ アフタヌーン コンサート Vol.13	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する機会 を提供する。	過去のクラシック公演とは 異なり、「ホルンで奏でる紅 白歌合戦」と題し、クラシッ ク奏者が2台のホルンで昭 和歌謡を演奏するプログラ ム。ホルンの様々な音色や 奏法を紹介し、オーケストラ の楽器を身近に感じても らった。	不特定	どなたで も	200	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	集客率9 割以上を 目指す	B	ラララやホームページ、各会 館や商店街などにポスター やチラシを配布しPRを行っ たが、集客率58.6%と目標に 達成することはできなかった。 しかし、チラシのデザインも、 企画内容が分かるように一 新し、お客様の満足度も高 く、市民に質の高い公演を鑑 賞する機会を提供すること ができ、事業の目的は達成 した。	本庁	410	継続		300	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
217		2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ アフタヌーン コンサート Vol.14	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する機会 を提供する。	バレンタインにちなみ、ロマ ンティックなプログラムの弦 楽四重奏。南大沢交流 ホールの特徴を活かした企 画として、3年連続実施。	不特定	どなたで も	100	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	集客率9 割以上を 目指す	B	ラララやホームページ、各会 館や南大沢駅周辺の商店街 などにポスターやチラシを配 布しPRを行ったが、集客率 77.3%と目標に達成するこ とはできなかった。 しかし、市民に質の高い公 演を鑑賞する機会を提供す ることができ、事業の目的は 達成した。	由木	323	継続		300	学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)
218	◎	2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	歌舞伎公演	市民に身近な場所で優れた 文化や芸術を鑑賞する機会 を提供する。	八王子市制100周年にちな み、当代一の人気役者市 川海老蔵の公演を実施し た。内容は舞踊公演ではな く、創作劇の源氏物語公演 を選択した。	不特定	どなたで も	3,000	補助	応募者・ 参加者 の人数	集客率7 割以上を 目指す	A	昼公演夜公演ともに完売し、 集客率昼の部99.3%、夜の 部96.9%と目標を大きく上 回った。また公演の規模が 大きく、他市ではできないよ うな公演を実施できた。この ような公演は来場者に好評 なため、継続していきたい が、予算確保と企画の誘致 のタイミングの合致が条件と なる。	本庁	30,469	休止			学園都 市文化 課((公 財)学 園都市 文化ふ れあい 財団)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
219	◎	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	東京交響楽団PJ 万葉集公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	現在活躍中の作曲家千住明氏の新曲に取組み、人気の指揮者大友直人氏を迎えた。日本語の歌曲であり、題材も万葉集と日本人に馴染みがあり、新曲でありながら親しみを持ちやすい内容であった。	不特定	どなたでも	800	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売8割以上を目指す	B	過去3回の宗教曲公演と異なり、新曲による演奏会であったためPRも難しく、チケットの販売率は50.3%と目標には達しなかった。しかしソリストに二期会の実力派若手を起用し、内容的には万葉集という新曲の完成への一躍を担った。	本庁	5,337	継続	9,995	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
220		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	すぎやまこういち×東京交響楽団ドラゴンクエストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	毎年人気の公演。特に他での公演と異なり、作曲者すぎやまこういち氏本人による指揮で、八王子公演の人気の高い。	不特定	どなたでも	1,600	補助	応募者・参加者の人数	チケットの完売を目標とする	A	7年連続完売で黒字も過去最高額となった。発売から完売までの期間も短く安定した興行となった。販売率①延べ1,729名が来場し、目標を達成した。	本庁	7,650	継続	7,991	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
221	◎	2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	八王子車人形集大成シリーズ	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	馬頭琴・ピアノ・ドラムとの共演、こども夏休み教室発表会、八王子芸妓衆との演出など4公演(7回)を実施。	不特定	どなたでも	800	指定管理者	応募者・参加者の人数	チケット販売7割以上を目指す	A	販売率①5/14、83%、②8/25、一回目100%、二回目81.8%、③12/8、一回目75.1%二回目49.7%、④3/16、一回目100%、二回目90%と7回の内6回が7割を超えており、伝統文化の普及も含め目標を達成した。	本庁	203	継続	211	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
222		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	避難訓練コンサート	地域の小学校と協働し防災意識を高めるとともに、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	地元小学校を観客に迎え、実際のホールで生の音楽を体感し、避難訓練では防災意識を高めた。また、ビル管理者と協働し連携を深めた。	市内	子ども	300	指定管理者	協働事業の推進	複合ビルの管理者と共同で実施、会館職員、地域の小学生・教員の防災知識、防災意識を高める。	B	300名の児童にサックスアンサンブルの生演奏を体感する機会を提供した。避難訓練では小学校・フレスコビル・会館の3者がそれぞれの役割を認識し防災意識を高めた。アンケートでは99%の高い評価を得た。	由木	161	継続	234	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
223		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	南大沢モーニングコンサート	市民に身近な場所で優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供する。	アンケートでは各回満足度が90%以上となり、入場者も4回合計の予定人数を上回り、目標を達成できた。	不特定	どなたでも	各120	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	B	4回開催したアンケート結果満足度の平均は91.8%と目標を達成できたため	由木	387	継続	573	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
224		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	SUN☆KANラリー	市内美術館が共同し市民に芸術文化に触れる機会を提供する。	市内にある夢美術館、東京富士美術館、村内美術館の3館が共同し、夏休み期間中に主に子ども向け(大人の参加も可)に実施するスタンプラリー事業。平成29年度の参加者数は663人だった。	不特定	どなたでも	800人	指定管理者	応募者・参加者の人数	目標参加予定数の達成	B	参加者が目標の82.8%の達成率となりやや下回る結果となった。平成28年度に施設の工事のため本事業を一旦休止、周知に影響がみられたが、事業を再開して長期間(12回)の地域連携を継続することが出来ている。	本庁	377	継続	388	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定					所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
						募集 範囲	対象 者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形 態	評価指 標項目									目標
225		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	ギャラリートーク	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を充実させる。	特別展と常設展(収蔵品展示)にあわせて外部講師(美術家や研究者)や夢美術館学芸員によるギャラリートークを開催。平成29年度の参加者数は403人だった。	不特定	どなたでも	240人	指定管理者	応募者・参加者の人数	目標参加予定数の達成	A	参加者が目標の167.9%の達成率となり、大幅に上回り達成している。実施回数を計画より増やし、より多くの参加機会を創出した努力がみられ評価できる。	本庁	90	継続	220	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
226		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	常設展(収蔵品展示)	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	収蔵品からテーマや作家を選定し、市民に優れた絵画等を鑑賞する機会を提供。平成29年度の入場者数は104日間で16,220人となった。	不特定	どなたでも	15200人	指定管理者	応募者・参加者の人数	目標参加予定数の達成	A	目標の106.7%の達成率となり、上回った。人気があり集客を見込める特別展との併設や見休み期間での開催など、開催時期に工夫が見られ利用者増の結果となった。	本庁	307	継続	234	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
227		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	特別展	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。	地域の美術館として本市ゆかりの著名な画家を紹介する企画、国内で高い評価を得ている美術作品等の紹介する企画、学生・子どもたちも楽しめる企画など幅広いジャンルで特別展を年間6本開催。平成29年度の入場者数は248日間で31,634人となった。	不特定	どなたでも	36500人	指定管理者	応募者・参加者の人数	目標参加予定数の達成	B	目標の86.6%の達成率となり、ほぼ達成できた。前半の場者数が伸び悩んだが、後半挽回し、水準を保った。	本庁	41,716	継続	43,347	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
228		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	BOXギャラリー	市民の芸術活動の発表の場を提供する。	八王子市在住・在勤・在学者を対象に個人の作品を期間中(最長1か月)1ケースのみの展示できる市民の芸術活動の発表の場として提供。	市内	どなたでも	未定	指定管理者	協働事業の推進	広報活動の充実	B	年間を通して八王子市在住・在勤・在学者の延べ75人の利用があった。絵画、写真、詩、オブジェなど多岐にわたるジャンルの作品発表の場として活用された。	本庁	0	継続	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
229		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	大学共催事業	地域、大学と連携した芸術・文化を活用した地域の活性化を目指す。	市内美術大学の多摩美術大学と1回、東京造形大学と連携した事業を1回開催する。平成29年度は多摩美術大学と特別展「没後30年 銅版画家 清原啓子」の図録、展示に協力を得た。東京造形大学とは「東京造形大学フラッグギャラリープロジェクト」事業を実施した。	不特定	どなたでも	2回	指定管理者	協働事業の推進	2回開催	B	市内美術大学と連携した事業の実施が計2回実施し、目標を達成している。多摩美術大学とは特別展で連携し研究成果を公開、東京造形大学とは美術館に加え商店街とも連携し実施された点を評価する。	本庁	584	継続	787	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
230		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	公園散策の楽しみ方～スライドで学ぶ樹木(2部)	公園散策の楽しさを感じていただき上柚木公園の魅力を伝えることを目的に開催する。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	B	参加者も26名と目標を達成した。樹木の不思議な生命力をスライドでわかりやすく参加者に伝えることができた。	由木	32	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
231		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	松竹梅の花あそび教室	園内の環境資源である竹や花を活用した花器づくりや生け花をすることで上柚木公園の魅力を伝える。	不特定	どなたでも	15	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	B	竹で花器を作り園内のマツ・ウメを中心とした生け花を楽しむ機会を提供することができた。	由木	16	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
232		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	上柚木公園の紅葉と木の実を楽しもう(2部)	紅葉や木の実の美しさやその生態を知り上柚木公園の魅力を伝える。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	B	参加者が25名と目標には届かなかったが、ドングリや紅葉など秋の樹木の特徴と魅力を伝えることができた。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
233		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	上柚木公園の樹木の冬芽を楽しもう(2部)	春の訪れを待つ個性ある樹木たちの「冬芽」を観察し上柚木公園の魅力を伝える。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ40人	B	人気の講座で参加者も32名(2部制)と目標を達成した。春に備え芽吹きを待つ冬芽の特徴を観察する機会を提供することができた。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施形 態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
234	2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	アースイベ ント	NPOアート多摩による土器 野焼きワークショップで、火 を使うことのできる環境を活 かした特徴あるイベントとし て実施する。	・1回目野焼き・土器につい てのレクチャーと土器製作 ・2回目土器野焼き制作 以上2回開催。 参加者計19名	不特定	子ども	15	共催	参加者 の満足 度	参加者ア ンケート において 「満足」 の回答 が8割以 上	A	実施後にアンケートを取った 結果、17人の参加者の方よ り、満足度の高い評価を得ら れた。参加申し込みは定員 を上回った。	由木	10	継続		10	公園課 (ひとま ちみど り由 木)
235	2-③	八王子の特 色を活かし た文化芸術 の振興	市史編さん 室・生涯学習 センター共催 市民講座	市民が八王子の歴史に理解 を深める機会を創出し、市史 編さん事業の普及と市民協 働への足掛かりとする。	市史編さん室・生涯学習セ ンター共催市民講座「新八 王子市史を読み解く 近 世・近現代編」全2回を実 施。市民参加総数91名。	不特定	どなたで も	230	共催	参加者 の満足 度	「満足」 の声が 参加者 の7割を 占めるこ と。	A	アンケートを実施した結果、 87.8%の割合で「満足した」 との回答を得たため。さら に、講座の継続・増加を望む 声があったため。	本庁	0 (謝礼 は学習 支援課 で対応)	廃止・ 終了	事業の 完了に よる 他所管 で、同 趣旨の 講座を 継続予 定	0	市史編 さん室
236	2-④	生涯スポ ーツ・レクリ エーション の推進	プールウォ ーキング教室	室内歩行用プールでの基本 的な水中歩行の仕方などを 指導し、足腰の強化や体力 の向上を目指す。	室内歩行用プールでの基 本的な水中歩行の仕方な どを指導する。 実施回数24回 延参加人数299人	市内	どなたで も	210	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加定 員を常に 満たし、 その後の 日常的な プール利 用者の 増加につ なげる	B	毎回、参加者の体調不良等 により1～2名の当日キャン セルができるものの、申し込み 状況は毎回定員を上回る申 し込みがある。残念ながら業 者の負担によって実施され る事業であり、この教室につ いては定員増、開催日数増 の交渉はできない。	本庁	プール 管理委 託料に 含む。	継続		プール 管理委 託料に 含む。	大横保 健福祉 セン ター
237	2-④	生涯スポ ーツ・レクリ エーション の推進	体験アクア ビクス	室内歩行用プールにおいて 基本的なアクアビクスの動き などを指導し、足腰の強化や 体力の向上を目指す。	室内歩行用プールでの基 本的なアクアビクスの動き などを指導する。 実施回数9回 参加延人数84名(定数上 限90)	市内	どなたで も	60	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加定 員を常に 満たし、 その後の 日常的な プール利 用者の 増加につ なげる	B	毎回、参加者の体調不良等 により1～2名の当日キャン セルができるものの、申し込み 状況は毎回定員を上回る。 人気のコースであり、今後委 託業者と定員の増員につ いて交渉する予定。	本庁	プール 管理委 託料に 含む。	継続		プール 管理委 託料に 含む。	大横保 健福祉 セン ター
238	2-④	生涯スポ ーツ・レクリ エーション の推進	あったかホ ール健康教室	子どもから高齢者まで、それ ぞれのニーズに合った健康 教室を実施し、市民の健康 づくり、健康増進に寄与す る。	年間計19教室参加者延べ 人数14,209人	市内	一部年 齢制限 あり	14,000人 (H28年4 月～H29 年2月実 参加人 数参考)	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	参加者 数 15,000人	B	目標に対して参加者数は若 干下回ったが、複合施設とし て、環境以外に健康促進講 座を継続して開催し、市民の ニーズに応えている。	全市域	0	継続		0	北野清 掃工場

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
239		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	健康フェスタ 食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりのきっかけづくりとする。	不特定	どなたでも	10,000人	実行委員会	参加者の満足度	参加者数の増 アンケート集計結果による「健康づくりのきっかけ」の回答15%増	B	14回目を迎えた健康フェスタにおいて、初めて来場者数が1万人を超えた。アンケート結果から、子ども、30歳代、40歳代の来場者も多く、健康、食育について幅広い年代の多くの方に向けて周知啓発を行うことができた。「健康づくりのきっかけになった」との回答が平成30年度89.0%となり、生涯学習プランの計画スタート時の平成27年度の81.5%から増加している。	本庁	1,512	継続		2,620	健康政策課
240		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	・アウトドア フィットネス	公園の様々な場所で、ヨガ、ピラティス、ノルディックウォーキング、ランニングなど、マシンを使用せず、安全で効果的に自然の中で楽しく「生涯スポーツ」を提供します。	不特定	成人	15名	指定管理者	応募者・参加者の人数	60人/年	A	参加者人数が大幅に上回るとともに、実施回数も上ったため。	元八王子	455	継続		360	公園課 (スポーツコミュニティ戸吹)
241		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	各種テニス大会 テニススクール	中高年に多く親しまれているテニス競技を通して生涯スポーツの機会や推進の場を提供します。	不特定	大会16歳以上 スクール 小学4年以上	16ペア 8名/レッスン	指定管理者	応募者・参加者の人数	1,500人	A	回数、参加人数共に目標達成。	元八王子	460	継続		6,500	公園課 (スポーツコミュニティ戸吹)
242		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス教室	「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの普及啓発を目的に開催する。	市内	成人	30	委託	応募者・参加者の人数	180	B	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。また、参加者の中には、一般開放に参加したり、大会に参加したりと、一時的な事業で終わるのではなく、継続して楽しんでもらえるような事業が展開できた。	本庁	80	継続		80	スポーツ振興課
243		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ヘルシー ウォーキング 開催	市民の体力向上・健康維持増進への意識を高めるために開催する。	不特定	どなたでも	900	実行委員会	応募者・参加者の人数	900	B	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。また、市外からも多くの方が参加し、健康増進意識だけでなく、八王子市の自然や施設を広く周知することができた。	全市域	653	継続		743	スポーツ振興課
244		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	地区運動会 等開催	スポーツ大会を通じ地域のコミュニティ活性化につなげるため、地域スポーツクラブや旧地区体力づくり推進協議会に対し補助金を支給する。	市内	どなたでも	10,000	補助	応募者・参加者の人数	10000	B	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。また、子どもから高齢者まで広く楽しむことのできる地域イベントとして、地域コミュニティを醸成することもできた。	全市域	1,782	継続		2,079	スポーツ振興課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定					⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目								
245	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	健康体操教室	市民の健康維持・増進を目的に開催する。	市民の健康維持・増進のため、個人向けの健康体操教室と団体向けの健康体操教室を開催。 個人向け教室参加者数：3,728名 団体向け教室参加者数：3,035名	市内	成人	6,000	市単独	応募者・参加者の人数	6000	A	参加者数も目標に達し、事故等の問題なく実施することができた。 また、初めて教室に参加する方も多く、広く健康増進に寄与することができた。	本庁	5,975	継続	6,061	スポーツ振興課
246	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジュニア育成	トップアスリートから指導を受けることで競技継続に対するモチベーションをアップすること目的に開催する。	ジュニア向けにバスケットボール教室・バドミントン教室・体操教室を実施。ジュニア期の子どもの競技力を向上することができた。 参加者数延べ333名	市内	種目による	360	委託	応募者・参加者の人数	360	C	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。 30年度はSNSなどを活用し参加者の増員を図る。	本庁	1,500	継続	1,500	スポーツ振興課
247	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	八王子市の中心部で実施し、本市の魅力を広くアピールするとともにスポーツ振興や地域活性化の契機を目的に開催する。	すべてのコースが公道の大会では、参加チーム数日本最大級の駅伝大会。市外からも多くのチームが参加し、八王子市の魅力を市内外で発信することができた。 参加チーム数：471チーム 参加者数：約1,884名	不特定	部門による	2,000	実行委員会	応募者・参加者の人数	2000	B	参加者が目標に達しなかったが、今年度も市外から多くのチームが参加し、スポーツだけでなく広く八王子市をPRすることができた。	全市域	14,323	継続	140,404	スポーツ振興課
248	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、スポーツ推進委員によって「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの普及啓発を目的に開催する。	市内小学生とその親を対象に八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」を指導する教室。毎週1回(計6回)開催し、競技の普及と親子の絆を深めることができた。 参加者数延べ162名	市内	小学4年生～6年生及びその保護者	30	共催	応募者・参加者の人数	180	B	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。 また、参加者へのアンケートでは「親子で体を動かすことができた」「親子で参加できるところがよい」といったコメントがあり、スポーツだけでなく、親子の絆を深めることができた。	本庁	7	継続	7	スポーツ振興課
249	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	第3回 TOKYO八峰マウンテントレイル2017	「東京都自然公園利用ルール」に基づき、山を利用する誰もが気持ちよく楽しむことができるよう、マナー啓発を目的として開催する。	夕やけ小やけふれあいの里をスタートし、和田峠、小仏城山、三沢峠を経由し落合公園をゴールとするトレイルランニング大会。アウトドアスポーツの聖地として、八王子市の魅力を発信するとともに、マナーの啓発活動もすることができた。 参加者数：893名	不特定	成人	800	実行委員会	応募者・参加者の人数	800	A	参加者数も目標に達し、事故等の問題なく実施することができた。 また、参加者に対し、自然公園利用ルールの啓発活動も行うことができた。	元八王子浅川	0	継続	0	スポーツ振興課
250	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	市民ネオテニス大会	「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの普及及び愛好家の交流を目的に大会を開催する。	八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を目的に開催する大会。レベル別で試合することができるため、普段の練習の成果を発揮できるだけでなく、競技自体を十分に楽しむこともできる。 参加者数：230名	不特定	中学生以上の男女	200	共催	応募者・参加者の人数	200	A	参加者数も目標に達し、事故等の問題なく実施することができた。 また、市外から参加するチームもあり、ネオテニスを市外にも普及することができた。	本庁	10	継続	11	スポーツ振興課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
251		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ターゲットバードゴルフスクール	ニュースポーツであるターゲットバードゴルフの入門編を初心者を対象に行う。	不特定	成人	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ80名	B	参加者28名と目標には届かなかったが、参加者の評判はとても良かった。	由木	5	継続		5	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
252		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	(春季・秋季)テニスクリニック(①一般中上級者・②ジュニア初心者)	①テニス経験者の更なる技術向上のためテーマを絞った講座を行う。 ②これからテニスを始めたい、又は始めたばかりの子どもを対象に体験講座を行い、ジュニアテニス人口の更なる拡大を図る。	不特定	子ども・成人	①各回80人 ②各回40人	指定管理者	応募者・参加者の人数	①参加者各回80名 ②参加者各回40名	A	プロの指導を受けられる機会を提供できた。参加者188名を超え盛況であった。	由木	221	継続		33	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
253		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ジョギング教室	長距離のトップアスリートからの指導により正しい走法技術の取得やジョギングを楽しむ、市民の健康と子供達の心身の育成を図ることを目的とする。	不特定	どなたでも	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者100人以上	A	参加者が128名と多く、レベルに応じたクラス分けもでき、参加者とコニカミノルタの選手の交流も図ることができた。	由木	130	継続		130	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
254		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ティーボール教室	「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」プレーでき、「打つ」、「投げる」、「捕る」、「走る」動作を比較的短時間に楽しめる野球型ニュースポーツを普及する。	不特定	どなたでも	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者30人	C	参加者18名と目標には届かなかったが、参加者は楽しくプレイができて満足度は高かった。	由木	28	継続		24	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
255		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	テニスビギナーズスクール(①大人・②子ども)	初心者を対象に連続講座を行い、技術の向上によりテニスの楽しさを知る。	日本工学院八王子専門学校の協力により、プロのテニスコーチを専門に目指す学生達が10回コースで初心者を指導した。	不特定	どなたでも	①8 ②16	指定管理者	参加者の満足度	各参加者が最後まで続けて参加すること	B	学生達も実地の指導を熱心に取り組んだ結果、10回の連続講座に参加者の欠席も少なく満足度も高かった。	由木	7	継続	130	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
256		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ウォーキング&ストレッチ	無理なく歩くためのストレッチ方法とウォーキングのスキルや楽しさを知り、市民の健康と運動促進を目的とする。	トレーニングジム ゼロの協力を得て、参加者は効果的なストレッチで可動域を広げより無理のないウォーキングを体験することができた。	不特定	どなたでも	50	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者50名	B	参加者28名と目標には届かなかったが、専門的なストレッチとウォーキングを内容とする講座に参加者の満足度は高かった。	由木	100	継続	100	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
257		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	太極拳教室	年齢関係なく手軽に参加しやすい「太極拳」について市民の健康増進に対する啓発の機会の一助とする。	八王子市武術太極拳連盟の協力を得て、参加者は青空のもと葉の擦れる音や、野鳥のさえずりなどを感じながら太極拳の基本動作を体験することができた。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数延べ100人	B	5回で延べ58名と目標には届かなかったが、参加者からは自然の風・光・鳥のさえずりを感じながら貴重な体験ができたと好評だった。	由木	70	継続	110	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
258		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	重症化予防教室	糖尿病のデータが悪い未治療者の重症化を予防に向けて生活改善への支援を図る。	保健師・栄養士・歯科衛生士の講話、理学療法士、健康づくりサポーターによる運動教室。 年11回 38人	市内	成人	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	A	9割の方がアンケートにて満足と回答するとともに、運動教室が自主グループとして継続となったため。	浅川	72	継続	78	東浅川保健福祉センター
259		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	ボールペン習字教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	テキストを使用した書筆教室。実施回数20回 参加延人数371人	市内	高齢者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者アンケート結果が9割以上満足であったため。	本庁	100	継続	100	大横保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
260		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	トリム健康体操教室(9回コース・10回コース)	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易な体操による運動講座。 実施回数19回 参加延人数302人	市内	高齢者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者アンケート結果が9割以上満足であったため。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
261		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	太極拳教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易な太極拳による運動講座。 実施回数20回 参加延人数310人	市内	高齢者	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者アンケート結果が9割以上満足であったため。	本庁	130	継続		130	大横保健福祉センター
262		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	らくらくヨガ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易なヨガによる運動講座。 実施回数20回 参加延人数253人	市内	高齢者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者アンケート結果が9割以上満足であったため。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
263		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	おりがみ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	意匠をこらした折り紙の指導。 実施回数10回 参加延人数207人。	市内	高齢者	20	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者アンケート結果が9割以上満足であったため。	本庁	50	継続		100	大横保健福祉センター
264		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	やさしい運動体験「はつらつトリム」	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	1回終了型の体操講座。 実施回数11回 参加延人数184人	市内	高齢者	220	市単独	応募者・参加者の人数	初めて受講する方の増加	B	初めて受講する方で、概ね定員を充足している。	本庁	55	継続		60	大横保健福祉センター
265		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	やさしい運動体験「気軽にヨガ」	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	1回終了型のヨガ講座。 実施回数9回 参加延人数140人	市内	高齢者	200	市単独	応募者・参加者の人数	初めて受講する方の増加	B	初めて受講する方で、定員を上回る申し込みがあった。	本庁	45	継続		60	大横保健福祉センター
266		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	男の料理教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	男性高齢者を対象とした料理教室。 実施回数11回 参加延人数201人	市内	高齢者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	概ね9割の方が満足と回答。	本庁	222	継続		222	大横保健福祉センター
267		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	タブレット教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	iPad・Windows10による端末操作の指導。 実施回数16回 参加延人数177人	市内	高齢者	24	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	8割を超える方が満足と回答。	本庁	1,061	継続		1,061	大横保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
268		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	100歳まで元気アップ運動教室	身体機能の維持、向上を図るとともに、日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥ることを防ぐ。教室終了後は地域での自主化を図り、運動習慣を継続していく。	健康体操等 年12回 143人	市内	高齢者	240	市単独	事業の拡大	運動を継続し習慣化するために、参加者による自主サークル活動を立ち上げる。	B	自主サークル活動が館外(高倉町)で立ち上がることができた。	本庁	440	継続		262	大横保健福祉センター
269		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	ヘルスアップ運動教室	介護が必要となる状況を予防するために、運動器の機能低下予防や、健康維持増進の具体的な運動方法を学び、運動習慣を身に付ける。	運動器の機能向上事業として実施 年11回 述べ参加者 181人	市内	高齢者	110	市単独	事業の拡大	運動を継続し習慣化するために、参加者による自主サークル活動を立ち上げる。	B	自主サークル活動が館内(1団体)で立ち上がることができた。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
270		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	介護予防普及啓発事業として実施 年4回 述べ参加者 129人	市内	高齢者	160	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度 80%	B	9割以上の方がアンケートにて満足と回答。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
271		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	ゆうゆうシニア講座	健康維持や生きがいを持ち続け、生涯にわたる学習意欲促進を目指す。	42講座実施。延べ1,517名の参加 【参考】28年度 52講座実施。延べ1,812名の参加	不特定	高齢者	2,000	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	C	高齢者のデジタルデバイス対策としてPC・タブレット講座を中心に、体操・料理講座等を実施した。前年度に比べ1割程度の参加者減があったため。30年度は45講座を実施予定。	全市域	1,098	継続		1,131	学習支援課
272		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	ターゲットバードゴルフ練習会・大会	近年、高齢者に多く親しまれてきているターゲットバードゴルフ競技を通して高齢者にも身近でできる生涯スポーツの機会や推進の場を提供します。	・原っぱ広場南側半分を利用した練習会。 37回798名参加。 ・原っぱ広場全面を利用した大会5回開催586名。(当施設主催の大会1回)	不特定	高齢者	不定	補助	利用者の満足度	参加人数 練習会 10~20名/回 大会100名/回	A	参加人数が目標以上を達成した。	元八王子	-	継続		-	公園課(スポーツコミュニティ戸吹)
273		2-⑤ 高齢者の生きがいづくり	いきいき健康体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	【内容】 高齢者向けのいきいき体操教室を開催 【実績】 受講者数 20人 開催回数 18回 延参加人数 304人	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	B	満足度は97%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を足した割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	元八王子	10,500(指定管理料)	継続		10,500(指定管理料)	高齢者いきいき課(八王子市社会福祉協議会)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
274		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	健康体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	B	満足度は97%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を超えた割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	元八王子	10,500 (指定管理料)	継続		10,500 (指定管理料)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
275		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	書道入門教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	B	満足度は97%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を超えた割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	元八王子	10,500 (指定管理料)	継続		10,500 (指定管理料)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
276		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	初級ウクレレ教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	B	満足度は97%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を超えた割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	元八王子	10,500 (指定管理料)	継続		10,500 (指定管理料)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
277		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	将棋入門教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度 100%	B	満足度は97%(利用者アンケートによる、大いに満足・満足を超えた割合、無回答を除く)となり目標には届かないものの、高齢者の教養の向上、生きがいの高揚につながったと考えられるため。	元八王子	10,500 (指定管理料)	継続		10,500 (指定管理料)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
278		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	市内	高齢者	40	委託	応募者・参加者の人数	修了者 40人	B	受講者数及び修了者数の目標を達成したため。	本庁	3,246 (他事業あり)	継続		3,246 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子センター元気)
279		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニア元気塾 コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図る。	市内	高齢者	30	委託	応募者・参加者の人数	修了者 30人	B	受講者数及び修了者数の目標を達成したため。	本庁	3,246 (他事業あり)	継続		3,246 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子センター元気)
280		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	初めてのパソコン教室 (午前・午後)	高齢者・障害者の生きがいと自立の促進	市内	高齢者・障害者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おむね予定通り実施できたため。	浅川	100	継続		200	東浅川保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
281		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	健康体操	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心に、一層の健康づくりを目指す。	前期・後期 各10回×2コース 240人	市内	高齢者・障害者	240	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	130	継続		180	東浅川保健福祉センター
282		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	さわやか運動教室	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行う。	前期・後期 各10回×2コース 200人	市内	高齢者・障害者	200	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	169	継続		204	東浅川保健福祉センター
283		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	水中ウォーキング	高齢者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につなげる。	8回×3コース 75人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	156	継続		156	東浅川保健福祉センター
284		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	はじめてのヨガ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	前期・後期 各10回×2コース 50人	市内	高齢者	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	8割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	100	継続		100	東浅川保健福祉センター
285		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	「認知症」「音楽療法」「聞こえ2回」のテーマで実施 年5回 参加人数 196人 介護予防運動教室 年24回 275人	市内	高齢者	200	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	9割以上の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	317	継続		605	東浅川保健福祉センター
286		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	ロコモ予防講座	高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	ロコモティブシンドロームについての講話と運動実践 年3回 参加人数 45人	市内	高齢者	60	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度 80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	21	継続		14	東浅川保健福祉センター
287		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	トリム体操教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でトリム体操の初歩を学ぶ。開催回数 4回 延参加人数 70人	市内	高齢者・障害者	20	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	20	継続		20	南大沢保健福祉センター
288		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	らくらくヨガ	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でヨガの初歩を学ぶ。開催回数 4回 延参加人数 77人	市内	高齢者・障害者	20	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	20	継続		20	南大沢保健福祉センター
289		2-⑤ 高齢者の生きがいがづくり	シニアボランティアレクリエーション	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	音楽を媒介としてコミュニケーションを図る。開催回数 12回 延参加人数 186人	市内	高齢者・障害者	25	共催	参加者の満足度	高齢者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
290		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	歌って楽しく健康づくり(前期・後期)	音楽療法を通して、一般高齢者の心身の健康を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	音楽療法を用いた集団歌唱 開催回数 24回 参加人数 389人	市内	高齢者	50	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	B	アンケートや参加者の発言から高い満足度がうかがえ、できるだけ出席しようという意欲が見られたため。	由木	289	継続		289	南大沢保健福祉センター
291		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	体力アップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	運動指導士による体操指導(ストレッチ、筋トレ) 開催回数 32回 参加人数 537人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	B	アンケートや参加者の発言から高い満足度がうかがえ、できるだけ出席しようという意欲が見られたため。	由木	384	継続		396	南大沢保健福祉センター
292		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	若さアップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	運動指導士による体操指導(ストレッチ、ゆるやかな体操) 開催回数 33回 参加人数 662人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	B	アンケートや参加者の発言から高い満足度がうかがえ、できるだけ出席しようという意欲が見られたため。	由木	396	継続		396	南大沢保健福祉センター
293		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	チェアピクス、スポーツ吹き矢ほか 開催回数 14回 参加人数 348人	市内	高齢者	220	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	アンケートにおいて、約80%の方が満足と答えている。また、継続が力になることが分かったなど、生活改善に結び付けるきっかけとなっているため。	由木	59	継続		134	南大沢保健福祉センター
294		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニアボランティア子ども将棋教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者の生きがいの高揚、また小学生に将棋を教えることにより交流を促進する。	初心者の小中学生が、高齢者の将棋サークル会員から将棋を学び、双方の交流と将棋の普及を行う。 開催回数21回 参加延人数472人	市内	高齢者・子ども	35	共催	参加者の満足度	高齢者と子供の交流と将棋の普及。	B	ボランティアで指導している方との生きがいの高揚に効果があった。子どもからの人気も根強く、続けて参加をして上達しようという意欲を持った子どもが多数参加している。	由木	114	継続		138	南大沢保健福祉センター
295		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	初心者を対象とした教室でパソコンの基本操作を学び、高齢者や障害者の生きがいと自立を促進する。 開催回数30回 延参加人数148人	市内	高齢者・障害者	5	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	210	継続		210	南大沢保健福祉センター
296		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	楽しい歌声教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	オルガンの伴奏で合唱し、健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。参加者の自主的な運営で実施。 開催回数12回 延参加人数565人	市内	高齢者・障害者	60	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	60	継続		60	南大沢保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
297	◎	2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニアボランティアパソコン初級教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	市内	高齢者・障害者	5	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
298		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニアボランティア囲碁入門(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	市内	高齢者・障害者	30	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
299		2-⑤	高齢者の生きがいがづくり	シニアボランティア絵手紙教室(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	市内	高齢者・障害者	24	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいがづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。新規の受講者でも無理なく上達できることで満足度が高い。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
300		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ことばの教室	基本的言語発声を軌道に載せる助けとなることばの訓練	市内	障害者	240	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	B	前年度に比べ多くの参加があった。対象児のみならず、家族の精神的なサポートも担っている事業である。	本庁	484	継続		450	障害者福祉課
301		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	失語症言語リハビリ教室	言語機能の障害を受けた人に対して言語訓練を実施する	市内	障害者	660	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	B	前年度に比べ利用者数は少し減少したものの、多くの方の参加があった。グループリハビリを毎月実施。当事者のみならず、家族支援も行った。	本庁	1,804	継続		1,869	障害者福祉課
302		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	聴覚障害者の集い	聴覚障害者の交流と情報交換の場として開催し、併せて教養の向上を図る	市内	障害者	240	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度に比べ多くの参加があった。年4回講師を招き、時事的な話題をテーマとした講演と交流会を開催し、聴覚障害者の交流と教養の向上を図った。	本庁	152	継続		159	障害者福祉課
303		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	七宝焼教室	豊かな色彩感覚と指先の細かな動作を通して、手先を訓練するとともに豊かな生活を築く	市内	障害者	192	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度に比べ、利用者が減少したものの、機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	66	継続		36	障害者福祉課
304		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	陶芸教室	てびねりによる和陶芸を行うことで、手先の巧緻性を養うと共に土の感触を通して、情緒の安定を図る。また、色付けや絵付けを通して創造の喜びを味わう。	市内	障害者	459	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	176	継続		169	障害者福祉課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
305		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	折り紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、目と手の供応動作の訓練になると共に、作りあげる楽しさを味わう。	回数:12回 利用者:136名 (前年度比106.3%)	市内	障害者	180	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
306		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	染め紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、手先の良い訓練になると共に、偶然にできる模様の面白さ、色彩の組み合わせを楽しむ。	回数:10回 利用者:62名 (前年度比93.9%)	市内	障害者	96	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
307		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	精神障害者の絵画教室	絵画制作を通じて、自然な形で話し合ったり、行動を共にすることで孤独がちであった人が再び元の生活へと自信を取り戻していくための支援をしていく	回数:20回 利用者:99名 (前年度比80.5%)	市内	障害者	264	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度に比べ、参加者が減少したものの、「障害者文化展」に作品を出展するなど、参加者は意欲的である。他者との関わりが少ない精神障害者にコミュニケーションの場を提供できた。	本庁	117	継続		156	障害者福祉課
308		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメントを通じて、生活に潤いと明るさをもたせる。	回数:11回 利用者:205名 (前年度比106.8%)	市内	障害者	242	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	参加希望者が多く、講師との調整のもと、上限に近い受講生の受入に努めた。	本庁	166	継続		143	障害者福祉課
309		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	リリアン編み教室	手製の道具を使ってリリアンを編み、小物を制作し、手先の細かな動作訓練を行う。	回数:12回 利用者:46名 (前年度比69.7%)	市内	障害者	72	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度に比べ参加者が減少したものの、障害の有無に関係なく、作品作りを通して、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
310		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	茶道教室	日本の伝統文化にふれながら、礼儀作法や日常のマナーを身につけて、生活にゆとりと豊かさをもてるように茶の精神と技を学ぶ。	回数:19回 利用者:217名 (前年度比109.0%)	市内	障害者	312	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度、肢体の不自由な障害者も参加できるよう、座ってお茶を点てられる、「立礼棚」を購入し、肢体不自由者の参加があった。	本庁	95	継続		120	障害者福祉課
311		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	書道教室	かな書道の基礎を着実に学習し、更に創造性と表現力を会得することで心豊かな生活を築けるよう書の心と技を学ぶ。	回数:12回 利用者:143名 (前年度比95.3%)	市内	障害者	192	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	参加者の障害は様々であるが、講師と調整し、本人の障害特性、レベルに合わせた事業実施に努めた。	本庁	78	継続		78	障害者福祉課
312		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	ハーモニータベ	市民と障害者の「ふれあいの場」として行い、障害者福祉に対する理解を深めると共に、正しい発声と唱歌の技術を身につけ、日本の四季を折り込んだ心に沁みる歌をうたうことで、生活の一部として豊かな音楽性を学ぶ。	回数:34回 利用者:489名 (前年度比100.8%)	市内	どなたでも	530	指定管理者	応募者・参加者の人数	580	B	前年対比は増加したものの、目標の人数には達しなかったが、障害の有無に関わらず、歌を通して、コミュニケーションを図ることができた。	本庁	264	継続		264	障害者福祉課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
313		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(中級)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	回数:20回 利用者:319名 (前年度比85.1%)	市内	障害者	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	目標の人数には達しなかったものの、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	本庁	224	継続		276	障害者福祉課
314		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(上級)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	回数:20回 利用者:225名 (前年度比70.5%)	市内	障害者	240	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	目標の人数には達しなかったものの、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	本庁	262	継続		226	障害者福祉課
315		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のためのタブレット講習会	タブレットの基本的な操作や、聴覚障害者向けのアプリケーションソフトの紹介を通じて、中途失聴・難聴者の生活の利便性の向上を図る	回数:10回 利用者:125名 (前年度比91.2%)	市内	障害者	9	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	目標の人数には達しなかったものの、前年度、購入したタブレットによる講座が、好評であった。	本庁	190	継続		202	障害者福祉課
316		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	見えにくくなった方の学習会	途中で視覚に障害を負った方を主な対象として、点字の学習、歩行訓練、ADL訓練を行い、日常生活の向上を図る	回数:31回 利用者:433名 (前年度比108.3%)	市内	障害者	465	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	講師の手配に苦慮しつつも、継続的に点字の学習を希望する受講生の声に応えた。	本庁	370	継続		458	障害者福祉課
317		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	障害別パソコン講習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す 悪天候により1回お休み 視覚、肢体不自由、知的、精神、聴覚、中途失聴・難聴の各障害に対応	回数:35回 利用者:545名 (前年度比104.4%)	市内	障害者	200	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	悪天候により休講が一度あったが、様々な障害に対応した口座を実施した。	本庁	985	継続		784	障害者福祉課
318		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	パソコン学習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	回数:36回 利用者:1,018名 (前年度比89.9%)	市内	障害者	900	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	前年度より参加者が少し減少したが、タブレット端末の相談・支援が増加したため、好評であった。	本庁	630	継続		630	障害者福祉課
319		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	福祉講演会	講演会や映画上映会などを通して、障害者の福祉に貢献をしている方々を講演者として招き、障害者福祉の向上に寄与する	回数:1回 利用者:31名 (前年度比57.4%)	市内	どなたでも	40	指定管理者	応募者・参加者の人数	45	B	前年度に比べ参加者が減ってしまったものの、日本語字幕、音声ガイド付きで手話をテーマにした映画上映を行い、障害者福祉の啓発に努めた。	本庁	53	継続		69	障害者福祉課
320		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	ふれあいコンサート	「障害者週間」のイベントとして、障害者の音楽愛好家の発表の場として、また一般からの参加も促し、広く交流することで障害者福祉の啓発を図る	回数:1回 利用者:120名 (前年度比109.1%)	不特定	障害者	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	132	B	音楽愛好家の障害者、福祉施設利用者、健常者等が出演し、音楽を通して交流を図った。	本庁	35	継続		35	障害者福祉課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
321		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	夕涼み会	すぎな愛育園と共催で実施、 それぞれの施設の事業と障 害者福祉に果たす役割を地 域に伝え、障害児・者を交え て交流を図る	都市緑化はちおうじフェア 開催のため、デニーズ横駐 車場の使用制限があり、29 年度は中止とした	不特定	どなたで も	400	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	440		都市緑化はちおうじフェア開 催のため、デニーズ横駐車 場の使用制限があり、29年 度は中止とした。 30年度は開催を予定。	本庁	17	継続		40	障害者 福祉課
322		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	障害者作業 所等作品展 示即売会	市内作業所等の作品を展 示・紹介をしながら福祉作業 所等について理解を深めて もらう。また、施設で製作され たお菓子や小物の販売も行 う。	回数:1回 出展施設:25団体 (前年度比96.2%) 売上:356,700円 (前年度比98.6%)	不特定	どなたで も	120	指定管 理者	協働事 業の推 進	障害者 施設、ポ ランティ ア団体と の協力 により事 業周知を はかり、 来場者 数の増 大を図る	B	開催が毎年楽しみという、市 民が多数いる。出店施設の 作品も多様である。	本庁	1	継続		0	障害者 福祉課
323		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	障害者文化 展	障害当事者に対し作品発表 の機会を提供すると共に、広 く障害者福祉の啓発につな げる。また賞を贈り、今後の 創作を奨励する	出展作品:176点 (前年度比97.7%) 来場者:580名 (前年度比98.5%)	市内	障害者	600	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	660	B	目標には達しなかったもの の、出展作品は学園都市セ ンターにて5日間展示し、580 名が来場した。	本庁	120	継続		132	障害者 福祉課
324		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	プール開放	プールを一日開放し、盛夏 のひとつを楽しく過ごし、心 身障害者(児)およびその介 助者等の交流を深める。	平成29年8月2日実施。 天気を理由にキャンセルも あり、昨年度よりも参加人 数が減少したものの、参加 者からも好評で毎年の開 催を望まれている。 【参加者数】 101名(障害者60、介助者 41)	市内	障害者	150	市単独	応募者・ 参加者 の人数	165	B	天気が悪く、気温・水温とも に低かったため参加者が例 年に比べ少なかったため、 目標に達しなかったものの、 参加者からは「楽しかった」 「ぜひ来年以降も続けてほ しい」と好評であった。	浅川	7	継続		7	障害者 福祉課
325		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	ふれあい運 動会	障害者と市民との交流を通 して、障害に関する理解を促 進する。	平成30年1月27日実施。 緑化フェアのため、例年の 富士森公園陸上競技場が 使用できず、初めての体育 館(エスフォルタアリーナ) 開催であった。 時期も例年の秋頃ではな く、1月の開催だったため、 例年に比べ参加者が少な かった。 参加者:983名	市内	障害者	1,200	実行委 員会	応募者・ 参加者 の人数	1320	B	場所、時期が例年と異なるこ とから、参加者が少なかった ため、目標に達しなかった ものの、車いすバスケの選手 によるデモンストレーション や、車いすバスケ体験、ポッ チャ体験など、参加者からは 好評であった。	浅川	200	継続		200	障害者 福祉課
326		2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	機能回復訓 練	身体障害者の四肢体幹機能 の回復・維持を専門的に指 導訓練する。	回数:95回 利用者:792名 (前年度比121.1%)	市内	障害者	200	指定管 理者	訓練の 実施回 数	前年度と 同等の 回数	B	前年度に比べ20%もの参加 者増があった。	本庁	2,774	継続		2,744	障害者 福祉課
327	◎	2-⑥ 共同参画・ 共生社会の 実現	ちりめん細工 教室	伝統的な手芸である、ちりめ ん細工に親しみながら、小物 などの創作活動に取り組むこ とで、指先の訓練と集中力や 色彩感覚を養う。	回数:4回 利用者:39名 (平成29年度新規事業)	市内	障害者	15	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	17	A	新規事業。 目標を大きく上回る参加が あった。 機能回復を意識した指先の 細かな作業と作品作りを通じ たコミュニケーションを提供 できた。	本庁	20	継続		78	障害者 福祉課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
328		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	囲碁教室	囲碁という知的ゲームを通し、知的操作力を維持、向上させる。加えて孤独になりがちな障害者に交流の場を提供し、社会性の向上に寄与する。	回数:22回 利用者:306名 (前年度比150.7%)	市内	障害者	408	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	A	前年度比で150%を超え、多くの方が参加した。碁を通じた交流機会の提供により、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	本庁	66	継続		72	障害者福祉課
329		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(入門)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	回数:20回 利用者:300名 (前年度比128.8%)	市内	障害者	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	A	前年度比で128%を超え、多くの方が参加した。講師と調整し、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	本庁	370	継続		382	障害者福祉課
330	◎	2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を要請する。	日本語学習支援を実施するボランティア団体と連携し、日本語学習支援者の育成を図った。 日本語ボランティア基礎講座(全5回 139名) 日本語ボランティアステップアップ講座(全5回99名)	不特定	どなたでも	延120	委託	応募者・参加者の人数	参加者延120人	A	参加者数が目標を大きく上回ったほか、参加者へのアンケート結果においても「とても良かった」の回答が多かったため。	本庁	206	継続		245	多文化共生推進課
331	◎	2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	学習支援事業	学習支援指導者等に対し、基本的な知識の習得及び指導力の向上に資するために研修会を実施する。	ボランティア団体と連携し、学習支援指導者への研修会を実施 実施日:8月19日、参加者:26名	不特定	学習支援指導者等	50	委託	応募者・参加者の人数	参加者数50人	B	参加者数が目標を下回ったが、外国人の子どもたちの「在留資格」をテーマとし、進学や就職に関する具体例を盛り込んだ研修内容には、受講者の高い満足度が得られたため。	本庁	49	継続		52	多文化共生推進課
332		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	障害者教室	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	年21回 延78人	市内	障害者	15	市単独	参加者の満足度	継続参加希望の割合80%	B	8割の方が継続参加を希望しているため	浅川	135	継続		174	東浅川保健福祉センター
333		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	トリム体操	障害者の生きがいと自立を促進する。	年24回 延1,778人	市内	障害者	70	市単独	参加者の満足度	継続して利用したい団体の割合	B	8割の方が継続参加を希望しているため	浅川	180	継続		180	東浅川保健福祉センター
334		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	図画工作(知的障害者・児教室)	絵画・工作を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	開催回数 11回 述べ参加人数 163人	市内	障害者	20	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	センターまつりと作品展において、作品を展示し、意欲的に活動され、満足度が高かったため。	由木	94	継続		94	南大沢保健福祉センター
335		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	リズム(知的障害者教室)	音楽療法を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	開催回数 11回 述べ参加人数 128人	市内	障害者	15	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	新規のメンバーも加わり、一年をかけて、センターまつりでの舞台発表を行うなど意欲的であり、満足度が高いため。	由木	94	継続		94	南大沢保健福祉センター

①	②		③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
						⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪								
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
336		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	ぶるーむ(身体障害者運動教室)	運動を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立支援を促進する。	運動指導士による運動指導 開催回数 34回 参加人数 263人	市内	障害者	15	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	参加者の発言から満足度は高く、継続して参加申し込みをしている方が多いため。	由木	170	継続		180	南大沢保健福祉センター
337		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	男女共同参画週間記念講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	男女共同参画を広く市民に啓発するため、コラムニストの深澤真紀氏をお呼びして講演会を実施した。 〈参加者・満足度〉189名 95.6%	市内	どなたでも	200	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が90%以上であるため。	北野	57	継続		49	男女共同参画課
338		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	「女性に対する暴力をなくす運動」講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	「女性に対する暴力をなくす運動」を広く市民に周知すつため、「暴力を許さない社会～お互いを尊重すること～」と題した講演会を実施した。 〈参加者・満足度〉23名 90%	市内	どなたでも	60	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する	A	参加者の満足度が90%以上であるため。	本庁	27	継続		39	男女共同参画課
339		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【私の気持ち】58名 100% 【出前講座・創価大】174名 87.9% 【出前講座・共立女子】174名 67.8% 【アンガーマネジメント】43名 100% 【LGBT】20名 100% 【防災】28名 96% 【映画会】195名 100% ⇒【平均満足度 89.4%】	市内	どなたでも	500	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が90%以上であるため。	本庁	225	継続		166	男女共同参画課
340		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	健康・メディア	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【フレッシュアップ】46名 93% 【月経のお話①】44名 100% 【月経のお話②】36名 100% 【思春期男子①】30名 96.7% 【思春期男子②】16名 100% 【メディアリテラシー】26名 96% ⇒【平均満足度 97.6%】	市内	親子・保護者	180	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が90%以上であるため。	本庁	123	継続		141	男女共同参画課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評 価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担 当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対 象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目 標								
341	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	ワーク・ライ フ・バランス の啓発	男女共同参画社会の実現に 向けて、男女がともに考え自 立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【父子料理】40名 100% 【男の腕まくり】74名 93% 【男性介護】13名 100% 【介護食】13名 100% 【お片づけ術】25名 87% ⇒【平均満足度 96%】	市内	親子・保 護者	210	市単独	参加者 の満足 度	市民に 男女共 同参画 及びワー ク・ライ フ・バラ ンスにつ いて啓発 する	A	参加者の満足度が90%以上 であるため。	本庁	99	継続		146	男女共 同参画 課
342	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	就労支援	男女共同参画社会の実現に 向けて、男女がともに考え自 立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【女性活躍推進】13名 92% 【ひとり起業】68名 100% 【シングルマザー】11名 100% 【働く女性応援講座】28名 100% 【女性リーダー】61名 93% 【再就職支援】61名 100%	市内	成人	274	市単独	参加者 の満足 度	市民に 男女共 同参画 について 啓発する	A	参加者の満足度が90%以上 であるため。	本庁	323	継続		344	男女共 同参画 課
343	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	市民団体による講座	男女共同参画社会の実現に 向けて、男女がともに考え自 立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【女性史サークル公開講 座】40名 95%	市内	どなたで も	120	共催	協働事 業の推 進	市民団 体が主 体となり、市民 に男女 共同参 画につ いて啓 発する	A	参加者の満足度が90%以上 であるため。	本庁	27	継続		48	男女共 同参画 課
344	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	「チャレンジ 企画」支援事 業	男女共同参画社会の実現に 向けて、男女がともに考え自 立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【昔遊び】28名 100%	市内	未定	48	共催	協働事 業の推 進	市民団 体が主 体となり、市民 に男女 共同参 画につ いて啓 発する	A	参加者の満足度が90%以上 であるため。	本庁	11	継続		32	男女共 同参画 課
345	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	DVの啓発	男女共同参画社会の実現に 向けて、男女がともに考え自 立を目指すための講座	〈参加者・満足度〉 【教職員向けデートDV防 止講座】73名 84.5% 【デートDV出前講座・看護 学校】39名 84.6% 【デートDV出前講座・桑志 高】203名 99% ⇒【平均満足度 93.1%】	市内	成人	300	市単独	参加者 の満足 度	市民に 男女共 同参画 及びDV につ いて啓 発する	B	参加者の満足度が概ね80% 以上であるため。	本庁	0	継続		32	男女共 同参画 課
346	2-⑥	共同参画・ 共生社会の 実現	男女共同参 画情報紙「ぱ れっと」の発 行	男女共同参画に関する認識 や理解を深めるための情報 を提供	男女共同参画情報紙「ぱ れっと」の発行。 第38号 281,995部配布	市内	どなたで も	281,200 部	市単独	男女共 同参画 につ いての 啓発	「ぱれ っと」を 通して、市民 に男女 共同参 画につ いて啓 発する	B	男女共同参画情報紙を全戸 配布し、多くの市民に男女共 同参画について情報提供で きた。	全市域	1,221	継続		1,264	男女共 同参画 課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
347		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	「男女共同参画センターだより」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供	「男女共同参画センターだより」を年3回発行した。	不特定	どなたでも	700	市単独	男女共同参画についての啓発	「センターだより」を通して、市民に男女共同参画について啓発する	B	広く市民に男女共同参画の情報を提供することができた。	全市域	0	継続		0	男女共同参画課
348		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	実施回数 239回 利用人数 697名	市内	親子・保護者	1,231	市単独	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	B	「ほっとタイムサービス」を実施し、保護者の学習・就労支援のための託児サービスを行うことができた。	本庁	6,363	継続		6,680	男女共同参画課
349		2-⑥ 共同参画・共生社会の実現	第27回女と男のいきいきフォーラム八王子	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すためのフォーラム	第27回「女と男のいきいきフォーラム八王子」を平成30年2月24日に開催。 講演会参加者 168名 分科会参加者 28名 団体企画参加者 94名 計 290名	市内	どなたでも	300	実行委員会	協働事業の推進	市民に男女共同参画について啓発する	B	市民とともにフォーラムを開催し、広く市民に男女共同参画について啓発することができたため。	本庁	244	継続		300	男女共同参画課(女と男のいきいきフォーラム八王子実)
350		3-① 人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会(昼間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	初級の手話講習会の実施。 34回開始時43名中、修了対象者34名 途中辞退者5名、受講日不足4名	市内	どなたでも	50	市単独	応募者・参加者の人数	定員を超える応募と修了証交付者の増加	B	応募は定員に満たなかったが修了者は79%に達した。	本庁	537	継続		537	大横保健福祉センター
351		3-① 人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	八王子けんこう体操の普及のため、健康運動指導士や理学療法士による実技と講話を実施 年12回、184人	市内	どなたでも	180	共催	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	フォローのための受け入れ窓口を広げ、育成。そのことにより、回数も参加人数も増加。地域での活動の場も拡大したため。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
352		3-① 人材の育成と活躍の場の提供	里山サポーター育成講座	戸吹第二最終処分場用地を、環境意識啓発の学習の場として活用し、環境保全活動に携わる人材育成を行う。	戸吹第二最終処分場用地を、実習地として初心者向け講座(全9回)とフォローアップ講座(全3回)を開催。また、里山見学会を実施。	市内	どなたでも	15	委託	協働事業の推進	講座修了者の里山保全活動の継続	B	初心者向けとフォローアップの2講座を開催した。初心者向け講座では8名に修了証を交付。そのうち4名が市民団体等で活動中。4名が活動を検討中。	元八王子	968	継続		886	環境政策課
353		3-① 人材の育成と活躍の場の提供	あったかホール職場体験	館内施設スタッフの就業体験を通じて、働く事の意義や尊さを学び、社会性、協調性を養う場を提供する。	中学生の就業体験実績(6校 29名)	市内	成人	40人 (H28実績参考)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 40人	B	学校のニーズに基づく事前準備や調整についてほぼ予定通り実施できた。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
354		3-① 人材の育成と活躍の場の提供	はちおうじ志民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりとする。	目標25人(定員30人)に対し、31人が入塾した。しかし卒業生が地域で活動している割合が53.5%であることから、継続的にフォローを行った。	市内	成人	25	委託	応募者・参加者の人数	25人	B	今年度卒業生は、目標を上回ったものの、これまでの卒業生で市民活動に携わる方の割合が約半数であったため、さらなる講座内容の見直しを行うため。	本庁	3,933	継続		3,796	協働推進課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
355		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	お父さんお帰りなさいパーティー	主にシニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体の紹介を行うなど、地域での活動に参加するきっかけづくりとする。	市内	どなたでも	500	実行委員会	応募者・参加者の人数	500人	C	参加者の中で、何人が地域活動のきっかけにつながったか又は参考となったか等の動向の把握や、満足度を調査していなかった。平成30年度は新たな指標となるよう動向を把握する。	本庁及び東部	200	継続		200	協働推進課 (八王子市民活動協議会、市民活動団体)
356		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	市民の健康増進や生活の質の向上に向け、支え合いの地域づくり体制の構築を図り、地域で健康づくり活動を推進する。	市内	成人	30人	共催	事業の拡大	毎年30名養成していく	B	平成29年度は32名の健康づくりサポーターを養成し、地域で活躍している。	全市域	381	継続		716	健康政策課 大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉セン
357		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	交通安全市民の集い	全国交通安全運動の一環として開催し、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故防止を図る。	市内	どなたでも	1900 (29年度実績) 800 (28年度実績)	共催	協働事業の推進	前年度以上の参加者とする。	A	交通安全市民の集いに加え、八王子交通安全劇場を開催して、多くの市民の方が参加できる機会を増やし、交通安全意識を高めることができた。	本庁	150	継続		101	交通事業課
358	◎	3-①	人材の育成と活躍の場の提供	住民主体サービス担い手養成研修	地域の互助による生活支援を推進するため、その担い手となる住民を対象に、前提となる基礎知識等を習得する研修を実施することで、安心かつ信頼性のあるサービス提供を行うとともに担い手の養成及び拡充を図る。	不特定	どなたでも	40	共催	地域の互助による生活支援サービスの担い手の養成及び拡充	研修の参加者が実際に担い手として活動する。	B	外部の有識者等の協力のもと、計5回の研修を実施し、担い手の養成を図った。参加者同士の交流もあり、意欲向上につながったが、各回40名の定員には届かず、周知の方法や効果的な情報発信が課題となった。	本庁 由木元八王子北野	310	継続		852	高齢者福祉課
359		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域包括ケアシステムシンポジウム	シンポジウムの開催を通じて地域の互助による「生活支援体制」構築の重要性の周知や地域活動への参加意識の醸成を図り、八王子版地域包括ケアシステムを推進する。	不特定	どなたでも	140	共催	応募者・参加者の人数	応募者・参加者の増	B	シンポジウム開催当日は当初予定(140名)と同程度の135名が参加し、市の地域資源である大学との連携など地域の互助による「生活支援体制」構築への理解と地域活動への参加意識向上を図った。	本庁	163	継続		115	高齢者福祉課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
360	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	職場訪問、 職場体験、そ の他研修の 受け入れ	科学館事業や運営実務の学 び・体験を通じて、訪問者の 知識の向上を図る。	中学生の職場体験、職場 訪問、大学生の博物館実 習を受け入れた。講座の準 備、プラネタリウム操作体 験、講座の補助などを行 う。	不特定	どなたで も	15	市単独	応募者・ 参加者 の人数	参加予 定者数 以上の 受け入 れ	B	職場訪問、大学生の博物館 実習は例年通り受け入れる ことができた。中学生の職場 体験は1校4人しか受け入れ ることができなかったが、科 学館の実務を体験してもら うことができた。	本庁		継続		こども 科学館	
361	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	生涯学習 コーディネー ター養成講 座	市民の生涯学習活動を支援 する人材を養成する。	全3回の講座を実施。24名 の募集定員に対し、23名の 応募、18名の受講があり、 17名が修了証の交付を受 けた。	不特定	成人	24人	共催	参加者 の満足 度	受講者 が満足 する講 座を提 供し、 また 生涯学 習活動 支援へ の意欲 を高め る。	B	昨年度に比べ修了者数は減 少したが、アンケートからの 満足度は高かった。 また、修了生の数名は共同 で自主企画講座を行い、52 名の方が参加し、質疑応答 も活発に行われ好評だった。	本庁	82	継続	82	生涯学 習政策 課	
362	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	中級手話講 習会(夜の 部)	手話ボランティア養成	回数:34回 延参加者:1,057名 登録者:36名 修了者:28名 (修了率77.8%)	市内	成人	1,020	指定管 理者	修了者 の人数 (70%以 上の出 席で修 了)	前年度 の修了 者数の 95%以 上の修 了者数	B	前年度の修了者数26名を上 回る、28名の受講生が修了 した。延参加者数も前年度 よりも増え、事業目標である 手話ボランティアの養成に資 する講習会を開催できた。	本庁	503	継続	503	障害者 福祉課	
363	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	手話通訳者 養成講座入 門(昼の部・ 夜の部)	手話通訳者を目指すボラン ティア養成	昼の部 回数:34回 延参加者:664名 登録者:21名 修了者:19名 (修了率90.5%) 夜の部 回数:34回 延参加者:582名 登録者:19名 修了者:16名 (修了率84.2%)	市内	成人	昼の部 680 夜の部 1,020	指定管 理者	修了者 の人数 (70%以 上の出 席で修 了)	前年度 の修了 者数の 95%以 上の修 了者数	B	前年度の修了者数34名を上 回る、35名の受講生が修了 した。本講習会は、手話通訳 者を本格的に目指すための 入門であるが、毎年一定の 修了者を輩出しており、手話 通訳者の増に資する講習会 を開催できた。	本庁	659	継続	666	障害者 福祉課	
364	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	入門点字講 習会	視覚障害者への理解を深 め、視覚障害者のための点 字本等の製作の要望に応え られるボランティアを養成す る(昼の部と夜の部あり)	昼の部 回数:12回 延参加者:78名 登録者:2名 修了者:1名 (受講生キャンセルのため、 全15回のところ、12回 で終了) 夜の部 回数:15回 延参加者:140名 登録者:5名 修了者:5名 (修了率100%)	市内	成人	各300	指定管 理者	修了者 の人数 (70%以 上の出 席で修 了)	前年度 の参加 者数の 95%以 上の参 加者数	C	昼の部は受講生の体調不良 等により、当初予定した回数 を実施できず、延参加者数、 修了者数ともに前年度を下 回ったものの、地域で活躍 する点字ボランティア養成の ため、点字学習の機会拡大 に寄与した。 30年度も引き続き実施する が、受講生が参加しやすい よう、講習会の日時等につ いて検討する。	本庁	440	継続	493	障害者 福祉課	

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
365		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級点字講習会	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する(昼の部と夜の部あり)	市内	成人	各300	指定管理者	修了者の人数(70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	C	昼の部は受講生が集まらず未実施であったが、夜の部は予定どおり開催し、受講生全員が修了した。30年度も引き続き実施するが、受講生が参加しやすいよう、講習会の日時等について検討する。	本庁	228	継続		493	障害者福祉課
366		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会(初級・中級)	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成(初級と中級を隔年で実施)	市内	成人	160	指定管理者	修了者の人数(70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	B	市内の音訳サークルの協力のもと、講習会を実施した。	本庁	120	継続		97	障害者福祉課
367		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	要約筆記講習会	手話を使えない中途失聴・難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得	市内	成人	260	指定管理者	修了者の人数(70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	B	2カ年に渡る講習の2年目であり、修了率は85%ほどであった。	本庁	983	継続		1,455	障害者福祉課
368		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	盲ろう通訳者・介助者養成講座	盲ろう通訳介助者の養成	市内	どなたでも	77	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度の参加者数の95%以上の参加者数	B	盲ろう者の通訳介助者養成のため、ローマ字式指文字によるコミュニケーションを学んだ。	本庁	486	継続		619	障害者福祉課
369		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者養成講座	手話通訳者統一試験合格を目指す方のための講座	市内	手話通訳者養成講座入門修了者であり、選考試験に合格した者	360	指定管理者	修了者の人数(70%以上の出席で修了)	前年度の修了者数の95%以上の修了者数	C	前年度修了者数10名に対し、8名の修了者数であり、目標は達成できなかったものの、一定の修了者を確保できた。事業目標である手話通訳者統一試験の合格者は0名だったため、平成30年度は同試験合格を目指す受講生が継続して手話を学べるよう、統一試験対策講習会を新規開講する。	本庁	285	継続		285	障害者福祉課
370		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	外国人のための防災訓練(立川防災館)	地震などの災害に不慣れな外国人に、防災訓練を体験し、災害への対応を身につける機会を提供する。	市内	外国人	23	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数23人	C	参加者数が目標を大幅に下回ったため。平成30年度の募集については、従来の方法に加え、SNSやモスク、日本語学校等の外国人が集まる施設等を活用した周知を図る。	市外	0	継続		2	多文化共生推進課
371		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会(夜間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	市内	成人	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、7割以上の方が修了したため。	浅川	537	継続		537	東浅川保健福祉センター

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑫ 目標								
372	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	中級手話講 習会	手話通訳ボランティアの養成 及び聴覚障害者に対する理 解の促進。	年34回 延1,182人 修了 者37人	市内	成人	40	市単独	参加者 の満足 度	アンケ ート集計 結果によ る満足 度80%	B	9割の方がアンケートにて満 足と回答し、9割以上の方が 修了したため。	浅川	537	継続	537	東浅川 保健福 祉セン ター	
373	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	健康づくりサ ポーター養 成講座	広く健康に関する知識を持 つ健康づくりサポーターを養 成する。	養成講座(3期生) 10回 228人 フォローアップ講座 3回 60人	市内	どなた でも	45	共催	協働事 業の推 進	地域で の活動 の場の 拡大	B	健康政策課、大横・東浅川・ 南大沢保健福祉センターと 協働で養成講座を実施。地 域での活動の場が拡大して いるため。	浅川	63	継続	64	東浅川 保健福 祉セン ター	
374	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	八王子城跡 ガイドボラ ンティア	郷土の歴史を学んだ市民に 実践の場を提供し、郷土愛 の醸成を図るとともに、市民 との協働による史跡の活用 を行う。	29年度は29人の体制でボ ランティア活動を行い、ガイ ドをした回数は延べ1,251回 だった。 研修会の開催と自主活動 の場を提供した	不特定	どなた でも	-	市単独	協働事 業の推 進	ガイド参 加延回 数1,200 回	A	目標を大きく達成するととも に、ガイドに関するの問い合 わせや受付件数の増加、見 学者からお礼のメールをい ただくこともあり、見学者から 好評を得ていると判断したた め。	元八王 子	9	継続	9	文化財 課	
375	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	ガイドボラ ンティアによる 自主事業	ガイドボランティアが中心と なり、館内展示・イベントの充 実を図る。	北条氏照年表(下)を完成 させるとともに資料集を完 成し、資料の充実が図られ た。 八王子の歴史を分かりや すく伝える紙芝居を充実さ せるため、新たな紙芝居 「大久保長安」の作成に着 手した。 開館50周年記念特別展 開催では、ガイドボラン ティアの提案による井上コレ クション展示コーナーを設 け、展示資料の選定に参 画するなど特別展の内容 の充実が図られた。	不特定	どなた でも	未定	共催	協働事 業の推 進	ボラン ティアと の協働 事業を増 やす	A	自主事業である「北条氏照 年表・資料集」を完成させ るとともに、紙芝居「大久保 長安」の作成に着手したほか 、特別展の展示企画や展示 資料の選定など、協働事業 を実施することで、郷土資 料館活動の充実を図ることが でき達成した。	本庁	7	継続	12	文化財 課 郷土資 料館	
376	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	郷土資料館 ガイドボラ ンティア	郷土の歴史を学んだ市民に 実践の場を提供し、郷土愛 の醸成を図る。	常設展示図録の発行で は、協働で内容を検討する 場など、日々の活動で高め た知識を生かす場を提供し た。 講座「お正月遊び」では、 「コマ回し」と「八王子か るた」コーナーの企画・提案 し、講師として参加する場 を提供した。	不特定	成人	22	共催	その他	ボラン ティアに より多 くの活 動の場 を提供 する	B	日々の活動で得た知識・ス キルを発揮する場として、常 設展示ガイドの内容検討や 体験学習の企画提案や運 営に参加する機会を提供す るなど郷土資料館で得た知 識や経験を発揮する場を提 供でき達成した。	本庁	-	継続	-	文化財 課 郷土資 料館	
377	3-①	人材の育成 と活躍の場 の提供	八王子市郷 土資料館だ より	郷土資料館の調査・研究・展 示などの活動をわかりやすく 紹介する。(年2回)	「郷土資料館だより(2回/ 年)」を刊行し、12件の調 査・研究の成果を発表し、 歴史や文化財をわかりや すく紹介した。 初版各500部の配布を終了 し、各1000部、500部増刷 し、広く紹介した。	不特定	どなた でも	各500	市単独	配布枚 数	初版各 500部を 年度内 に配布す る	A	目標とした配布数を上回るこ とができ た。 加えて、12件の調査研究の 成果を発表し、郷土資料館 の活動内容をわかりやすく 紹介するとともに八王子の 歴史の理解を深める役割を 果たした。	本庁	-	継続	-	文化財 課 郷土資 料館	

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
378		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域防犯リーダー養成講習会(フォローアップ研修会)	地域の防犯活動の充実	市内	成人	214 (本講習 100 +フォ ロー114)	委託	応募者・ 参加者 の人数	平成29 年度まで に累計 1,000人 受講	B	平成29年度までに1,000人受講がする目標に対し、998人となり、概ね目標値に達したため。	本庁	370	継続		516	防犯課
379		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内	初級修了者または同程度の技術を持つ方	24	補助	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	A	例年に比べ、修了証を授与できる(規定の回数受講)参加者が多く(88%)、講座終了後のアンケートで今後も手話の知識を深めたいという参加者が多数いたため。	由木	340	継続		340	南大沢保健福祉センター
380		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内	成人	48	補助	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	B	講座終了後のアンケートを見ると、次のステップの講座を受講したいという参加者が多い。また、参加者が意欲的に参加されているため満足度は高いと思われる。	由木	527	継続		527	南大沢保健福祉センター
381		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内	成人	16	補助	参加者の満足度	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	B	音訳を通じて、視覚障害者への理解が深まり、より高度な技術を習得しようと次のステップの講座を受講したいという声が多数あったため。	由木	50	継続		50	南大沢保健福祉センター
382		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	市内	どなたでも	45	共催	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	健康政策課、大横・東浅川・南大沢保健福祉センターと協働で養成講座を実施。地域での活動の場が拡大しているため。	由木	47	継続		107	南大沢保健福祉センター
383		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	コミュニティ講座	地域住民の交流の場づくり、地域コミュニティの育成を図る。	市内	成人	100	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす	B	参加者数が349人だったため。	全市域	238	継続		215	協働推進課(学園都市文化ふれあい財協働推進課(各地域住民協議
384		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	各地域住民協議会運営助成	センターまつり等を通じ、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	市内	どなたでも	-	補助	応募者・参加者の人数	17協議会 90,000人	B	参加者数が103,236人だったため。	全市域	14,238	継続		17,794	協働推進課(各地域住民協議

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形 態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
385		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地区図書室運営事業	地域の住民参加により、読書活動と地域住民の交流促進を目指す。	地区図書室を中心に文庫活動を行った。 28年度利用者52,288人 29年度利用者52,831人	市内	どなたでも	—	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	利用者数が52,831人であったため。	全市域	15,948	継続		15,656	協働推進課 (各地域住民協議会)
386		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動スキルアップ講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	実施日:6月4日、18日 参加人数:24名 テーマ:「市民の活躍を伝える!ライター入門講座」	不特定	どなたでも	50	指定管理者	応募者・参加者の人数	50人	B	参加者は、目標人数を下回ったが、講座の定員を上回る申し込みと受け入れを行ったため。	本庁	指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
387		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	市内の市民活動団体を市民に紹介する講座を実施。 年6回実施 参加人数:延べ161名	市内	どなたでも	180	指定管理者	応募者・参加者の人数	180人	B	参加者は、目標人数を下回ったが、各講座の定員を上回る申し込みと受け入れを行ったため。	本庁、元八王子、北野	指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
388		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動支援講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	実施日:11月25日 参加人数:8名 テーマ:IT支援講座 「facebookを団体の情報共有に使う」 実施日:3月11日 参加人数:8名 テーマ:「H26~29 パワーアップ講座受講団体交流会」	市内	どなたでも	未定	指定管理者	その他	受講者のレベルアップを図る	B	団体ニーズに応えた講座により、団体のレベルアップが図られた。また、市民活動団体間の交流を図り、連携につなげるための場となったため。	本庁	指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
389		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	サタデーパークボランティア	幅広い世代を対象に里山の管理体験を経験してもらい、みどりの保全管理技術の習得を目指す。	・「低木の豊かな森づくり」 ・「ヤマユリの斜面を整える」 ・「水辺の名花復活」 ・「夏剪定」 ・「低木抜き取り」 ・「タマノコアオイを守る」 ・「山野を掃く」 ・「埋土種子」 以上のテーマで年間講座として16回開催。参加者計53名	市内	成人	48	指定管理者	協働事業の推進	参加者48名以上	A	参加予定人数を上回った。また、里山の管理体験を多くの方々にしていただくことで、保全管理技術の周知に繋がった。	由木	0	継続		0	公園課 (ひとまちみどり由木)
390		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	傾聴ボランティア講座	傾聴ボランティアの養成	基礎編 全1回×3会場 受講者194名 スキルアップ編 全5回×2会場 修了者51名 ピア編 全1回 受講者19名	市内	どなたでも	240人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	B	スキルアップ編における講座内容について90%を上回る「よい」の回答をえることができ、傾聴ボランティアの養成につながった。	本庁	468	継続		516	福祉政策課 (社会福祉協議会)
391		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民センターまつり、いちようまつり、福祉まつり、手作り作品展への参加	ボランティア活動をPRし、活動に対する市民の関心と参加を高める	市民センターまつり等に参加し、ボランティア活動のPRをした 参加回数:8回	不特定	どなたでも		補助	参加者の満足度	PRグッズを充実させる	B	前年度比で参加回数が増え、ボランティアグループ製作グッズの販売を通じて幅広い層にPRできた	本庁	5	継続		5	福祉政策課 (社会福祉協議会)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
392		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	精神保健福祉ボランティア講座	精神障害者を支援するボランティアの養成	2会場で開催回数:全6回×2会場 修了者:40名	市内	成人	各会場 30名	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答90%以上	B	講座内容について90%近くの方から「よい」の回答を得ることができ、精神障害者を支援するボランティアの養成につながった	本庁	151	継続		168	福祉政策課 (社会福祉協議会)
393		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの役割、講演「被災者に寄り添った支援」、運営訓練等の実施 開催回数:4回 延べ受講者数:65名	市内	どなたでも	100人	補助	参加者の満足度	町会・自治会へのPRを行う	B	野外等での開催でアンケートを実施できなかったが、災害ボランティアセンターの円滑な運営につなげることができた	本庁	39	継続		78	福祉政策課 (社会福祉協議会)	
394		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子地域合同学園祭学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会が、学生同士や市民の方々との交流を目的とし開催する。	不特定	どなたでも	30,000人	補助	応募者・参加者の人数	30,000人	B	33,000人が来場(H28年度30,000人より3,000人増加)100周年記念事業として、各大学等の地域活動に関するパネル展示と学生による発表を実施した。本市の魅力である「学園都市八王子」を一般来場者へ広く周知を図るとともに、他大学で活動に取り組む学生の交流の機会を提供することができた。	本庁	2,412	継続		2,588	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子((公財)学園都市文化ふれあい)	
395		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	第6回東京都高等学校吹奏楽の響演～響き渡る～	都内の高校を代表する吹奏楽団を有する街、八王子。その高校生達と協働して質の高い音楽公演の提供をする。	不特定	どなたでも	出演者 400人 来場者 1,600人	指定管理者	参加者の満足度	全国的に評価の高い八王子の高校生による吹奏楽を中心に良質な音楽を楽しむ機会を提供できるようにする。	A	6回連続して公演を実施。八王子のイベントとして広く市民だけでなく吹奏楽連盟等関係者にも認知されている。すべての公演でチケット完売。	本庁	1,633千円	継続		1,500千円	学園都市文化課(共立・NTTファシリティーズ共同事業体)	
396		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	青年ライブステージ	生涯学習プランに基づく学習の成果の発表の場づくり事業の一環として実施。出演者は、観覧者の発表することにより今後のより一層の練習への励みとする。	市内	成人	800	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	0	継続		0	学習支援課	

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
397		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	川口やまゆり館まつり	生涯学習センター川口分館を利用している団体が日ごろの成果を発表する。 【参考】28年度2日間開催、延べ1,968名の参加	不特定	どなたでも	2,000	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同等の事業水準を維持したため。	元八王子	0	継続		0	学習支援課
398		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ギャラリー川口	主に生涯学習センター川口分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表する。 【参考】28年度は20団体が446日間利用した。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時展示スペースを提供する。	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同等の事業水準を維持したため。	元八王子	0	継続		0	学習支援課
399		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢総合センターまつり	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の成果を発表する。 【参考】28年度延べ1,490名の参加	不特定	どなたでも	1,600	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同等の事業水準を維持したため。	由木	0	継続		0	学習支援課
400		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	フレスコギャラリー	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表する。 【参考】28年度8団体が延べ121日間利用。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時展示スペースを提供する。	B	施設利用者の学習成果の発表の場として、前年度と同等の事業水準を維持したため。	由木	0	継続		0	学習支援課
401		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市立小中学校合同作品展「おもしろ展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	市内	どなたでも	来場者数 13,000人程度	共催	参加者の満足度	80%	A	参加者へのアンケートの結果、おもしろ展を鑑賞して「とても良かった」68.0%、「良かった」29.2%となっており、97.2%が満足しているため	浅川	2,370	継続		2,740	指導課
402		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	市内	子ども	128人	委託	参加者の満足度	128人	B	各学校から集まった参加者と対局することにより、勝つ喜び、負けるくやしさを思いやる気持ちや礼儀作法を体得するとともに、伝統文化の普及に一助を担った。	本庁	353	継続		473	生涯学習政策課
403		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	第14回生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。	不特定	どなたでも	5,500人	共催	応募者・参加者の人数	5,500人	B	悪天候の影響を受け、来場者数は目標に届かなかったが、子ども向けの取り組みを増やしたり、障害者の作品展示なども展示内容に取り入れたり、様々な方に生涯学習を通じた交流の場を提供することができた。	本庁	45	継続		63	生涯学習政策課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
404		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流の一助とする。	市内高等学校吹奏楽部等による市民を対象とした無料演奏会 参加団体 18団体 来場者数2,500名	不特定	どなたでも	2,300名	共催	参加者の満足度	28年度アンケート回収131件 29年度アンケート回収目標200件	B	評価指標のアンケート回収は200件に届かず、179件だったが来場者は昨年度と同等の2500名であった。アンケート内容からも非常に好評であったことがうかがえた。	本庁	309	継続		321	生涯学習政策課
405		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	タブレットとパソコン祭り	ボランティア団体と連携して初心者向けの講座を実施することにより、市民のICT利活用促進を図る。	平成29年11月11日(土)クリエイトホールで「タブレットとパソコン祭り」を共催。参加者：約120人	不特定	どなたでも	200人程度	共催	応募者・参加者の人数	参加者数200人	B	ボランティア団体(八王子)と連携し、IT関連の各種講座の開催や実演コーナーを設置。昨年度に比べ全体の参加者数は減少したものの、市の講座・コーナーの参加者が大幅に増加した。	本庁	36	継続		36	情報管理課 (ボランティア団体)
406		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	市民体育大会(開会式及び31種目)	実技スポーツに取り組む市民が日頃の成果を試す場として大会を開催する。	八王子市民を対象とした市民体育大会。様々な種目を実施し、市民が日頃の練習の成果を発揮することができた。 参加者数延べ20,687名	市内	種目による	17,000	委託	応募者・参加者の人数	17000	A	参加者数も目標に達し、事故等の問題なく実施することができた。 参加者の増加により、競技力を総合的に高めることもできた。	本庁	2,640	継続		2,700	スポーツ振興課
407		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ロードレース大会	陸上競技の普及と競技力の向上を目指し、練習の成果を発揮する場として大会を開催する。	陵南公園対岸をスタート・ゴールとして浅川ゆったりロードを走る大会。陸上競技に取り組む多くの市民が参加する。 参加者数：344名	不特定	部門による	400	委託	応募者・参加者の人数	400	C	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。 30年度はSNSなどを活用し参加者の増員を図る。	浅川	385	継続		385	スポーツ振興課
408		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	市民レクリエーション大会	市民のレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発表する場として大会を実施する。	市内レクリエーション団体が日頃から取り組んでいる催しの成果を発揮することができ、多くの市民の方々にその様子を楽しんでもらうことができた。 参加者数：691名	市内	どなたでも	3,000	委託	応募者・参加者の人数	3000	C	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。 30年度はSNSなどを活用し参加者の増員を図る。	本庁	602	継続		602	スポーツ振興課
409		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	市民スポーツレクリエーション大会	市民のスポーツ・レクリエーション活動の日頃の練習の成果を発表する場として大会を実施する。	市民のスポーツ・レクリエーション活動の日頃の成果を発揮することができた。 参加者数：2,098名	市内	どなたでも	3,000	委託	応募者・参加者の人数	3000	C	参加者数が目標に達しなかったが、事故無く無事終了することができた。 30年度はSNSなどを活用し参加者の増員を図る。	本庁	260	継続		275	スポーツ振興課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
410		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	市民スキー 競技大会	スキー競技に取り組む市民 が日頃の成果を試す場とし て大会を開催する。	スキー競技に取り組む市民 が日頃の練習の成果を 発揮する場所として、小学 校低学年から60歳以上の 部まで、大回転競技を行 う。 参加者数:39	市内	小学生 以上の 市内在 住・在 勤・在学 の方、又 は八王 子スキー 連盟登 録者	150	委託	応募者・ 参加者 の人数	150	C	参加者数が目標に達しな かったが、事故無く無事終 了することができた。 30年度はSNSなどを活用し 参加者の増員を図る。	市外	330	継続		330	スポー ツ振興 課
411		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	陸上選手権 大会	陸上競技に取り組む市民が 日頃の成果を試す場として 大会を開催する。	市民体育大会と陸上選手 権大会を兼ねているため、 多くの方が日頃の練習の 成果を発揮できる大会。公 式記録の測定ができ、レ ベルの高い選手も参加して いる。 参加者数:1,512名	市内	(1)市内在 住、在 勤、在 学、市内 クラブ所 属の競 技者(2) 小学生 は小学 5・6年生	1,300	委託	応募者・ 参加者 の人数	1300	A	参加者数も目標に達し、事 故等の問題なく実施するこ とができた。 また、陸上選手権大会につ いては、市外の方も参加で きるため、広く本大会の魅 力を発信することができた。	由木	193	継続		193	スポー ツ振興 課
412		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	水泳大会	水泳競技に取り組む市民が 日頃の成果を試す場として 大会を開催する。	法政大学の屋内50mプー ルで各種目を開催する水 泳大会。屋内の50mプー ルは非常に希少であるため、 多くの方が参加している。 参加者数:414名	市内	市内在 住・在 勤・在 学、小学 生は3年 生以上	350	委託	応募者・ 参加者 の人数	350	A	参加者数も目標に達し、事 故等の問題なく実施するこ とができた。 参加者の増加により、競技 力を総合的に高めることも できた。	浅川	340	継続		340	スポー ツ振興 課
413		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	農業体験事 業 (①親子農 業ツアー、 ②じゃがい も掘り、 ③さつまい も掘り、 ④農業に ふれ	農業にふれあう場を提供し 生産者と市民との交流促進 を図り、都市農業に対する理 解を深める。	①農業ツアー46人②ジャ ガイモ掘り81人③サツマイ モ掘り73人④稲作体験122人	市内	親子・保 護者	①40人 ②60人 ③60人 ④50人	市単独	応募者・ 参加者 の人数	①40人 ②60人 ③60人 ④50人	B	参加者は目標を達成した。	本庁	191	継続		198	農林課
414		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	林業体験事 業 (クリスマス リース作り)	林業にふれあう場を提供し、 八王子市林業研究会と市民 との交流促進を図り、林業に 対する理解を深める	①クリスマスリース作り②し いたけの植菌体験 22人参加	不特定	どなたで も	20人	委託	応募者・ 参加者 の人数	20人	B	参加者は目標を達成した。	元八王 子	129	継続		129	農林課
415		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	八王子市消 防団音楽隊 演奏会	消防団員の日頃の訓練成果 を披露し、消防・防災意識の 高揚を図る。	音楽を通じて、市民の防火 防災意識の向上を図る。ま た、消防団を知っていただ く広報活動。	不特定	どなたで も	800	市単独	応募者・ 参加者 の人数	800名	B	いちょうホールで約700名 の入場があった。加えて来 場者は、リピーターも多く、高 評価をえている。	本庁	1,604	継続		1,618	防災課 八王子 市消防 団
416		3-② 学びの成果 を活かす機 会の充実	八王子市消 防団出初式	消防団員の日頃の訓練成果 を披露し、消防・防災意識の 高揚を図る。	八王子消防記念会による 木遣り・はしご乗り。 消防団による19口の一斉 放水。消防署はしご車による 演技。	不特定	どなたで も	2,000	市単独	応募者・ 参加者 の人数	2000名	B	市役所前河川敷で開催し、 約2000名の来場者があ った。	本庁	3,524	継続		4,016	防災課 八王子 市消防 団

①	②	③	④	⑤	平成29年度 予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指標 項目	目標	所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はその 理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
417		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	あさかわ写真コンクール	浅川の魅力についての認知度向上及び水辺に近づく動機づけ	不特定	どなたでも	150	共催	応募者・参加者の人数	200	A	23年度から7年続けての実施。対象が単一つの河川であるにもかかわらず多数の応募があり、関心の高さがうかがえる。60、70歳代の応募が多く見受けられ、生涯学習の観点からも一定の役割を果たしているものと思われる。	全市域	520 288(日野市負担分差引後)	継続		532	水環境整備課
418		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	中学校絵画展	若年層の芸術文化活動の支援を図る。	不特定	どなたでも	未定	補助	応募者・参加者の人数	244点以上の出展数を指す(昨年度実績)	A	昨年度より10点多い254点を展覧。目標を達成した。	本庁	410	継続		26	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
419		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	いちようホールロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	不特定	どなたでも	2,000	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者2,000人以上	A	ロビーコンサートを目的に、時間を合わせて来館される方も見受けられ、市民の方々に親しまれる催しに育っている。年間を通しての来場者も目標を大きく上回った。	本庁	54	継続		69	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
420		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢文化会館ロビーコンサート	日頃より研鑽を積んでいる演奏者に活動の場を提供するとともに、市民に気軽に良質な音楽を楽しめる機会を提供する。	不特定	どなたでも	50	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者延べ2000人以上	A	予定していた回数の達成目標としていた集客数を大幅に上回ることができたため	由木	0	継続		0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
421		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	オヤジバンドフェスティバル	市民が身近な場所で芸術文化活動に参加する機会を提供する。	不特定	どなたでも	出演25組 公演500	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加団体、入場者ともに定員の10割を目指す	B	入場者は9割であったが、会場が前年までの倍以上の客席数だったので、概ね目標は達成できた。	由木	299	廃止・終了	10年以上継続してきたため。		学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
422		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	南大沢コミュニティオペラコンサートとワークショップ	市民に身近な場所でオペラを作り上げる機会を提供し、芸術への市民参加と芸術の普及を促進する。	不特定	どなたでも	参加者140 入場者500	指定管理者	参加者の満足度	参加者の体験の機会の増とチケットの完売を目指す	B	ワークショップ参加者133名、出演者99名、スタッフ25名が参加し、参加者とのヒアリング及びワークショップを実施する様子から満足度は目標を達成したと考えている。チケットは完売を目指したが公演を2回実施したこともあり、744名の来場となり目標に届かなかった。	由木	12,351	継続		9,635	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
423		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	シアターPJ演劇公演	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	不特定	どなたでも	未定	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売8割以上を目指す	C	来場者1回目161名(61.9%)、2回目199名(74.6%)と目標には届かなかった。	本庁	268	継続		268	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
424		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	ステップアップコンサート	ロビーコンサート出演者の活動の場を広げる一助とする。市民に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。	不特定	どなたでも	180	指定管理者	参加者の満足度	参加者(入場者)の満足度95%	B	入場者数は目標値に及ばなかったものの、来場者アンケート結果では、目標を上回る満足度を達成、自由記述でも「すばらしかった」「楽しかった」との声を多数いただいた。	本庁	129	廃止・終了	新規事業実施のため	140	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
425		3-②	学びの成果を活かす機会の充実	青少年のための南大沢音楽祭	地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、地域の住民に芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	市内	子ども	2,500	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	B	青少年対策地区委員会Fブロックと協働し、アンケート結果満足度参加者:92.0%、来場者:93.0%と目標を達成できたため	由木	369	継続		402	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
426		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子環境フェスティバル	市民及び事業者の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、その活動を行う意欲を高める	不特定	どなたでも	55,000	実行委員会	応募者・参加者の人数	55000人	A	来場者数は57,000人であり、目標を達成した。新規企業にも出展参加をしていただき、市制100周年の関連所管にもブース出展やイベント出演で御協力いただいた。	本庁	3,783	継続		3,761	環境政策課(八王子環境フェスティバル実行委員会)
427		3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールまつり	あったかホールまつりに参加し見学や工場の仕組み等(廃棄物の処理)について環境教育全般(社会・自然環境)について学習機会の提供を図る。	不特定	どなたでも	参加予定者(H28実績)22,000人	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加者数22,000人	B	参加者数は、目標に達しなかったものの、市民との協働・連携によるまつり運営の充実が図れている。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
428	◎	3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールフリーマーケット	出品物を家庭の不用品のみとすることで、市内のごみ削減を目指し、市民の自主的なリユースを推進。	不特定	どなたでも	16,000人(H28.4~H29.2)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数18,000人	A	参加者数は目標を大幅に上回るとともに、指定管理者の環境啓発事業として実施。集客のために同時開催のイベントや市内事業者の模擬店を誘致する等、充実を図っている。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
429		3-③	市民との協働による地域の活性化	踊れ西八夏まつり	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	不特定	どなたでも	48,000	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	参加者が65,000人であったため。	本庁	2,500	継続		1,500	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・踊れ西八夏祭り実行委員会)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲		
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)	
430		3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会連携事業	地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	住民協議会の情報交換などを図るため、総会及び定例会並びに市制施行100周年をテーマとした講演会を開催した。定例会・総会延べ5回講演会参加者数79名	不特定	どなたでも	1,200	共催	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	参加者が79名で目標を達成できなかったが、市制施行100周年を盛り上げる機運が高まったため。	本庁	113	継続		211	協働推進課 (各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
431		3-③	市民との協働による地域の活性化	野草写真・原画展	小仏川沿いの野草の写真・イラスト原画の展示を通して、野草の保護活動の推進	地域のボランティア団体による、小仏川沿い遊歩道に咲く貴重な野草の写真とイラストを展示し、来園者に地域の資源に関心を持っていただく。参加人数176人。	不特定	どなたでも	不定	共催	協働事業の推進	参加人数300人	C	市民団体との共催により近隣住民との協働を推進し、事業運営をすることが出来た。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野/野草を守る会)
432		3-③	市民との協働による地域の活性化	野草観察会	小仏川沿いの野草の観察を通して、野草の保護活動の推進	地域のボランティア団体のガイドによる、小仏川沿い遊歩道と庭園に咲く貴重な野草の観察会。参加人数51人。	不特定	どなたでも	30	共催	協働事業の推進	参加人数30人	B	高尾地域の豊富な種類の野草の資源と保護活動に関心を持っていただいた。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野/野草を守る会)
433		3-③	市民との協働による地域の活性化	野草写真・原画展	小仏川沿いの野草の写真・イラスト原画の展示を通して、野草の保護活動の推進	地域のボランティア団体による、小仏川沿い遊歩道に咲く貴重な野草の写真とイラストを展示し、来園者に地域の資源に関心を持っていただく。参加人数573人。	不特定	どなたでも	不定 (チラシ 300枚)	共催	協働事業の推進	参加人数700人	C	市民団体との共催により近隣住民との協働を推進し、事業運営をすることが出来た。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野庭園アーツ)
434		3-③	市民との協働による地域の活性化	ジャズコンサート	音楽鑑賞と地域住民の交流	地域の方々に、和の空間での音楽鑑賞の機会を提供し、駒木野庭園に親しんでいただく。参加人数51人。	不特定	どなたでも	50	指定管理者	協働事業の推進	参加人数50人	B	早期に予約満席となり、7割以上が近隣からの参加であった。93%の人がまた参加したいと回答	浅川	51	継続		50	公園課 (駒木野庭園アーツ)
435	◎	3-③	市民との協働による地域の活性化	高尾の花を描く展	高尾の花の絵の展示を通して、高尾の魅力を伝える	地域の市民グループが描いた、高尾地域の花の水彩画展。参加人数537人。	不特定	どなたでも	不定	共催	協働事業の推進	参加人数300人	A	参加人数が大幅に目標を上回るとともに、新たな市民団体との共催により近隣住民との協働事業を拡大することが出来た。	浅川	0	継続		0	公園課 (高尾花を描く会)
436		3-③	市民との協働による地域の活性化	駒木野フェスティバル	地域交流の推進	隣接する駒木野病院主催のフェスティバルの第2会場として、地域交流の場を提供。市民アーティストによる大正琴のミニコンサートと演奏体験を実施。参加者116人。	不特定	どなたでも	不定	共催	協働事業の推進	参加人数100人	A	参加者が目標を大幅に上回るとともに、「地域との融合・連携」をコンセプトにしたフェスティバルに共催参加し、地域交流の推進を図ることができた。	浅川	0	継続		0	公園課 (駒木野病院こまぎのフェスティバル実行委員会事務局)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
437		3-③	市民との協働による地域の活性化	ダンボールコンポスト講習会の開催	可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量・資源化を図る。	市内	どなたでも	500人	市単独	応募者・参加者の人数	年間30回開催 参加者 500人	B	参加者は目標に届かなかったが、たい肥の引き取りと基材の無料交換数は年々増加し(143件)講習会には参加しないが継続している市民が多いことがわかったため、当初の目的をほぼ達成できた。	全市域	5,632	継続		5,526	ごみ減量対策課
438		3-③	市民との協働による地域の活性化	みんなの町の清掃デー	自然を守り、郷土を愛する心をはぐくみ、コミュニティ活動の活性化を図るため、地域を清掃し、美化を推進する。	市内	どなたでも	16,000人	補助	協働事業の推進	参加者、参加団体の拡大 若者の参加	B	地域のコミュニティの活性化の一助となり、清掃活動を通じて美化意識の向上を図れたことから、当初の目標をほぼ達成できた。	全市域	465千円 川の清掃デー 含む	継続		493千円 川の清掃デー 含む	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)
439		3-③	市民との協働による地域の活性化	みんなの川の清掃デー	自然を守り、郷土を愛する心をはぐくみ、コミュニティ活動の活性化を図るため、河川を清掃し、美化を推進する。	市内	どなたでも	10,000人	補助	協働事業の推進	参加者、団体の拡大 若者の参加	B	参加者数は目標を下回ったものの、地域のコミュニティの活性化の一助となり、清掃活動を通じて美化意識の向上を図れたことから、当初の目標をほぼ達成できた。	全市域	465千円 町の清掃デー 含む	継続		493千円 町の清掃デー 含む	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)
440		3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活フェスティバル	消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供し、消費者団体等とともに交流と啓発を図る。	不特定	どなたでも	650	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	A	関係団体と連携し、充実した内容となった。来場者のアンケートも概ね好評であった。来場者も予定より多く幅広い年代の市民に対して消費生活に関する情報提供と啓発が図られた。	本庁	201	継続		165	消費生活センター
441		3-③	市民との協働による地域の活性化	海外友好交流都市写真展	本市の海外友好交流都市の写真等の展示により、各友好交流都市について、市民へ周知を図り、知識を深める。	不特定	どなたでも	4,000	市単独	応募者・参加者の人数	来場者数4,000人	A	例年の同事業では、毎年順送りで行っているが、市制100周年及びアジア3都市との友好交流協定締結10周年を記念して、4都市合同の写真展としたため。	本庁	102	継続		165	多文化共生推進課
442		3-③	市民との協働による地域の活性化	外国人留学生の高齢者施設訪問	外国人留学生が高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介しながら交流を深める。	市内	外国人留学生	15	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数15人	B	高齢者施設の方、訪問した留学生には好評であったが、参加者数が目標を下回ったため。	由木	3	継続		3	多文化共生推進課
443		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子国際交流フェスティバル	国際理解を深めることを目的に、気軽な国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供する。	不特定	どなたでも	1,300	補助	応募者・参加者の人数	来場者数1,300人	A	来場者数が目標を上回ったほか、多くの外国人の協力が得られ、多文化共生意識の啓発、国際理解の推進につながったため。	本庁	410	継続		390	多文化共生推進課 (八王子国際交流フェスティバル実行)

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
444		3-③	市民との協働による地域の活性化	戸吹クリーンフェスタ	地元企業・町会、戸吹地域関連所管が一体となって環境啓発をし、清掃処理施設への理解を深める機会を提供する。	不特定	どなたでも	1,395人 (平成28年度実績)	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加者の増加	B	参加者の増加を達成することができた。市民との協働による地域の活性化に貢献できた。	元八王子	114	継続		114	戸吹クリーンフェスタ実行委員会
445	◎	3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子市総合防災訓練	各機関相互の協力体制確立及び地域住民の防災対策の習慣化を図る	市内	どなたでも	2,000	共催	事業の拡大	熊本地震を教訓に夜間発災型訓練及び宿泊訓練を実施し、本市の防災体制の向上を図る	A	本市では、10年ぶりとなる夜間宿泊訓練を実施した。地域住民のほか、避難所運営所管部もともに体育館に宿泊し、避難所運営における訓練をすることができた。	浅川	2,982	継続		2,250	防災課
446		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子市防犯・防災フェア	市民の防犯・防災意識向上を目的として開催する。	不特定	どなたでも	2,000	市単独	応募者・参加者の人数	前回1,500名の参加だったため、2,000名の参加を目標とする。		イベント自体を開催していない	本庁	585	継続		328	防災課
447	◎	3-③	市民との協働による地域の活性化	市制100周年記念事業防災フォーラム	市民の防災意識の向上・啓発を目的として開催する。	不特定	どなたでも	800	市単独	応募者・参加者の人数	800名の参加を目標とする。	B	目標人数には届かなかったものの、参加人数は510名と多かった。加えて、講演・パネルディスカッションともに、アンケートでは9割以上の参加者が参考になったと回答し、満足度も高かった。	本庁	260	廃止・終了	100周年記念事業に伴う単年度事業のため	0	防災課
448		3-③	市民との協働による地域の活性化	都市景観セミナー(八王子景観100選シンポジウム)	八王子景観100選の決定を契機として、市民と行政の協働による魅力ある景観づくりを推進する。	不特定	どなたでも	200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度	A	シンポジウムが4時間という長丁場であったものの、来場者が予定参加者の8割を超えたことやアンケート回答者の約9割が「よかった」と回答したため。	本庁	4,066	継続		47	まちなみ景観課
449		3-③	市民との協働による地域の活性化	地区まちづくりフォーラム	「地区まちづくり推進条例」の周知及び条例の活用促進を図る。	不特定	どなたでも	20	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度、新規参加者の獲得増	B	参加者が参加予定者数の8割を超えたことやアンケート回答者の全員が「よかった」と回答したため。ただし、参加予定者数の増員や新規参加者の獲得に課題が今後の課題。	本庁	64	継続		87	まちなみ景観課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施 形態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
450		3-③ 市民との協働による地域の活性化	南大沢地域音楽祭	地域の市民と共同で日頃の音楽活動の発表の場を提供し、芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	アンケート結果92%出演者を公募し、発表の場の提供を行った。参加者からの評判も良く地元根差したコンサートを実施することができた。	不特定	どなたでも	400	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%以上	B	地元を中心とした出演者と来場者による地域に根差したコンサートを実施 アンケート結果満足度参加者:92.0%、来場者:93.0%と目標を達成できたため	由木	273	廃止・終了	3回開催し、一定の成果を得たため。次年度以降、違う形での企画を計画が進行中。	0	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団)
451		3-③ 市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営研修講座	中央図書館と連携(共催)し、地区図書室の活性化を図る。	中央図書館職員を講師に研修を実施(参加者数)28年度23名29年度26名	市内	地区図書室担当者	32	補助	その他	レベルアップを図る	B	図書館の担当職員を講師に招き研修を受け、図書館部員に必要なスキルアップが図られたため。	本庁	3	継続		3	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団)
452		3-③ 市民との協働による地域の活性化	住民協議会主催講座等助成	講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	講座の実施28年度6住民協議会8講座394名29年度14住民協議会19講座816名	市内	どなたでも	—	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	参加者数が816人だったため。	全市域	451	継続		389	協働推進課(各地域住民協議会)
453		3-③ 市民との協働による地域の活性化	八王子いちよう祭り	地域の発展と社会的な広がりを目指した有志市民によるまつり	甲州街道や陵南公園を会場に実施。28年度来場者数493,000人29年度来場者数503,000人	不特定	どなたでも	522,000	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	来場者数が503,000人であったため。	浅川	8,750	継続		6,000	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・いちよう祭り祭典委員会)
454		3-③ 市民との協働による地域の活性化	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚市制100周年に向けた環境整備	山車・神輿を中心とした中心市街地での祭典、市制100周年と合わせて大きく賑わった。28年度来場者数800,000人29年度来場者数850,000人	不特定	どなたでも	775,000	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	来場者数が850,000人であったため。	本庁	52,950	継続		49,966	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
455		3-③ 市民との協働による地域の活性化	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくり	南大沢駅周辺の春の催しとして実施。28年度来場者数103,000人29年度来場者数115,000人	市内	どなたでも	119,000	補助	応募者・参加者の人数	28年度より参加人数を増やす。	B	来場者数が115,000人であったため。	由木	5,000	継続		4,000	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル祭典)

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はその 理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑧ 募集 範囲	⑦ 対象 者	⑧ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑨ 事業の 実施 形態	⑩ 評価指 標項目	⑪ 目標								
456		3-③ 市民との協働による地域の活性化	上柚木公園の新緑を楽しもう(2部)	地域住民に自然とのふれあいの場を提供し、森林生態系についての知識・情報を森林インストラクターを通じて提供する。	森林インストラクターの解説により、公園内の樹林地を歩き、樹木の新緑と花を觀賞しながらその魅力を紹介した。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数延べ40人	B	参加者が35名と目標には届かなかったが、森林の生態系についての専門的な知識をわかりやすく提供することができた。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
457		3-③ 市民との協働による地域の活性化	市史編さん室、八王子・日野カワセミ会共催「浅川の野鳥観察会」	市民との連携・協働を図りながら浅川で色とりどりの野鳥を観察し、市民に対して自然への理解を深める機会とする。【八王子・日野カワセミ会共催事業】	市役所本庁舎前の浅川で、八王子・日野カワセミ会会員が参加者に野鳥観察の楽しさを体験させる。平成21年度から5回実施。	不特定	どなたでも	30	共催	参加者の満足度	「満足」の声が参加者から聞けること。	D	市史編集専門部会自然部会の活動終了につき実施せず。		0	廃止・終了	事業の完了による	0	市史編さん室
458		4-① 生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を啓発する。	歯科衛生士による口腔に関する個別の相談および保健指導(予約制)年5回7人	市内	どなたでも	24人	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	3	継続		5	大横保健福祉センター
459		4-① 生涯学習情報の収集と発信	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ、健康づくりを支援する。	保健師、栄養士、歯科衛生士による電話・面接相談開催日数 347日 相談件数 5,164件	市内	どなたでも	488	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	B	専門職による相談を通し、その方に合わせた具体的なアドバイスを行うことができたため。	本庁	マンパワー	継続		マンパワー	大横保健福祉センター
460		4-① 生涯学習情報の収集と発信	学習情報プラザ	生涯学習関連情報の提供。	市民団体等の会員募集やイベント開催のポスター・チラシについて、2,088件の受け入れ【参考】28年度1,798件の受け入れ	市内	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時掲示スペースを提供する。	B	前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
461		4-① 生涯学習情報の収集と発信	情報広場	手軽に生涯学習情報を取得できるようにする。	市ホームページのサークル・指導者紹介ページ「情報広場」のアクセス件数講師857件、サークル5,872件【参考】28年度講師1,205件、サークル4,882件	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	適時情報の更新を行う。	B	講師・サークルの申し出に基づき情報を随時更新して発信したうえ、前年度と同等の事業水準を維持したため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
462		4-① 生涯学習情報の収集と発信	生涯学習相談	生涯学習情報を提供と助言。	窓口や電話で生涯学習情報の提供と助言を行った。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	夢ネット等の情報を活用し、適切な情報提供を行う。	B	利用者のニーズに合わせて、適切な情報提供を行うことができた。	全市域	0	継続		0	学習支援課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
463		4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	4/15,7/15,10/15,1/15に広報「はちおうじの教育」を発行	不特定	どなたでも	281,200部	委託	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し充実化を図る	B	4・7・10・1月の年4回の発行のうち、4月号については4ページ増の8ページとし、年度初めに教育委員会全体の行政の情報を広く周知した。	全市域	3,029	継続		4,125	学校教育政策課
464		4-①	生涯学習情報の収集と発信	学校フォトニュース等の更新	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	学校のフォトニュース等の更新:26件、フェイスブックの更新158件を実施	不特定	どなたでも	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	B	紙面の制約がある広報紙では伝えきれない教育行政の情報などを、SNSを利用して市民に広く周知できた。	全市域	0	継続		0	学校教育政策課
465		4-①	生涯学習情報の収集と発信	はちおうじっ子フォトニュースの更新	子ども向けに、市の教育行政情報や学校、教育施設の提供しに教育施策を周知する。	更新:24件	不特定	子ども	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	B	紙面の制約がある広報紙では伝えきれない教育行政の情報などを、SNSを利用して市民に広く周知できた。	全市域	0	継続		0	学校教育政策課
466		4-①	生涯学習情報の収集と発信	環境報告書	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	環境報告書を9月1日発行。市HP上に掲載	市内	どなたでも	予定発行数100部	市単独	事業の拡大	B	継続的に報告書を公表・公開することにより社会的説明責任を果たし、市民への信頼関係の構築、理解を得た。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
467		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「SUPPORT802」の発行	市民活動に関する情報発信を行う。	発行回数:6回 発行部数:30,000部 登録団体、市の施設、希望する町会・自治会などへ配布した。	不特定	どなたでも	5000/1回あたり	指定管理者	紙面の充実	B	各分野の市民活動団体へ直接取材したり、助成金情報や市民活動イベント情報の掲載をしたりするなど読み手が興味を持つ紙面づくりができた。	全市域	指定管理料の中で実施	継続		指定管理料の中で実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
468		4-①	生涯学習情報の収集と発信	広報「ごみゼロ通信」の発行	ごみの減量・リサイクルについて、市民に周知・意識啓発を行う。	ごみ・資源物の出し方や減量・リサイクル等に関する広報紙を年1回発行し、市の広報に折り込み、戸別配布する。 (282,140部発行)	市内	どなたでも	約281,200部	市単独	ごみ減量・リサイクルについての市民意識の高揚	B	市内全域に周知する手段として非常に有効と評価する。	全市域	648	継続		832	ごみ減量対策課

① 番号	② 新規事業	③ 基本施策・ 施策の展開	④ 事業名	⑤ 事業目標 (50文字以内)	⑥ 具体的な内容、事業実績 (80字程度)	平成29年度予定						⑫ 所管課 事業評価	⑬ 評価理由 (80字程度)	⑭ 実施地域	⑮ 29年度 決算 (千円)	⑯ 今後の 方向性	⑰ 【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	⑱ 30年度 予算 (千円)	⑲ 担当 課 (実施 主体)
						⑦ 募集 範囲	⑧ 対象 者	⑨ 参加者数 (人)等の 指標となる 数値	⑩ 事業の 実施形 態	⑪ 評価指 標項目	⑪ 目標								
469		4-①	生涯学習情 報の収集と 発信	消費生活 ニュース・く らしのレポ ートの発行	消費者問題や環境など消費 生活に関わる情報提供を行 う。	「消費生活ニュース」月1回 各340部発行 「くらしのレポート」年3回 各336部発行	市内	どなたで も	300	共催	協働事 業の推 進	関係団 体と協働 でタイム リーな情 報を提供 する。	B	定期的に消費生活に関する 情報の提供を実施し、消費 者に啓発が図られた。	本庁	0	継続	0	消費生 活セン ター
470		4-①	生涯学習情 報の収集と 発信	市ホーム ページの運 営	市ホームページ(PC版・モバ イル版)の安定した運営を行 う。	いつでもイベントの情報に アクセスできるよう市ホー ムページの安定した運営を 行った。平成29年度は計画 停止を除いて稼働率100% を達成した。	不特定	どなたで も	-	市単独	[その他] 安定した 運用	稼働率 100%	B	より分かりやすく、情報を探 しやすいホームページを運 営するとともに、稼働率 100%を実現した。	本庁、 浅川、 由木、 元八王 子、北 野、市 外	6,733	継続	6,734	情報管 理課
471		4-①	生涯学習情 報の収集と 発信	電子申請シ ステム共同 運営	生涯学習関連事業として挙 げられている講座の参加申 込み等を行うことができる電 子申請システムを共同運営 により提供する。	子ども家庭支援センター、 広聴課、総務課、成人健診 課、大横保健福祉セン ター、南大沢保健福祉セン ター、東浅川保健福祉セン ターの講座申込みにより電 子申請を活用。	不特定	どなたで も	-	市単独	事業の 拡大	行政手 続きにお いてICT が利用さ れている 割合 平成29 年度 35%、平 成34年 度60%	B	講座やセミナーの参加申し 込みに電子申請を活用し た。申請件数は昨年度と比 べ増加した。	本庁、 浅川、 由木、 元八王 子、北 野、市 外	3,059	継続	3,821	情報管 理課
472		4-①	生涯学習情 報の収集と 発信	「税金の手び き」の発行	税金のしくみなどについて、 市民の理解を深める。	「税金の手びき」 発行部数：900 市民配布部数：410	不特定	どなたで も	900部	市単独	税金のし くみにつ いての市 民の理 解	アンケート で「役に 立った」と いう回答 の割合 50%	B	より見やすいものとするため にアンケート募集を行うとと もに、予定の部数を作成し、 配布することができた。	全市域	0	継続	0	税制課
473		4-①	生涯学習情 報の収集と 発信	「市税白書」 の発行	市税の状況について、市民 の理解を深める。	「市税白書」 発行部数：680 市民配布部数：320	不特定	どなたで も	530部	市単独	税金のし くみにつ いての市 民の理 解	本事業 は、税に 関する市 民の理 解を深め ることを 目的に 冊子を発 行してい るため、 具体的な 数値目 標はそぐ わない。	B	ほぼ前年度と同じ内容で計 画通り作成し、配布するこ とができた。	全市域	0	継続	91	税制課

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施 形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
474		4-①	生涯学習情報の収集と発信	外国人向け情報誌「Ginkgo」	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実をめざす。	外国人市民に必要な情報等を掲載し、市内の公共施設等で配布した。 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語 発行部数：2,268部(3月号実績)	不特定	どなたでも	2,200	市単独	掲載内容の充実	A	掲載内容の充実を図るため、各所管からの記事掲載希望の収集に努める。	全市域	327	継続		240	多文化共生推進課
475		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「らいぶらりい」の発行	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を、図書館の窓口で、利用者に提供する。	毎回2,250部発行(年4回)及び増刊号(1回)2,250部	不特定	どなたでも	2,200	市単独	応募者・参加者の人数	B	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を提供することで、利用者の促進を目指す。	本庁	0	継続		0	中央図書館
476		4-①	生涯学習情報の収集と発信	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活を送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	電話＋面接相談数 ・成人高齢者 2650人 ・母子 1894人	不特定	どなたでも	700	市単独	参加者の満足度	B	相談対応に対する満足度の向上	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
477		4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	歯科衛生士による口腔に関する個別の相談および保健指導(予約制)年7回 11人	市内	どなたでも	48	市単独	参加者の満足度	B	相談対応に対する満足度の向上	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
478		4-①	生涯学習情報の収集と発信	小冊子「国民健康保険のしおり」	国民健康保険制度の趣旨を普及・啓発すること。	小冊子「国民健康保険のしおり」を作成、窓口配付。	市内	どなたでも	21,000部	市単独	制度の趣旨の普及・啓発	B	設定なし(情報提供)	本庁	1,033	継続		953	保険年金課
479		4-①	生涯学習情報の収集と発信	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活を送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	保健師、栄養士、歯科衛生士による電話・面接相談 開催日数 297日 相談件数 4,715件	市内	どなたでも	600	市単独	参加者の満足度	B	相談対応に対する満足度の向上	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
480		4-①	生涯学習情報の収集と発信	歯の健康相談	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	歯科衛生士による講話・相談 平成29年度は実施なし	市内	どなたでも	60人	市単独	参加者の満足度	D	アンケート集計結果における満足度80%	由木	0	継続		30	南大沢保健福祉センター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担 当 課 (実施 主体)
481		4-①	生涯学習情報の収集と発信	市民センター だより発行助 成	各地域住民協議会の活動を 周知し、地域の活性化を目 指す。	発行部数 28年度231,760部 29年度229,060部	市内	どなたで も	3600/1 回あたり	委託	紙面の 充実	B	各住民協議会で特色ある 紙面づくりを行い、住民協議 会の活動を広く周知してい たため。	全市域	1,262	継続		1,360	協働推 進課 (学園 都市文 化ふれ あい財 団・学 園都市 文化ふ れあい)
482		4-①	生涯学習情報の収集と発信	「八王子市図 書館」(利用 案内)の発行	図書館を利用するための案内	7,000部	不特定	どなたで も	20,000	市単独	応募者・ 参加者 の人数	B	図書館の利用案内の配布お よびホームページに掲載す ることで図書館利用促進を 促すことができた。	本庁	0	継続		0	中央図 書館
483		4-①	生涯学習情報の収集と発信	新着図書案 内の発行	利用者に図書館の新着図書 情報を提供する。	利用者に、紙媒体での図 書館新着情報を定期的(毎 月発行)に提供する。 年間3,840部発行	不特定	どなたで も	300	市単独	参加者 の満足 度	B	利用者に、定期的に図書館 の新着図書情報を提供する ことによって、利用促進を図 ることが出来た。	全市域	0	継続		0	中央図 書館
484		4-①	生涯学習情報の収集と発信	パンフレット 「成年後見制 度を活用しよう」	成年後見制度の知識・普及 啓発を行う	パンフレット「成年後見制度 を活用の応援をします」を 講演会・学習会・出前講座 等で配布。相談でも活用。 2000部増刷	市内	どなたで も		委託	事業の 拡大	B	パンフレットの活用は制度の 普及啓発に有効である。	全市域	168	継続		200	福祉政 策課 (社会 福祉協 議会)
485		4-①	生涯学習情報の収集と発信	ボランティア センターだよ りの発行	登録ボランティアや市民に対 し、ボランティア活動の情報 提供や啓発を目的に発行す る	発行部数:6,000部 発行回数:6回	不特定	どなたで も	4000部	補助	参加者 の満足 度	B	紙面をカラー印刷に変更し て発行したことによりPR効 果を高めた	本庁	1,386	継続		1,464	福祉政 策課 (社会 福祉協 議会)
486		4-②	相談体制の 拡充	理学療法士 による健康 相談	高齢者の介護予防及びQOL 向上の一助とする。	理学療法士による健康相 談 年12回 述べ参加者 48人	市内	高齢者	60	市単独	参加者 の満足 度	B	個別相談を通し、その方に 合わせた具体的なアドバイ スを行い、意識を高めること ができたため。	本庁		継続			大横保 健福祉 セン ター
487		4-②	相談体制の 拡充	地域参加等 支援デスク	定年を迎えた方などに、生き がいをもちながら地域活動 をしていただくため、総合的 な情報提供や相談により支 援を行う。	平成29年度の相談件数 7件	不特定	どなたで も	10	市単独	応募者・ 参加者 の人数	C	目標値を下回ったため。平 成30年度は、広報「はちおう じ」の掲載や協働事業に出 展するだけでなく、市民部各 事務所や市関係施設にもポ スターを掲載するなどして周 知を活性化させる。	本庁	0	継続		0	協働推 進課
488		4-②	相談体制の 拡充	理学療法士 による健康 相談	高齢者の介護予防及びQOL 向上の一助とする。	理学療法士による健康相 談 年 18 回 述べ参加者 77人	市内	高齢者	90	市単独	参加者 の満足 度	B	個別相談を通し、その方に 合わせた具体的なアドバイ スを行い、意識を高めること ができたため。	浅川	300	継続		225	東浅川 保健福 祉セン ター

①	②	③	④	⑤	平成29年度予定						⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
					⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪									
番号	新規事業	基本施策・施策の展開	事業名	事業目標 (50文字以内)	具体的な内容、事業実績 (80字程度)	募集範囲	対象者	参加者数 (人)等の 指標となる 数値	事業の 実施形態	評価指 標項目	目標	所管課 事業評 価	評価理由 (80字程度)	実施地域	29年度 決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の 方向性】 で「廃止・ 終了」を 選択した 場合はそ の理由を 記入	30年度 予算 (千円)	担当 課 (実施 主体)
489		4-②	相談体制の 拡充	ロコモ測定会	高齢者に自らの身体機能の 現状を知ってもらい、機能維 持に対する普及啓発を行う。	市内	高齢者	80	市単独	応募者・ 参加者 の人数	利用者 数の増 加	B	測定により自らの健康状態 を知るきっかけとなった	浅川	0	継続		0	東浅川 保健福 祉セン ター
490		4-②	相談体制の 拡充	理学療法士 による健康 相談	高齢者の介護予防及びQOL 向上の一助とする。	市内	高齢者	60	市単独	参加者 の満足 度	相談対 応に対 する満 足度の 向上	B	参加者の個別性に合わせた 具体的なアドバイスを行い、 生活改善の意識を高めるこ とができたため。	由木	180	継続		180	南大沢 保健福 祉セン ター
491		4-②	相談体制の 拡充	権利擁護相 談・成年後 見制度利用 相談	認知症高齢者や知的障害者 等で判断能力の不十分な方 への権利擁護・成年後見の 相談を行う	市内	どなたで も		委託	参加者 の満足 度	成年後 見制度 の普及・ 利用促 進	B	相談については昨年度より 増加している。	全市域	417	継続		462	福祉政 策課 (社会 福祉協 議会)
492		4-③	施設の有効 活用と開放	ぼんぼこ鉄 道倶楽部鉄 道展	地域の重要な文化財である 長池見附橋と流星号の歴史 的価値を伝える。	不特定	どなたで も	未定	指定管 理者	集客力 の安定と 向上	参加者 1,000名 以上	A	目標の参加者数より上回っ た。また、見附橋の歴史や 重要性を沢山の方々に知っ ていただくことで、未来に残 されていくべき地域の重要 文化財を守っていく意識を向 上させた。	由木	0	継続		0	公園課 (ひとま ちみど り由木)
493		4-③	施設の有効 活用と開放	フリースペ ース	空き学習室の活用と、学生 への学習スペースの提供。	不特定	学生	7,500	市単独	応募者・ 参加者 の人数	前年と同 程度。	B	前年度と同等の事業水準を 維持したため。	全市域	0	継続		0	学習支 援課
494		4-③	施設の有効 活用と開放	八王子市立 学校内開放 教室の試行 開放	生涯学習、地域コミュニティ 活動等を行う団体に対して 活動の場を提供する	市内	どなたで も	1,500人	市単独	参加者 の満足 度	生涯学 習団体 が利用 できる 場の提 供を継 続する。	B	平成29年度も引き続き3校の 協力のもと事業を継続し、市 民に生涯学習活動の場を提 供することができた。 継続利用団体が多いことか ら満足度の高さがうかがえ た。	浅川 元八王 子北野	0	継続		0	生涯学 習政策 課
495		4-③	施設の有効 活用と開放	姫木平自然 の家運営	恵まれた自然環境の中で、 自然探究や様々な野外活動 と集団生活を通じて、青少年 の心身の健全な育成を図る	不特定	どなたで も	16,000人	指定管 理者	応募者・ 参加者 の人数	延べ利 用人数 16,000人	B	平成29年度の年間利用者が 対前年度比約5%増加した。 加えて、宿泊者のアンケート でも職員の対応の親切さに 満足と回答した人が100%で あり、高評価を得ています	市外	46,761	継続		46,649	生涯学 習政策 課